

今からできる!

洲本

洲本市防災ガイドブック



////// マイ避難カード・ハザードマップ収録 //////////////////////////////////

防災

防災は、今からできる!

いつ発生してもおかしくない地震や津波などの災害。

突然の災害でパニックに陥らないよう、

覚えておきたい情報をお届けします。

この機会に、防災について考えてみましょう。

準備すべき防災グッズや災害時にあわてないための知識、

避難生活での心身のケア方法などを確認し、

もしものときに備えて、身を守る力をつけましょう。

目次

災害から身を守る 防災情報	1
正しい情報・知識を入手 防災情報の入手方法	4
家族と一緒に 避難先を考えよう!	6
行動につなげよう 避難の準備	8
[切り取り式] マイ避難カード	9
[切り取り式] 必要な物をそろえる 備蓄用品カタログ	10
コラム 洲本市の災害	11
災害シミュレーション 台風・大雨が起きたら...	12
災害シミュレーション 地震が起きたら...	20
自分の家周りをチェックしよう ハザードマップの見方	25
避難所・避難場所一覧	28
洪水ハザードマップ	32
土砂災害・ため池ハザードマップ	50
高潮ハザードマップ	78
津波ハザードマップ	86
助けあいとおもいやりを 災害時の配慮	94

災害から身を守る

防災情報

災害から身を守るために
知っておくべき情報について、
どんな種類の情報があるか確認し、
事前に把握しておきましょう。

事前準備・事前避難を基本に

いざ災害が発生してから逃げ遅れてしまわないよう、災害が発生する前に避難することが重要です。また、防災情報や避難情報を常に確認し、いざというときにすぐ行動を起こせるよう準備しておくことが大切です。

避難時の注意点などについては **12ページ** からを参照ください。



避難情報の種類について

市から災害時に発令される避難情報(★)が、令和3年5月20日より新しくなりました。



警戒レベル	行政からの情報など	とるべき行動
高 5	緊急安全確保(★)	可能な限り安全な場所へ避難。
4	避難指示(★)	全員が、危険な場所から 必ず避難!
3	高齢者等避難(★)	避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、危険な場所から避難。
2	自主避難	各種注意報が発表中。避難の準備をし、ご自身が危険と判断した場合は、自主的に避難。
低 1		天気予報の確認。 家の周りの安全確保。

※9ページ(折込)「避難情報ととるべき行動」で、さらに詳細な行動について記載しています。
※警戒レベル5は、災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、必ず発令される情報ではありません。
※警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

防災情報の種類

災害時にはさまざまなトラブルが発生します。そうした事態に備え、あらかじめ防災サイトへの事前登録や、緊急情報を得ることができるウェブサイトなどを確認しておきましょう。

	解説	種別	気象警報 発令情報	緊急 地震速報	地震情報 (震度4以上)	津波情報	土砂災害 警戒情報	避難情報	国民保護 情報	天気予報	火災情報
1	洲本市防災ネット (ひょうご防災ネット)	県や市からの緊急情報をお知らせします。最寄りの避難所表示、外国語対応、音声読み上げなどの機能を備えたアプリもあります。(受信には登録が、アプリの利用にはダウンロードが必要です)	電子メール スマートフォン アプリ	●	●	●	●	●	●		●
2	緊急速報メール (エリアメール)	緊急地震速報をはじめ、極めて危険度の高い重要な情報を通知します。	電子メール		●		●	●	●		
3	屋外スピーカー・ サイレン	災害が発生するおそれや災害が発生した場合など、市からの緊急情報を放送します。	スピーカー サイレン		●	●	●	●	●		●
4	告知端末機	訓練のお知らせや避難情報など、必要な防災情報をお知らせします。一部の放送は端末の設定に関わらず、最大音量で放送されます。	ケーブルテレビ 端末		●	●	●	●	●		
5	洲本市ホームページ	トップページに、災害時における避難に関する情報等を掲載します。	インターネット			●	●	●	●		
6	地デジデータ放送 (NHK等)	テレビリモコンの「dボタン」を押すと、防災情報関連のメニューが表示され確認できます。	地上 デジタルテレビ	●		●	●	●	●	●	
7	177天気予報 電話サービス	知りたい地域の市外局番+177とダイヤルすると、気象庁が発表する最新の気象情報を確認できます。	電話	●			●	●		●	



防災情報の入手方法

災害時の緊急情報はさまざまな方法で受信することができます。自分に合った情報サービスを、事前に確認しておきましょう。



洲本市防災ネット (ひょうご防災ネット)

あらかじめ登録された方に、災害情報メールを発信しています。また、「ひょうご防災ネット」のスマートフォンアプリも運用しています。

- ①sumoto@bosai.netに空メールを送信してください。
- ②返信メールが届くので、利用規約を確認しURLを選択。
- ③「利用規約に同意して登録する」を選択すると登録完了です。

スマートフォンアプリもあります



「Google Play」



「App Store」

緊急速報メール (エリアメール)

災害・避難情報などの緊急情報が、回線混雑の影響を受けずに一斉配信されます。事前登録は必要なく、配信エリア内にいる方すべてが受信することができます。

告知端末機

災害時には地震情報や避難情報などを、音声で一斉放送します。



地デジデータ放送

テレビのdボタンを押せば、データ放送を通して災害情報や避難所開設状況、ライフラインなどの情報を見ることができます。

- ①NHKにチャンネルを合わせ、リモコンのdボタンを押します。



d
マークが目印です!

- ②画面の「防災・生活情報」を選択し決定ボタンを押すと、情報が表示されます。



ライフラインで困ったら

▶停電など

地震の影響で停電したあとに電気が復旧すると、通電火災が起きる可能性があります。避難するときはブレーカーを落とすようにしてください。

関西電力送配電株式会社

TEL 0800-777-3081
https://www.kansai-td.co.jp



▶ガス漏れなど

ガス漏れやガスの臭いがするときは、ガスの元栓、マイコンメーター付近にあるメーターガス栓を閉め、ガス業者に連絡してください。

洲本ガス株式会社

TEL 0799-22-4424
https://www.sumotogas.co.jp/?page_id=851



プロパンガス協会(市内会社一覧)

https://propane-gas.jp/gas-company-list/hyogoken/sumotoshi/



アプリで便利

停電情報アプリをダウンロードしよう



関西エリアの停電に関する情報が、アプリで手軽に確認できます。事前に登録をしておくと、停電の発生・復旧時にプッシュ通知で情報を受け取ることができます。

指定地域の
停電情報
プッシュ通知

復旧作業進捗
復旧見込み時間

▶断水、濁水、漏水修繕など

水道管や給水施設の損傷、停電などにより断水や漏水が起きるおそれがあります。突発的な断水や道路で漏水を発見したときは、直ちに淡路広域水道企業団へ連絡してください。

淡路広域水道企業団(洲本市お客様センター)

TEL 0799-24-7620
http://awaji-suido.jp



防災関連ウェブサイト



洲本市ホームページ

https://www.city.sumoto.lg.jp/

災害時には、災害対策本部から各種情報提供を行います。



気象庁ホームページ

https://www.jma.go.jp/

全国の気象情報や警報等の発表状況、気象に関する解説等が確認できます。



兵庫県地域別土砂災害危険度

http://sabo.civil.pref.hyogo.lg.jp/chiikidosya/

大雨による土砂災害発生の危険性をグラフで確認できます。



兵庫県CGハザードマップ (地域の風水害対策情報)

http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/

兵庫県下の洪水、土砂災害、津波等のハザード情報が確認できます。



兵庫県河川監視システム

http://hyogo.rivercam.info/

兵庫県各河川の状況をライブカメラで確認できます。洲本市には4か所設置されています。



避難先を考えよう！

災害が発生したときにあわてないように、
普段から家族で話し合い、
避難場所や避難経路を確認しておきましょう。



スタート

自宅周辺をハザードマップ
で確認しましょう！ **32ページへ**

スマホなどでも
確認できます。
右のQRコードから
アクセスしましょう。

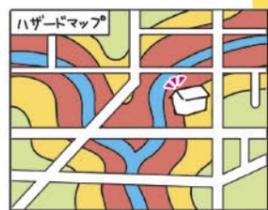


避難時の感染症対策

避難所へ行く際には、マスクやアルコール消毒液、体温計などの衛生用品を用意しましょう。マスクがない場合は、タオルや手ぬぐいで代用できます。普段から防災バッグに常備しておくことで安心です。

自宅周辺は
着色されていますか

地図に赤色や黄色で
着色されている場所は
災害が発生する可能
性の高い地域です。
自宅や職場付近の状
況を確認しましょう。



はい

災害の危険が
あります

自宅外の安全が
確保されている場所へ
早めに避難しましょう。

安全な場所に
住んでいて
身を寄せられる
親戚や知人は
いますか？



はい

安全な場所にある
**親戚や
知人宅へ避難**



災害の状況により指定緊急避難場所
などへの避難が困難な場合は…
**近くの安全な建物など
へ避難**
**自宅内のより安全な
場所へ避難**

いいえ

**在宅避難
(垂直避難)**

安全が確保されている場合は
自宅に待機しましょう。
ただし、少しでも危険と感じた
場合は指定緊急避難場所など
へ避難しましょう。

下記のような安全が確認できる場合は、
自宅にとどまることも可能です。

- ・堅牢なマンション等の上層階で安全な場所
- ・十分な水や食料、生活用品の備えがある
- ・停電や断水などに耐えることができる

※自宅がハザードマップで危険な区域になくても、周り比べて
低い土地や崖のそばなどにある場合は、状況に応じて自宅外
への避難を検討しましょう。

例外

いいえ

**指定緊急避難
場所** **28ページへ**

や安全な場所にある
ホテルや旅館などの
**宿泊施設
へ避難**



今からできる！

- 9ページの「マイ避難カード」を
記入して避難場所や避難のタ
イミングを決めておこう。



行動につなげよう

避難の準備

迅速な行動がとれるように、
避難時の行動を
シミュレーションしましょう。

避難訓練は重要です！

家庭でできる準備・訓練

災害時の被害を最小限にするためには、避難訓練へ参加することが重要です。被害想定に基づいた避難訓練や初期消火訓練などで実践的な対応を身につけていると、いざというときに落ち着いて行動することができます。なるべく日頃から防災訓練に参加することを心がけ、参加が難しい場合は、家庭でもできる身近な訓練から始めてみましょう。



備蓄は3日間分を蓄える

災害後3日間は物資より救助が主となります。家族分の備蓄の用意を。

備品用品カタログ **10ページ**



避難路の確認

防災マップなどを見ながら、実際に避難路を歩いて確認します。

避難時に参考にする情報

災害が発生するおそれがあるとき、災害発生の危険度やとるべき避難行動を直感的に理解できるよう、警戒レベルを用いた避難情報等が発表されます。警戒レベルを常に確認し、すぐに避難行動ができるよう準備しましょう。

警戒レベル

避難情報等

5	緊急安全確保	災害発生または切迫
4	避難指示	災害のおそれが高い
3	高齢者等避難	災害のおそれがある
2	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)	気象状況の悪化
1	早期注意情報(気象庁)	気象状況悪化のおそれ

警戒レベル4までに
必ず避難！

「マイ避難カード」の作り方

情報収集

自宅周辺に起こり得る災害を確認し、避難情報や気象情報の入手先を具体的に確認します。

いつ？

避難情報や気象情報などをもとに、避難を開始するタイミングを決めます。

どこに？

ハザードマップを確認し、昼と夜の場合の避難場所や避難ルートを決定します。

どのように？

誰とどのような方法で避難するのかを、昼の場合と夜の場合それぞれを想定して決定します。



マイ避難カード

ハザードマップ(P32～)や避難先の考え方(P6～)を見ながら、家族と話し合って記入しましょう！
記入できたら壁に貼るなど日常的に確認できるようにしておきましょう。

災害の種類	確認 [判断する情報]	いつ？ [逃げるタイミング]	どこに？ [避難先]	どのように？ [避難する方法]
(記載例)	防災ネット、 テレビ、 ラジオ	レベル4避難指示 土砂災害警戒情報 津波警報	昼 ○○小学校 など 夜 ○○公民館 など	近所の○○さんと いっしょに徒歩で 家族全員で徒歩で など
洪水			昼 夜	
土砂災害			昼 夜	
地震 (津波)			昼 夜	
			昼 夜	



避難情報ととるべき行動

家族の安否確認方法

災害用伝言板(web171) 災害用伝言ダイヤル(171) SNS

警戒レベル	気象庁からの情報	行政からの情報	とるべき行動
レベル1 	大雨や台風の予報 早期注意情報	—	災害への心構えを高める <input type="checkbox"/> 非常持出し品の準備 <input type="checkbox"/> 避難する場所までの経路を確認 <input type="checkbox"/> 家族内の災害時の連絡方法を確認 <input type="checkbox"/> テレビやインターネットで天気予報を確認 <input type="checkbox"/> 家族の今後の予定や居場所を確認 <input type="checkbox"/> 家の周りに風雨で飛ばされるものがないか確認
レベル2 	大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報 高潮注意報	—	避難行動の確認、自主避難 <input type="checkbox"/> 非常持出し品のチェック <input type="checkbox"/> 避難する場所、避難経路を再確認 <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電を確認 <input type="checkbox"/> 高齢者等は避難の準備 <input type="checkbox"/> 大切なものを2階などへ移動
レベル3 	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報※ 高潮注意報	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 <input type="checkbox"/> テレビやインターネット、携帯電話で最新の気象情報や避難情報を確認 <input type="checkbox"/> 高齢者等以外の住民は避難の準備
レベル4 	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮特別警報 高潮警報	避難指示	危険な場所から全員避難 <input type="checkbox"/> 避難場所に避難開始 <input type="checkbox"/> 携帯電話などで最新の状況を確認
レベル5 	大雨特別警報 氾濫発生情報	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！ 災害が発生、切迫した状況。自宅内や近くの建物などで少しでも浸水しない高い場所や、土砂災害の危険が少ない場所に移動。

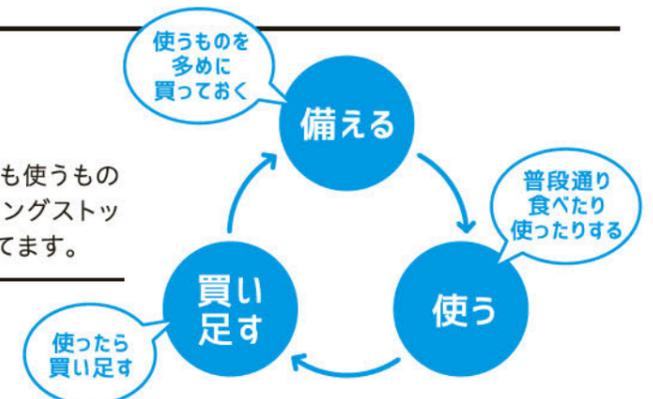
必要な物をそろえる

備蓄用品カタログ



なくなる前に足していく、
ローリングストックで簡単備蓄。

食料品や日用品をまとめて備蓄するのは大変です。いつも使うものを少し多めに買って置き、なくなったら補充する「ローリングストック」が便利です。常に自宅に一定の備蓄がある状態が保てます。



▶ 備蓄食品

<p>飲料水 1人1日3リットルを目安に、家族の人数分を3日～1週間分用意しましょう。</p>	<p>コーヒー、紅茶 避難所での不安を和らげるため、いろいろな味を用意して気分転換を、使い切りが便利です。</p>	<p>粉末青汁 災害時の野菜不足を手軽に補うことができます。</p>	<p>パックごはん お湯や水を注ぐだけで完成するものがおすすめです。</p>
<p>乾麺 カップラーメンのほか、パスタ麺や素麺があれば料理の素材にもなります。</p>	<p>豆類 保存しやすく、災害時にとりにくいたんぱく質を補うことができます。</p>	<p>乾物 軽くて長期保存がききます。非常時に不足しがちなミネラルや食物繊維が豊富です。</p>	<p>缶詰(主食、野菜) 特に、備蓄に不向きで災害時に不足しがちな野菜類は缶詰で備蓄しましょう。</p>
<p>レトルト食品 種類が豊富にあるため、自分の好みに合ったものを準備しましょう。</p>	<p>サプリメント 不足しがちなビタミン、ミネラルなどの栄養を、ピンポイントで補うことができます。</p>	<p>調味料 同じ食事に飽きたとき、手軽に味を変えられ、常温保存できます。</p>	<p>菓子類 電気やガスがなくても食べられ、心を落ち着けることもできます。</p>
<p>フリーズドライ 軽くて豊富なバリエーションがあります。お湯を注ぐだけで完成するため便利です。</p>	<p>ふりかけ 栄養補給のためだけでなく、食欲がないときにもふりかけがあると重宝します。</p>	<p>シリアル 手軽に食べられます。朝食用に作られているため、朝の活動に最適な栄養分が豊富です。</p>	<p>あめ・ジュース 手軽にエネルギーを補給できます。ストレス解消にも効果的です。</p>
<p>乳幼児用の菓子 リラックスさせるためにも、いつも食べているお気に入りのお菓子の準備を。</p>	<p>離乳食 避難所では手に入りにくいので、普段使っているものを少し多めに用意しておきましょう。</p>	<p>介護食 避難所での食事は、冷たくて食べづらいことがあります。カップタイプが便利です。</p>	<p>アレルギー対策食 アレルギーを考慮した支援物資は少ないので、あらかじめ備蓄しておきましょう。</p>

▶ 日用品

<p>ラップ 紙皿などに巻けば、水洗いの必要がなくなります。ケガをしたときの止血にも使えます。</p>	<p>ポリ袋・ゴミ袋 食器や衛生用品の代わりにしたり、レインコートにするなどさまざまな活用方法があります。</p>	<p>カセットコンロ 非常持ち出し用のリュックにも入る、コンパクトなものもあります。</p>	<p>携帯ラジオ ラジオ機能だけでなく、ライトやモバイルバッテリーなどの付属機能が充実したのもあります。</p>
<p>トイレトペーパー ティッシュペーパーの代用品にもなるため、1か月分を目安に備蓄を。</p>	<p>ティッシュペーパー 使用頻度の高いティッシュペーパーは、トイレトペーパー同様1か月分備蓄しましょう。</p>	<p>携帯トイレ 過去の震災ではトイレ不足が一番の問題に。最低でも1週間分は備蓄しましょう。</p>	<p>生理用品 使い慣れたものを、自分の使用期間に合わせて用意しましょう。</p>
<p>消臭スプレー トイレごみの臭い対策や、避難所での消臭など環境対策にあると便利です。</p>	<p>乾電池 停電復旧には、日数がかかる場合があります。3日～1週間分を目安に備蓄しましょう。</p>	<p>ウェットティッシュ 水の代用品としてはもちろん、消毒など感染症対策としても準備しておきましょう。</p>	<p>マウスウォッシュ 避難所生活や水不足の状況では、口の中を清潔に保つことが難しくなります。</p>

▶ ふだんの荷物

- マスク
- モバイルバッテリー
- 除菌シート・絆創膏
- 常備薬

▶ 緊急持出し袋

- 携帯ラジオ
- 救急セット
- 免許証のコピー
- ライト(懐中電灯)・電池
- 家族写真
- 健康保険証のコピー
- ヘルメット・軍手
- 印鑑
- 預金通帳のコピー

洲本市の災害

洲本市で起こった災害

風水害

- 昭和36(1961)年9月15～16日 第2室戸台風(台風第18号)
- 昭和54(1979)年9月30日 台風第16号
- 平成16年(2004)年10月20～21日 台風第23号

地震災害

- 昭和21(1946)年12月21日 昭和南海地震
- 平成7(1995)年1月17日 兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)
- 平成25(2013)年4月13日 淡路島地震

津波災害

- 昭和21(1946)年12月21日 昭和南海地震 洲本60～90cm
- 昭和35(1960)年5月23日 チリ地震 洲本59cm
- 昭和39(1964)年3月28日 アラスカ地震 洲本14cm



昭和南海地震



阪神・淡路大震災



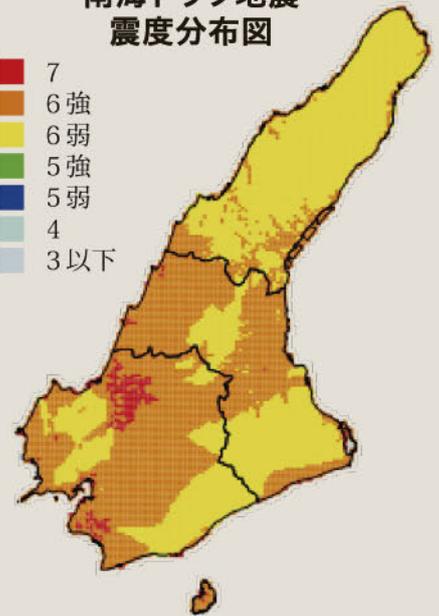
台風第23号

地震・津波による被害想定

洲本市に特に大きな影響を及ぼす地震は、「南海トラフ地震」と「中央構造線断層帯地震(紀淡海峡-鳴門海峡)」が想定されています。南海トラフ地震では震度6弱～7、中央構造線断層帯地震では震度にバラつきがありますが、震度6強以上の地域が多いと予測されています。また、津波災害は、南海トラフ地震による被害が想定されています。

南海トラフ地震
震度分布図

- 7
- 6強
- 6弱
- 5強
- 5弱
- 4
- 3以下



風水害等その他災害により想定される被害(二次被害)

台風や集中豪雨による二次被害は、地滑りや土石流、それに伴った洪水の発生が想定されます。地震による二次被害は、火災や地割れ、切れた電線に触れることでの感電などが想定されます。

- ▶ 地震火災
- ▶ 感電
- ▶ ガス漏れ
- ▶ ライフラインの断絶



台風・大雨が
起きたら… →

洪水発生!!

まずやること

自宅やビルなどの 安全な建物で待機しよう!

近年、大雨や集中豪雨による洪水が多発しています。河川の氾濫では2階以上の浸水や、木造家屋倒壊のおそれがあるため、ハザードマップなどで災害の危険性を把握しましょう。



外出していたら…

地下から高いところへ
移動しよう



地下は冠水の心配があるため、より高く安全な場所に避難しましょう。



河川や用水路には
近づかない

水があふれ、流れが激しくなるため危険です。絶対に近づかないようにしましょう。

台風は
通り過ぎるまで待つ

建物の中に入るなど通り過ぎるのを待ちます。自宅にいる場合は外出は控えましょう。



少しでも浸水しているときは外出しない

大人のひざまで浸かる程度で歩行は困難になり、おぼれる可能性もあります。

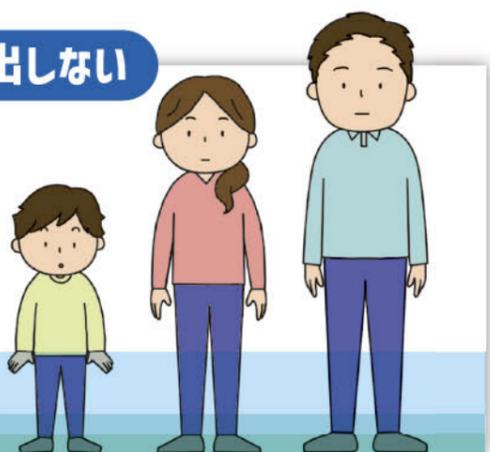
50cm

水の流れが早いと、足を取られて転倒する可能性があります。

20cm

濁った水で側溝などの位置がわかりにくく転落のおそれがあります。

10cm



気象情報・災害情報入手しよう

テレビやラジオ、インターネットなどを利用して、常に最新の情報を入手するように心がけましょう。



テレビ
(dボタンで情報取得)



メール



ホームページ



SNS

情報を確認して、周囲の様子を確かめ、その場所とその時の状況で避難するか判断しましょう。 ← 詳しくはP4へ

避難するとき

車は使わない

流れがある場所では、水深が浅くても簡単に流されてしまいます。



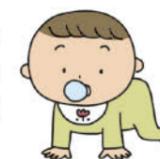
持ち物は最小限に

移動の負担にならないよう、持ち物は軽くしておきましょう。



子どもや高齢者に配慮を

避難に時間がかかることがあるので、早めに避難しましょう。



足元に注意

濁った水の中は道の状況がわからず危険です。傘や杖で確かめながら行動しましょう。



単独行動はしない

単独行動は危険です。避難するときは2人以上で、お互いの体をロープで結ぶなど、はぐれないようにしましょう。

水平避難と垂直避難

洪水時の避難行動にはより遠くへ移動する水平避難と、津波などの危険から逃れるため自宅や近隣の建物の高所へ避難する垂直避難があります。指定された避難所への避難にこだわらず、状況に応じて適切な避難行動を取りましょう。



今からできる!

- ハザードマップで自宅を確認
- 持出し品を準備
- 家族のルールを決めておく



台風・大雨が
起きたら… →

土砂災害 ため池 決壊!!

土砂災害とは

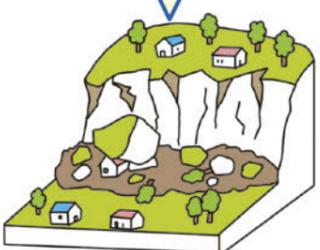
台風や集中豪雨が原因で起こることが多く、一瞬にして人命や住宅などの財産を奪う災害です。すさまじい破壊力をもつ土砂が流れます。大きく「がけ崩れ災害」「地滑り災害」「土石流災害」の3つに分類することができます。

土石流



大雨によって山や谷の石や土砂が下流へと一気に押し流される現象です。

がけ崩れ



雨水の浸透や地震によって、山の斜面が突然崩れ落ちる現象です。

地滑り



染み込んだ地下水の水位が上がり、広範囲で地面の一部が滑り落ちる現象です。

ため池決壊とは

大雨や地震により、水位が上がったり、堤防が破壊あるいは損傷したりすることで決壊に至ります。ため池の貯水機能が失われるだけでなく、下流に深刻な被害を及ぼします。

大雨による決壊

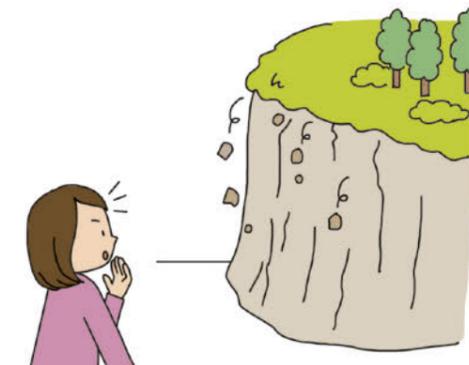


地震による決壊



前兆現象に注意

土砂災害やため池の決壊が発生する前にはさまざまな前兆現象があります。これらの現象が見られた場合は、周りの人にも知らせ、早めの避難を心がけましょう。また、前兆現象がなくても土砂災害が発生する場合があります。



土砂災害の前兆

- 土石流:川の水が濁る など
- がけ崩れ:小石が落ちてくる など
- 地滑り:地面にひび割れ など

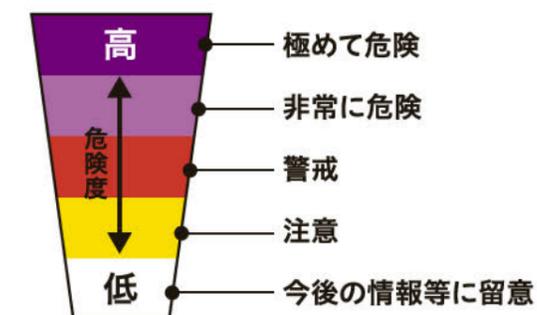
ため池決壊の前兆

- 堤防の陥没やひび割れが発生
- 急激な漏水の増加
- 漏水が濁っている など

気象庁の大雨警報・洪水警報の危険度分布

危険度分布とは、警報が発表されたとき、どこで土砂災害や浸水、洪水の危険度が高まっているかを地図上で把握できる、命を守るための情報です。危険度分布を見ると、今いる地域の危険度の高まりを一目で把握することができます。警戒（赤色）以上の危険度となった場合は、早めの避難が必要です。警報が発表されたら危険度分布を確認し、避難のタイミングをつかむために活用しましょう。

大雨警報(土砂災害)・洪水警報の危険度分布

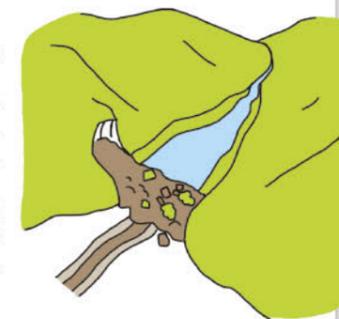


気象庁「キキクル」
<https://www.jma.go.jp/bosai/>



! 雨が止んでいても要注意!

雨が止んだあとも土の中には水分が溜まっており、土砂災害発生のおそれがあります。また、自然現象で崩れた土砂がダムのように川をせき止める「土砂ダム」が発生することもあります。この土砂ダムが崩れると、下流に被害を及ぼします。



今からできる!

- 土砂災害ハザードのチェック
- ため池ハザードのチェック
- 土砂災害警戒情報が発表されたら避難できるよう準備する

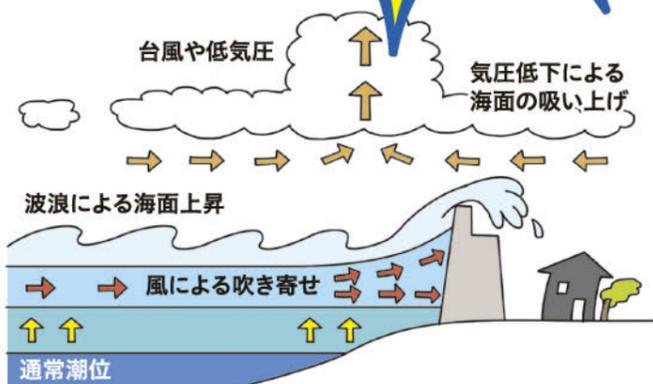


台風・大雨が
起きたら… →

高潮発生!!

高潮とは

高潮とは、台風や発達した低気圧により、潮位（海面水位）が上昇する現象です。気圧が低下することで海面が吸い上げられ、短時間のうちに急激に潮位が上昇します。そして、台風などによる強風が海から陸側へ吹いたとき、海水が海岸の方へ吹き寄せられ、海岸付近の潮位が異常に上昇することで起こります。



高潮が発生しやすいのは



- 南向きの湾
- 奥まったところ
- 台風の東側

台風は東側に強い風が吹き寄せるため、南側に開いた湾では高潮が発生しやすくなります。また、海岸線が奥まったところでは、持ち上がった海面の逃げ場がなくなり、一層持ち上がります。

防潮堤

防潮堤とは、津波や高潮などから市街地を守る堤防をさします。高潮を食い止めたり、内陸への進行を遅らせ、避難の時間を稼ぐことができます。東日本大震災のあと、沿岸部では防潮堤を建設する自治体が増えました。洲本市においては、洲本港などに設置されています。



まずやること

台風接近前に避難

高潮はじわじわ波が高くなるわけではなく、急に海面が高くなります。さらに、台風の際には高潮が発生する前に暴風になっているため、浸水の危険がある地域に住んでいる方は、台風接近前に避難しておかないと逃げ遅れてしまいます。雨や風が弱いうちの避難を心がけましょう。



できるだけ台風接近前に
浸水の可能性のない場所へ
早めに避難しましょう。

危険な場所には近づかない

低地では浸水被害、河口部や湾奥部では高潮と洪水の危険があります。V字谷では局地的に水位が上がる可能性があります。



行政から発表される高潮情報

- ▶ 気象庁が発表する気象情報
 - ① 高潮注意報
 - ② 高潮警報
 - ③ 高潮特別警報
- ▶ 都道府県が発表する水位周知情報
高潮氾濫発生情報

やむを得ず接近後に避難するときは、12ページを参照ください。

！ 自動開閉の防潮堤ゲート

洲本市では、津波や高潮の際に水の力で自動的に閉まる防潮堤ゲートを設置しています。門の下に水が流れ込むと、水の浮力で鉄製扉の片側が徐々に上昇。高さ75センチの壁が水の浸入を防ぎます。災害時に門を閉めに行く危険を回避することができます。



今からできる!

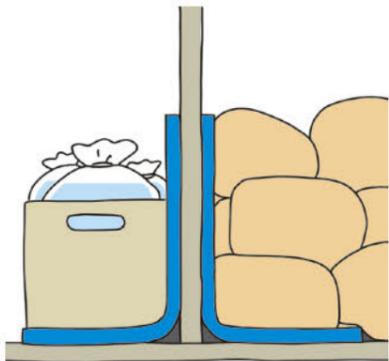
- 高潮ハザードのチェック
- 避難経路の確認
- 土のうなどの浸水対策



風水害の備え

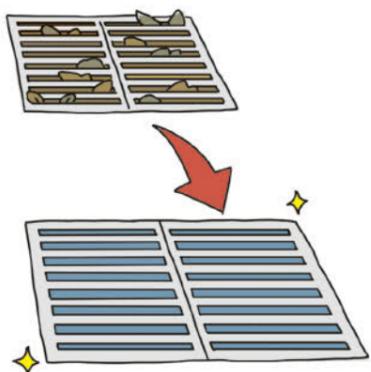
家の周辺整理

台風や大雨が来る前に、浸水などの被害に備えて事前にしっかり準備しておきましょう。



家の前や玄関に土のう

家屋への浸水を軽減することができます。土のうがなくても、ゴミ袋などで簡易水のうを作ることができます。



排水溝は水はけよく

落ち葉やごみで排水溝がふさがれていると、敷地や道路が冠水するおそれがあります。点検や清掃を行いましょう。

車は移動しておく

早めに安全な場所へ移動しておきましょう。移動が困難な場合は、エンジン部分の浸水を避けましょう。



大切な物は2階以上へ

浸水などの被害に遭わないよう、大切な物はあらかじめ高いところへ移動しておきましょう。



寝室は山から離れた高い場所

浸水や土砂災害から身を守るために、家の中でもより安全な、山から離れた2階以上の部屋で寝ましょう。



早めの帰宅をしよう

激しい風雨で屋外の移動が危険だけでなく、公共交通機関は運行に大きな影響が出る可能性があるため、天候が荒れる前に、早めに帰宅するようにしましょう。



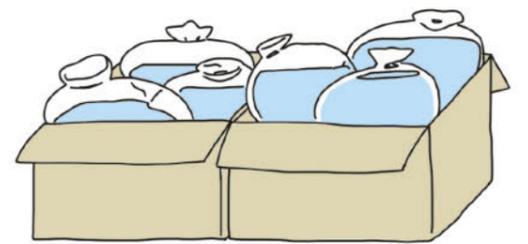
お天気アプリも活用

位置情報に基づいたピンポイントの天気情報が配信されるため、災害への事前準備や迅速な避難の判断などに活用することができます。天気予報に限らず、さまざまな防災情報が配信されるものもあります。



簡易水のうの作り方

40リットル程度のゴミ袋を二重または三重にして半分程度の水を入れ、きつく縛り、出入口などにすき間なく並べて使用します。ダンボールに入れてつなげば強度が増し、積み重ねることもできます。

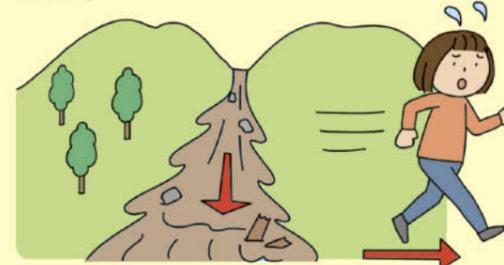


知っておこう!

避難の約束

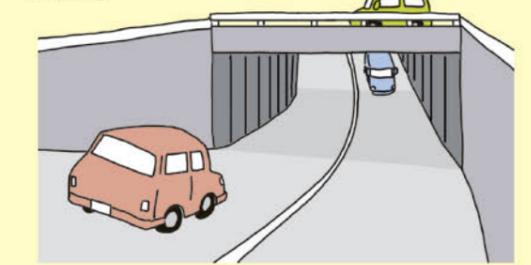
土砂災害は横に逃げる

土石流はスピードが速いため、流れに対し直角(横)に逃げます。ただし、高い場所があれば登るなど、横に逃げない方が良い場合もあります。



地下道などは通らない

津波や洪水の際は、低いところに水が集中します。遠回りになったとしても、地下や地面より低い場所を通る避難経路は避けましょう。



地震が
起きたら...



地震発生!!

まずやること

自身の安全確保!!

揺れがおさまってから行動

火元の確認

火を使っていた場合はあわてずに、揺れがおさまってから火の始末をしましょう。

出口の確保

部屋の扉や窓、玄関のドアなどを開けて出口を確保しましょう。

危険箇所から離れる(電灯・ガラス)

屋外では、ガラスやブロック塀などに近寄らないようにしましょう。

家族の安全、安否確認

電話回線がパンクしてつながないときは、SNSを利用した安否確認も有効です。

災害・避難情報の入手

テレビやラジオ、インターネットなどで情報を入手しましょう。

2階の場合は様子を見る

まずは避難経路を確保し、様子を見ます。慌てて1階に降りるのは控えましょう。

知っておこう!

シェイクアウト(Shake out)

地震から身を守るための3動作(①姿勢を低く、②頭を守る、③揺れが収まるまでじっとする)を行う訓練です。地震が発生したとき、落下物等から身を守るという基本的な対応を身につけましょう。



①まず低く ②頭を守り ③動かない

すぐに避難する

大きな地震や津波情報をきっかけに海辺から離れ、できるだけ早く、高い場所へ避難しましょう。強い揺れだけでなく、長くゆっくりした揺れでも津波が発生するおそれがあります。

車を使わず 徒歩で避難を

渋滞に巻き込まれて逃げ遅れたり、徒歩で避難する人の妨げになることがあります。



海、河川から 離れる

津波は海に近い場所だけを襲ってくるわけではありません。川を駆け上がることもあります。

すぐに 高台へ避難

地震が起きたらすぐに避難できるように、普段から高台や高い建物の位置を確認しておきましょう。



高台が無理なら 近くの高いビル

高台などへの避難が困難な場合、緊急的な一時避難先として近くの高いビルへ避難しましょう。

家族で共有しておく

地震や津波、大雨のときの避難先をそれぞれ決めておき、家族がいっしょにいないときはどうするのかなど避難場所、避難方法、連絡方法について、あらかじめ、家族で決めておきましょう。



マイ避難カード ← 9ページ

警報が出ている間は避難

津波は、地震発生から何度も繰り返し押し寄せます。また、津波の高さは第1波が最大とは限りません。津波が一度到達したり、海が何ともないように見えても、津波警報・注意報が解除されるまで気を緩めず、避難を続けましょう。



今からできる!

- 家の中で安全な場所を作る
- 寝室に避難用の靴を準備
- 家族で避難先を決めておく



避難経路

避難経路を確保するため
普段過ごしている
家の中の危険を減らしましょう。



ドアを防ぐものは 置かない

家具を出入り口付近に置くと、避難口がふさがれるおそれがあります。倒れる可能性を考慮して家具を配置しましょう。



廊下や階段に 物を置かない

いざというとき安全に避難できるように、廊下や階段には倒れやすいものを置かないようにしましょう。

非常灯を 備えておく

地震で停電が発生した際に、安全に避難するために非常灯が必要になります。停電時には自動で点灯するものもあります。



ベランダの 避難ハッチを 点検する

ふたはちゃんと開くように、日頃から確認しておきましょう。周囲には物を置かず、避難ハッチをふさがないように注意しましょう。

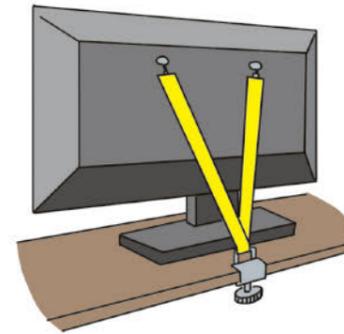


スリッパや靴を 寝室に置く

家具が倒れたり、ガラスなどが割れて散乱するおそれがあります。足元の安全確保のため、必ず用意しておきましょう。

家具の配置

大きな揺れによるケガの危険を減らすために、家具や家電は動かないように固定しておきましょう。



テレビをベルト などで固定

揺れて倒れやすいため危険です。できるだけ低い位置に置き、ベルトや金具、装着マットなどを使い、テレビ台に固定しましょう。

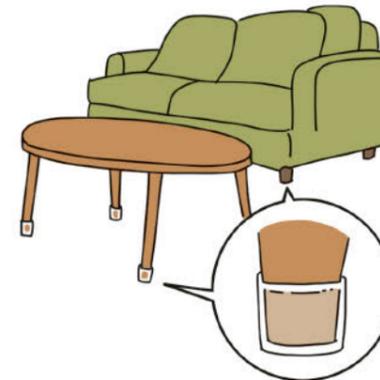
ガラス飛散防止 フィルムを貼る

ガラスが割れて床に飛び散ると危険です。飛散防止のフィルムシートを貼っておけば片付けも楽になります。



タンスや棚に 突っ張り棒

天板と天井の間を突っ張る形で、家具を固定します。家具の前側では強度が弱くなるため、後ろ側に設置しましょう。



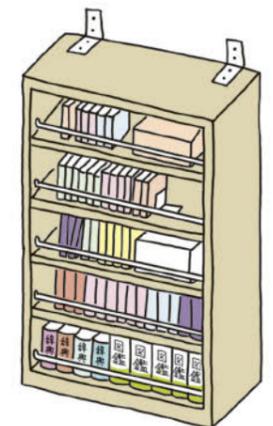
テーブルやソファ に滑り止め

テーブルやソファが揺れによって移動し、ケガをすることがあります。移動防止対策として、滑り止めマットを設置しておきましょう。



何もない場所を 作る

少しでも安全なスペースができるように、家具の配置を変えるなどして、室内での避難場所を確保しましょう。



本棚の中にも ひと工夫

本棚に突っ張り棒をつけておくと、本の飛び出しを防げます。また下の段ほど重い物を入れると重心が低くなり転倒防止になります。

家の耐震

家屋の倒壊を未然に防ぐため、住まいの耐震性をチェックし、気になることがあれば専門家に相談しましょう。



耐震診断

地震で倒壊しない耐震性があるかを調査・確認することです。建物の強度補強の工事をする場合でも、事前の耐震診断が必要です。

耐震補強

建物の耐震性を高めるために、建物の基礎や土台、柱などに対して行う補強のことです。耐震補強にはさまざまな方法があります。

災害時に役立つ 保険の確認をしておきましょう

証券番号と
問合せ先だけでも
メモしておく
GOOD!

火災保険

火災による被害の補償が主となるため、一般的な火災保険では、地震による火災は補償対象外となります。

地震保険

地震による火災・損壊や津波、噴火による損害など、火災保険ではカバーされていない部分も補償できる保険です。

知っておこう!

電気やガスの注意点

避難時にはブレーカーとガスの元栓をしめて

通電火災などの二次災害を防止するために、避難する前には必ずブレーカーを切り、ガス・水道の元栓を閉めましょう。



停電時や災害時でもつながりやすい公衆電話

公衆電話は停電時でも使用できます。また、優先電話のため災害時でもつながりやすくなります。東日本大震災の時も、公衆電話には長蛇の列ができました。自宅や職場近くの公衆電話の場所を把握しておきましょう。

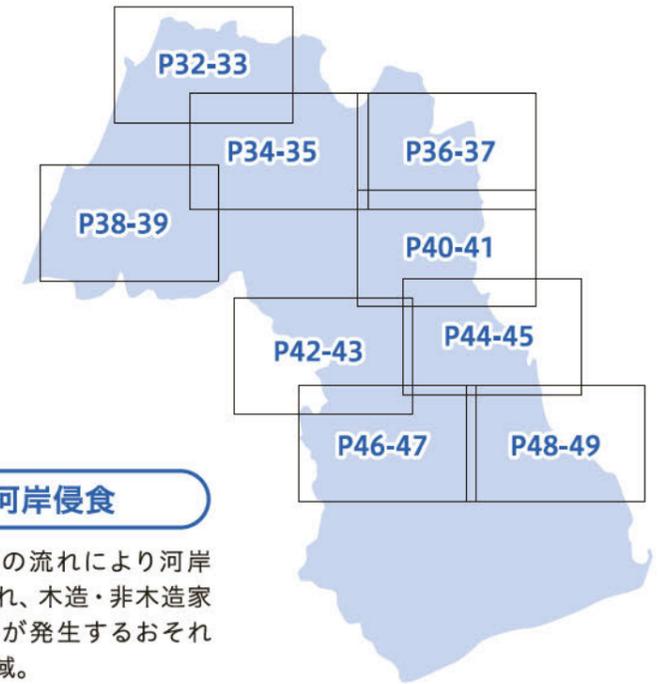


自分の家周りをチェックしよう

ハザードマップの見方

洪水

台風による大雨や集中豪雨などが原因で、河川が増水・氾濫することにより発生します。河川の氾濫では2階以上の浸水や木造家屋倒壊のおそれがあります。浸水深の目安によって避難行動も変わるため、早めの避難を心がけましょう。



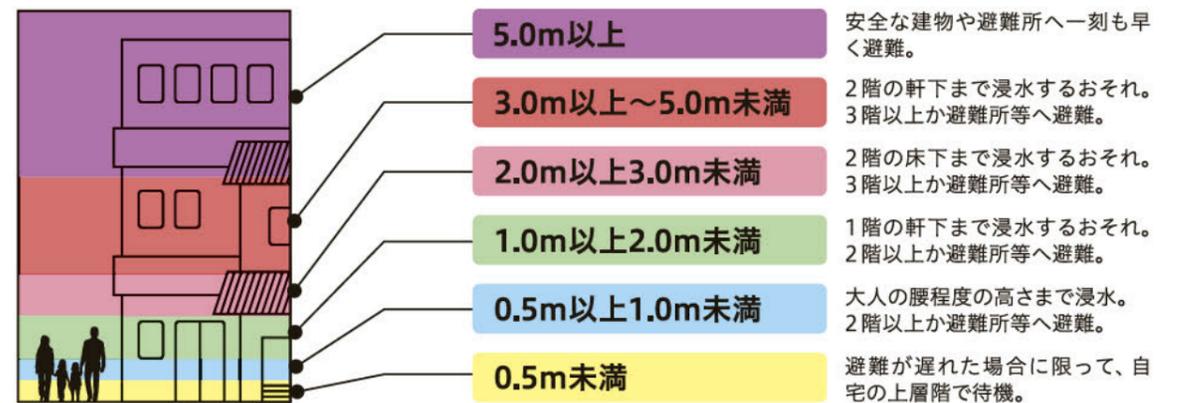
氾濫流

河川が氾濫した場合に、木造家屋の流出や倒壊等が生じるような強い水の流れが発生するおそれがある区域。

河岸侵食

強い河川の流れにより河岸が侵食され、木造・非木造家屋の倒壊が発生するおそれがある区域。

浸水の深さの目安



より詳細な情報は…

洲本市電子ハザードマップ

インターネット上で地図の拡大・縮小や住所検索、避難場所などを確認できる便利な機能が備わっています。



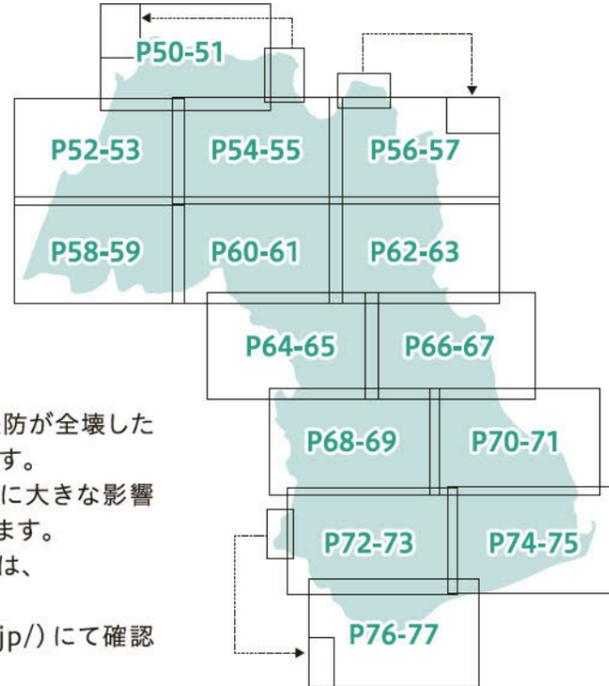
ハザードマップの見方

土砂災害・ため池

大雨・台風・地震などの影響により、土砂災害やため池の決壊が発生します。また、急な坂や倒壊してきそうな壁、建物がないか、家族で実際に歩いて確認してみましょう。

ため池の浸水想定

- ▶ため池の貯水量が満水の状態で、地震等により堤防が全壊した状況を想定とする最大の浸水範囲を示したものです。
- ▶このため池ハザードマップは、決壊した場合、特に大きな影響を及ぼすと考えられるため池を対象に作成しています。
- ▶本マップに掲載のないため池の浸水想定については、「兵庫県CGハザードマップ」(URL: <http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/>)にて確認することができます。



土砂災害



土砂災害警戒区域とは？ 土砂災害警戒区域は土砂災害防止法に基づき、次の2段階で定められています。

土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)

イエローゾーンのうち、建築物に損壊が生じ、住民の生命・身体に著しい危害の生じるおそれがある区域

土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)

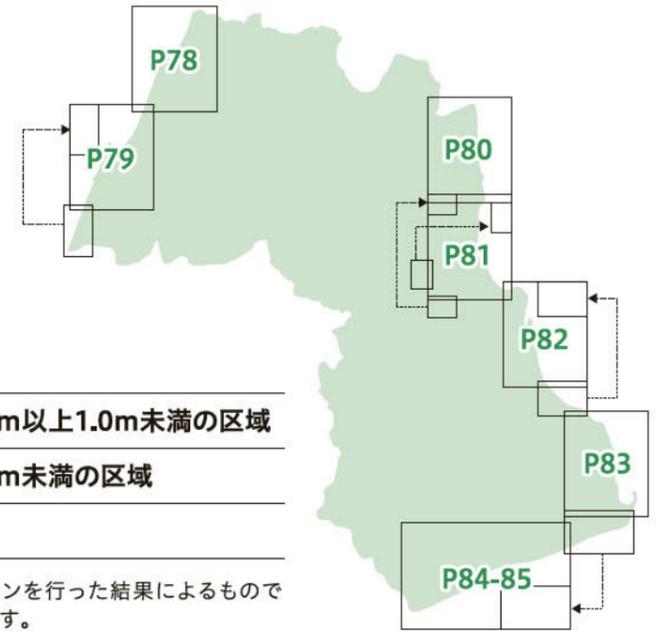
土砂災害が発生した場合、住民の生命・身体に危害が生じるおそれがある区域

高潮

高潮は台風などの低気圧により発生します。高潮防災の基本は事前避難です。状況によっては河川や水路からも高潮が遡上し、浸水することがあるので、危険が予測される場合は速やかに避難しましょう。

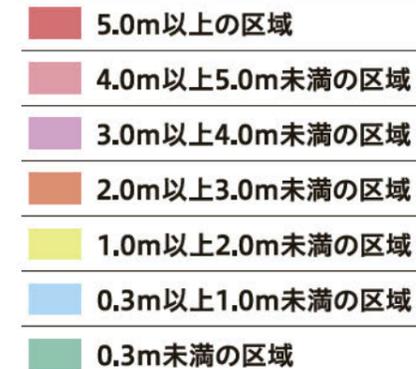


昭和36年9月の第2室戸台風を参考にシミュレーションを行った結果によるものです。高潮による浸水のおそれのある区域を表示しています。

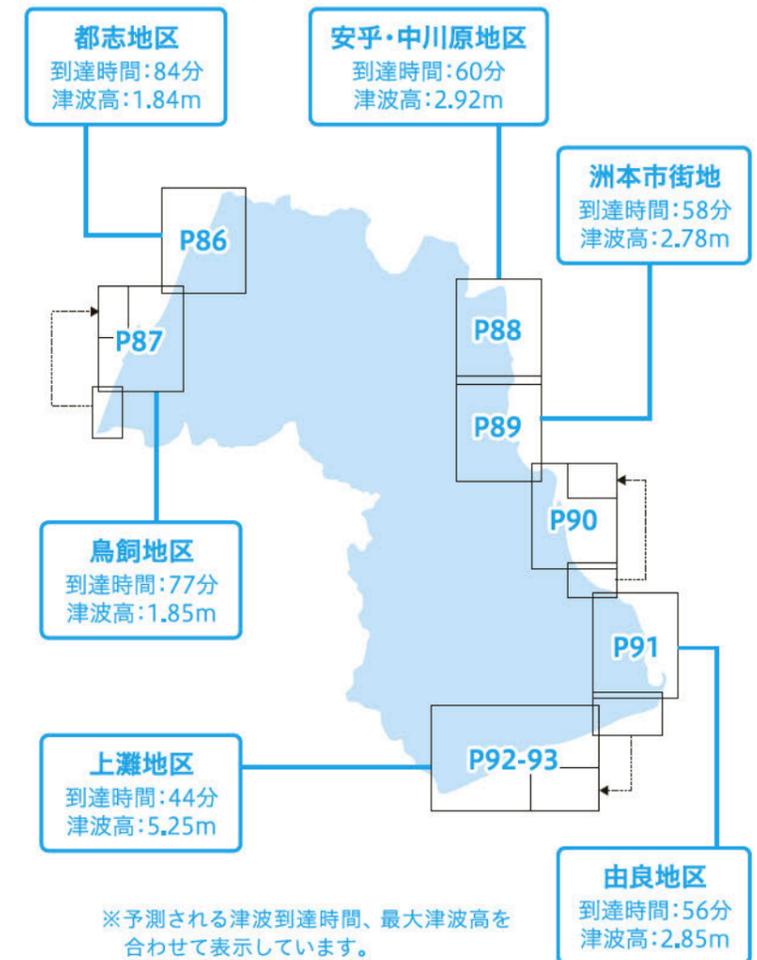


津波

津波が発生した場合、「より早く、より高く」避難することが重要です。状況によっては河川や水路からも津波が遡上し、浸水することがあるので、そのような場所を避けて避難するようにしましょう。



マグニチュード9.1規模の南海トラフ地震が起こり、水門等が閉鎖できなかった場合の、津波による被害の想定区域の浸水状況を示したものです。



避難所・避難場所一覧

各避難所は、災害の状況に応じて開設されます。**市からの避難所開設の情報に注意してください。**事前に家族で避難する場所を確認しておきましょう。

指定避難所	災害の危険性があり避難した人が、災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在する施設です。また、災害により自宅に戻れなくなった人が一時的に滞在する施設です。
指定緊急避難場所	災害の危険性から命を守るために緊急的に避難する施設です。災害が発生した、または発生のおそれのある場合は、その災害に対応している指定緊急避難場所に避難してください。 ○…使用可能 △…2階以上のスペース使用 ×…使用不可(危険) —…対象外

指定避難所(兼、指定緊急避難場所)

NO	場所・施設名	所在地	電話番号	指定緊急避難場所						海拔(m)
				地震	津波	洪水	土砂災害	高潮	大規模な火事	
1	総合福祉会館	山手2-2-26	26-0022	○	○	△	○	△	○	1.70
2	洲本第二小学校	山手2-1-51	22-2631	○	△	△	○	△	○	1.57
3	消防団内町分団地域拠点施設	海岸通2-5-13	22-3398	○	△	△	○	△	×	1.59
4	洲本市文化体育館	塩屋1-1-17	25-3321	○	△	△	○	△	○	1.57
5	健康福祉館	港2-26	22-3337	○	△	△	○	△	○	1.45
6	洲本中央公民館	山手3-3-2	22-1280	○	○	△	△	△	○	1.50
7	外町コミュニティ消防センター	栄町4-3-23	22-3397	○	△	△	○	○	○	4.24
8	洲本第一小学校	宇山1-1-37	22-4474	○	△	△	○	△	○	2.84
9	洲浜中学校	塩屋2-5-2	22-2461	○	△	△	○	△	○	2.08
10	デイサービスセンターうしお	炬口2-9-2	25-5161	○	△	△	○	△	○	1.65
11	潮コミュニティ消防センター	炬口1-3-60	22-0716	○	△	△	○	△	○	1.25
12	洲本第三小学校	物部1-1-49	22-2531	○	○	△	○	○	○	3.93
13	青雲中学校	物部3-10-1	22-2627	○	○	△	○	○	○	4.66
14	物部コミュニティ消防センター	上物部2-3-11	22-2656	○	○	△	○	○	○	5.47
15	千草公民館	千草甲221-7	23-0516	○	○	△	×	○	○	12.06
16	千草コミュニティ消防センター	千草甲39	24-6014	○	○	×	△	○	○	9.33
17	大野小学校	大野318	22-0711	○	○	○	○	○	○	34.18
18	大野公民館	大野1404	24-3602	○	○	○	○	○	○	30.09
19	大野コミュニティ消防センター	大野123-6	23-2125	○	○	△	○	○	○	41.89
20	大野陽だまり館	新村80	26-0076	○	○	△	○	○	○	42.47
21	市民交流センター	宇原1788-1	24-4450	○	○	×	○	○	○	9.11
22	加茂小学校	下内膳470	22-0710	○	○	○	○	○	○	11.82
23	加茂コミュニティ消防センター	下内膳8-1	23-0747	○	○	○	○	○	○	10.92
24	人権文化センター	桑間169-1	22-1282	○	○	△	○	○	○	6.39
25	中川原小学校	中川原町中川原988	28-0118	○	○	○	○	○	○	57.63
26	旧中川原中学校	中川原町中川原222-2	28-0023	○	○	○	×	○	○	74.02
27	中川原公民館	中川原町中川原907	28-1024	○	○	○	○	○	○	63.27
28	安乎小学校	安乎町平安浦445	28-0012	○	○	○	○	○	○	19.31

NO	場所・施設名	所在地	電話番号	指定緊急避難場所						海拔(m)
				地震	津波	洪水	土砂災害	高潮	大規模な火事	
29	安乎中学校	安乎町北谷1169-2	28-0011	○	○	○	○	○	○	21.09
30	安乎公民館	安乎町中田11-2	28-0007	○	○	○	○	○	○	13.11
31	納会館	納716	24-2830	×	○	△	○	○	○	13.71
32	鮎屋多目的集会所	鮎屋693	24-0801	○	○	○	○	○	○	52.27
33	由良小学校	由良3-3-43	27-0049	○	○	○	△	○	○	9.65
34	由良中学校	由良町由良2355-1	27-0122	○	△	○	○	△	○	4.08
35	由良公民館	由良1-6-10	27-2167	○	○	○	△	○	○	16.21
36	由良コミュニティ消防センター	由良1-21-33	27-0327	○	△	○	△	△	○	2.34
37	上灘出張所	相川組198	29-0111	○	○	○	△	○	○	6.56
38	畑田集会所	畑田組8-3	18-1385(CA)	○	○	○	○	○	○	32.21
39	安養寺	中津川組246	-	○	○	○	×	○	○	29.08
40	都志小学校	五色町都志万歳919	33-0031	○	○	○	○	○	○	5.12
41	健康村トレーニングセンター	五色町都志大日707	33-1254	○	○	○	○	○	○	27.72
42	高田屋嘉兵衛公園(浜千鳥)	五色町都志1087	33-1600	○	○	○	○	○	○	49.94
43	五色健康福祉総合センター	五色町都志大日707	33-0503	○	○	○	○	○	○	19.07
44	防災センター都志会館	五色町都志282	33-0173	○	×	△	○	×	○	3.02
45	五色文化ホール(五色庁舎3階)	五色町都志203	33-0160	○	○	△	○	△	○	2.48
46	鮎原小学校	五色町鮎原南谷559	32-0009	○	○	△	△	○	○	64.39
47	消防団鮎原分団地域拠点施設	五色町鮎原南谷360-2	32-1519	○	○	○	○	○	○	67.36
48	定住・交流促進センター(鮎愛館)	五色町鮎原南谷65	32-0011	○	○	○	○	○	○	68.46
49	中山間総合活性化センター	五色町鮎原南谷352	32-1211	○	○	○	○	○	○	90.83
50	五色中学校	五色町広石北125	35-0316	○	○	○	○	○	○	55.17
51	広石小学校	五色町広石下961	35-0215	○	○	○	○	○	○	31.95
52	五色地域福祉センター(みやまホール)	五色町広石中90-5	35-1166	○	○	○	○	○	○	36.55
53	消防団広石分団地域拠点施設	五色町広石中91-1	35-1190	○	○	○	○	○	○	35.62
54	鳥飼小学校	五色町鳥飼中309	34-0013	○	○	○	○	○	○	4.01
55	防災センター鳥飼会館	五色町鳥飼浦1918-1	34-0303	○	○	○	○	○	○	6.94
56	五色台運動公園アスパ五色体育館	鳥飼浦2613	34-1177	○	○	○	○	○	○	47.55
57	堺小学校	五色町上堺25-1	35-0020	○	○	○	○	○	○	25.82
58	消防団堺分団地域拠点施設	五色町上堺119-1	35-1019	○	○	○	△	○	○	25.49

指定緊急避難場所

NO	場所・施設名	所在地	電話番号	指定緊急避難場所						海拔(m)
				地震	津波	洪水	土砂災害	高潮	大規模な火事	
59	三熊山・曲田山(高台)	山手・小路谷	-	-	○	-	×	-	○	48~123
60	洲本市役所	本町3-4-10	22-3321	○	○	○	○	○	○	1.29
61	小路谷公会堂敷地内(高台)	小路谷117-2	-	-	○	-	-	-	○	37.31
62	防災公園	塩屋1-439-1	-	-	×	×	-	-	○	1.54
63	検査場跡地(高台)	宇山2-3-4付近	-	-	○	-	×	-	○	53.00
64	秋葉山神社(高台)	炬口2-5-25付近	-	-	○	-	×	-	○	25.00
65	由良町4丁目どんでん山周辺避難路(高台)	由良4-13付近	-	-	○	-	×	-	○	18.00
66	由良支所	由良2-7-22	27-1221	○	×	○	×	×	○	2.01
67	由良多目的広場(高台)	由良1-7	-	-	○	-	×	-	○	20.20



その他の避難施設

30～31ページの避難所は常に開設する避難施設ではありません。ご注意ください。

災害の状況により、緊急時に下記の施設を避難所として開設する場合があります。市からの避難所開設の情報に注意してください。

地域の避難施設

災害の状況により、地域の避難所として開設されます。「指定避難所」や「指定緊急避難場所」への避難が困難な場合や緊急時を想定しています。

NO	地区	場所・施設名	NO	地区	場所・施設名		
68	安乎	安心コミュニティプラザ浜公会堂	102	加茂	上加茂公会堂(安心コミュニティプラザ)		
69		直田コミュニティプラザ	103		大森谷公会堂		
70		安心コミュニティプラザ中田公会堂	104		尾筋公民館		
71		安心コミュニティプラザ南公会堂	105		里公会堂		
72		北谷コミュニティプラザ	106		天川クラブ		
73		宮野原公会堂	107		内田コミュニティプラザ		
74		安心コミュニティプラザ古宮公会堂	108		由良四丁目会館(老人憩いの家)		
75		山田原公会堂	109		吉田神社(仲小路老人憩いの家)		
76		安心コミュニティプラザニッ石公会堂	110		戎神社(南町老人憩いの家)		
77		中川原	安坂集会所		111	安心コミュニティプラザ米山町内会公民館	
78	三木田コミュニティプラザ		112	安心コミュニティプラザ大浜倶楽部			
79	炬口公民館		113	弘道館			
80	コミュニティプラザ塩屋会館		114	大宮ふるさと会館			
81	潮		宇山コミュニティプラザ	115	万歳町内会安心コミュニティプラザ		
82			下加茂会館	116	万歳公会堂		
83			内町	小路谷公会堂	117	新在家安心コミュニティプラザ	
84				外町	常盤町みんなの家	118	角川ふるさと会館
85					上清水会館	119	大日安心コミュニティプラザ
86					馬木会館	120	安心コミュニティプラザ塔下公会堂
87		コミュニティセンター本村会館			121	三野畑公会堂	
88		物部			山崎安心コミュニティプラザ	122	南谷ふるさと会館
89					中島公民館	123	安心コミュニティプラザ鮎原上ふるさと会館
90					出店町会館	124	安心コミュニティプラザ中邑公会堂
91	川西公会堂				125	下安心コミュニティプラザ	
92	上物部				仲津コミュニティプラザ	126	安心コミュニティプラザ鮎原吉田ふるさと会館
93			安心コミュニティプラザ仲山水会館		127	鮎原	田畑会館
94			青葉台団地安心コミュニティプラザ	128	安心コミュニティプラザ葛尾公会堂		
95			千草	千草明田集会所(老人憩いの家)	129	安心コミュニティプラザ小山田公会堂	
96			コミュニティプラザ宇原会館	130	栢野郷土伝承館		
97			大野	コミュニティプラザ戒ヶ丘会館	131	鮎原宇谷安心コミュニティプラザ	
98		赤坂コミュニティプラザ		132	西ふるさと会館		
99		新村安心コミュニティプラザ		133	鮎の郷まちおこし会館		
100		加茂		奥畑集会所	134	神陽台集会所	
101				桑間一丁目公会堂	135	広石	安心コミュニティプラザ広石上町内会館

NO	地区	場所・施設名	
136	広石	安心コミュニティプラザ広石中公会堂	
137		広石中団地集会所	
138		安心コミュニティプラザ広石下集会所	
139		広石会館	
140		安心コミュニティプラザ広石北集会所	
141		鳥飼上安心コミュニティプラザ上組くらぶ	
142		鳥飼	安心コミュニティプラザ鳥飼中公会堂
143			奥之内安心コミュニティプラザ

NO	地区	場所・施設名	
144	鳥飼	鳥飼奥所安心コミュニティプラザ	
145		鳥飼南ふるさと会館	
146		鳥飼北船だんじり伝承館	
147		五色浜自治会館	
148		堺地区町おこし会館	
149		堺	上堺ふるさと会館
150			堺会館
151			下堺集落センター

協定により災害時に使用できる避難施設

NO	場所・施設名	所在地	電話番号	海拔(m)	備考
152	淡路プリンスホテル	海岸通1-8-24	24-5885	1.33	
153	淡路第二プリンスホテル	海岸通1-7-2	24-4403	2.22	
154	学校法人柳学園柳幼稚園	海岸通2-4-7	22-3208	1.42	
155	淡路洲本念法寺	海岸通2-1-3	22-1112	1.95	
156	リゾートトラスト株式会社エクシブ淡路島	小路谷1275-3	23-3300	3.26	
157	イオン洲本店	塩屋1-1-8	23-2150	1.35	津波避難ビル
158	天理教洲本大教会	宇山3-1-1	22-0487	1.95	
159	兵庫県立洲本実業高校	宇山2-8-65	22-1240	59.51	土砂災害注意
160	兵庫県立洲本高等学校	上物部2-8-5	22-1550	4.08	
161	淡路日の出農業協同組合洲本支店	物部3-5-27	22-1120	3.65	
162	有限会社淡陽自動車教習所	物部1-17-52	22-2447	5.89	
163	兵庫県立あわじ特別支援学校	上物部2-1-17	22-1766	6.23	
164	淡路土建株式会社	桑間706	22-2525	8.20	
165	パナソニックエナジーソリューション事業部	上内膳222-1	24-4111	11.39	
166	淡路信用金庫本店別館	下加茂1-715	22-1020	5.90	

福祉避難所

高齢者や妊産婦など、避難生活で配慮が必要な方を対象とする避難所のことです。福祉避難所は災害時に必要に応じて開設されるため、最初から避難所として利用することはできません。

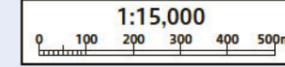
NO	場所・施設名	所在地	電話番号
1	総合福祉会館(やまて会館)	山手2-2-26	26-0022
2	健康福祉館(みなと元気館)	港2-26	22-3337
3	デイサービスセンターうしお	炬口2-9-2	25-5161
4	五色健康福祉総合センター	五色町都志大日707	33-0597
5	五色地域福祉センター(みやまホール)	五色町広石中90-5	35-1166
6	由良総合福祉センター	由良1-6-7	27-0146
7	五色精光園	五色町広石北847	35-0231
8	洲本たちばなプラス	宇原358-5	25-3601
9	特別養護老人ホーム くにうみの里	下加茂1-6-6	22-3344
10	洲本特別養護老人ホーム ラガール	中川原町安坂986	25-8585
11	養護盲老人ホーム 五色園	五色町鳥飼浦2277-3	34-0550



洪水ハザードマップ

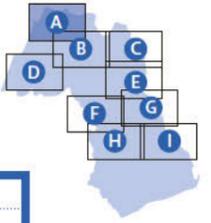


詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



災害情報

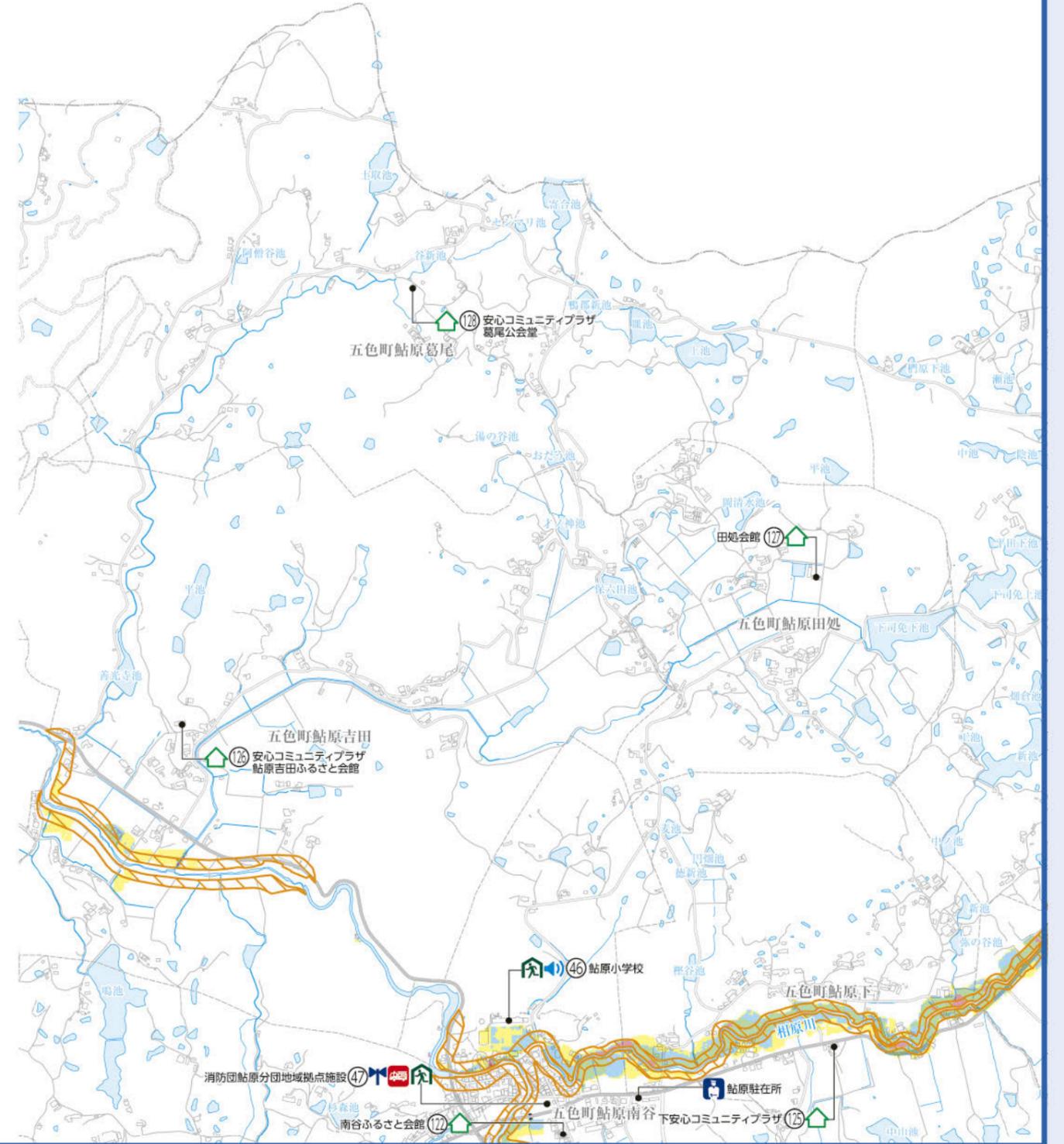
5.0m以上の区域
3.0m以上5.0m未満の区域
2.0m以上3.0m未満の区域
1.0m以上2.0m未満の区域
0.5m以上1.0m未満の区域
0.5m未満の区域
家屋倒壊等氾濫危険区域(氾濫流)
家屋倒壊等氾濫危険区域(河岸侵食)



都志川水系については、想定降雨372mm/6時間、概ね1,000年に1回程度起こる大雨が降ったことにより氾濫した場合を想定しています。

播磨灘

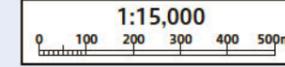
淡路市



洪水ハザードマップ

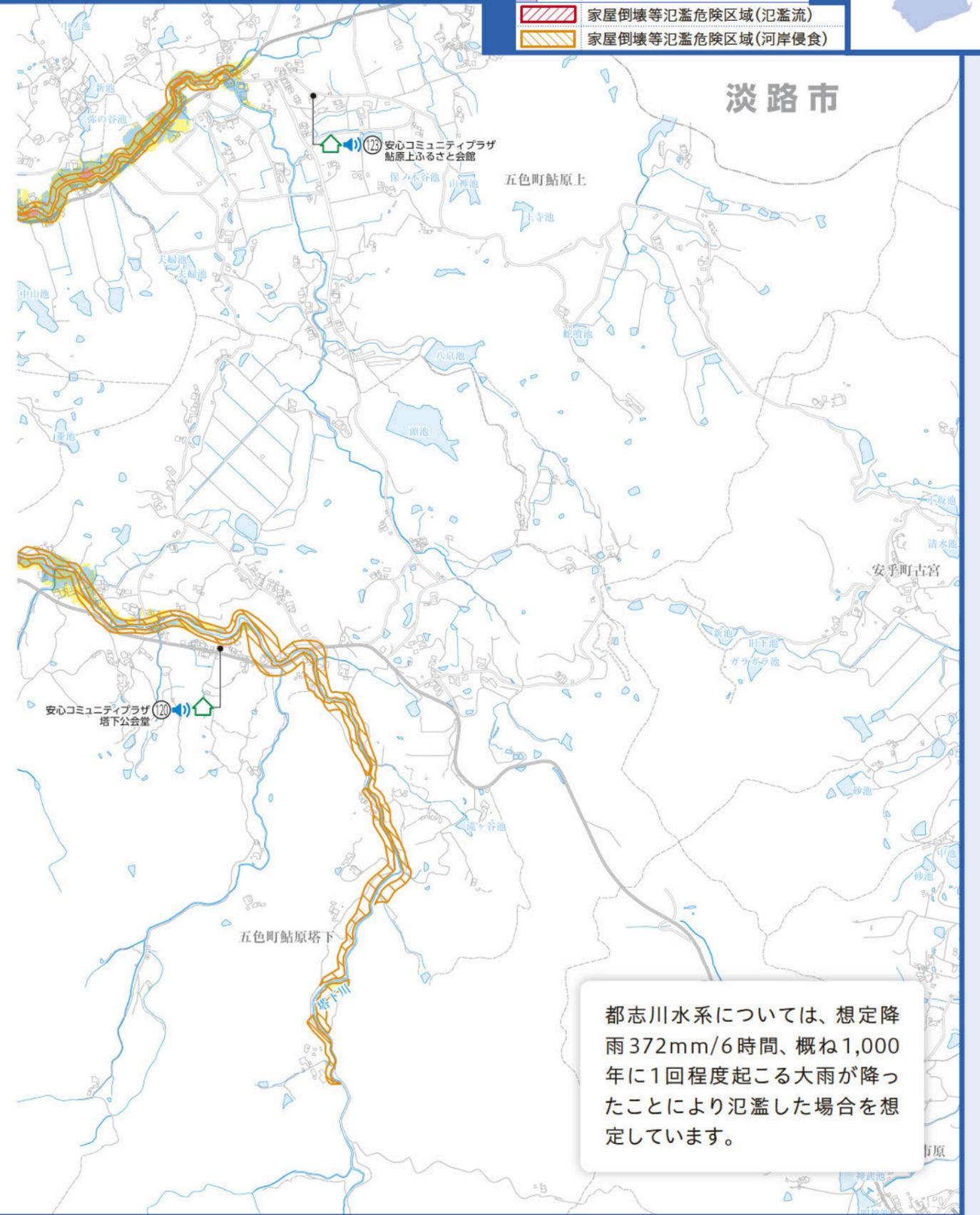
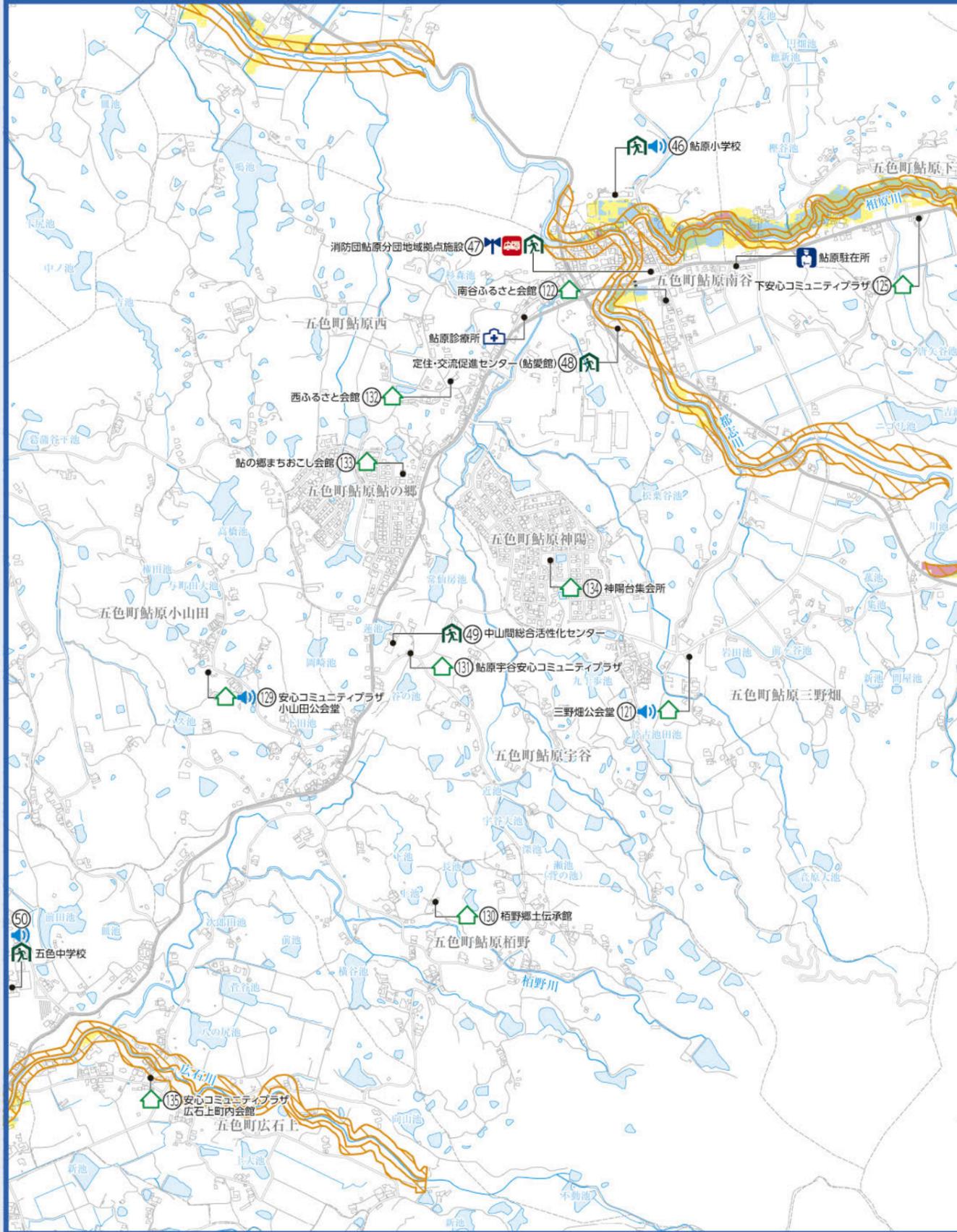
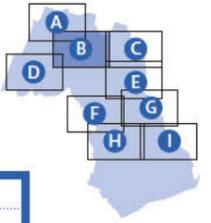


詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



災害情報

5.0m以上の区域
3.0m以上5.0m未満の区域
2.0m以上3.0m未満の区域
1.0m以上2.0m未満の区域
0.5m以上1.0m未満の区域
0.5m未満の区域
家屋倒壊等氾濫危険区域(氾濫流)
家屋倒壊等氾濫危険区域(河岸侵食)

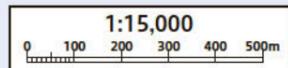


都志川水系については、想定降雨372mm/6時間、概ね1,000年に1回程度起こる大雨が降ったことにより氾濫した場合を想定しています。

洪水ハザードマップ

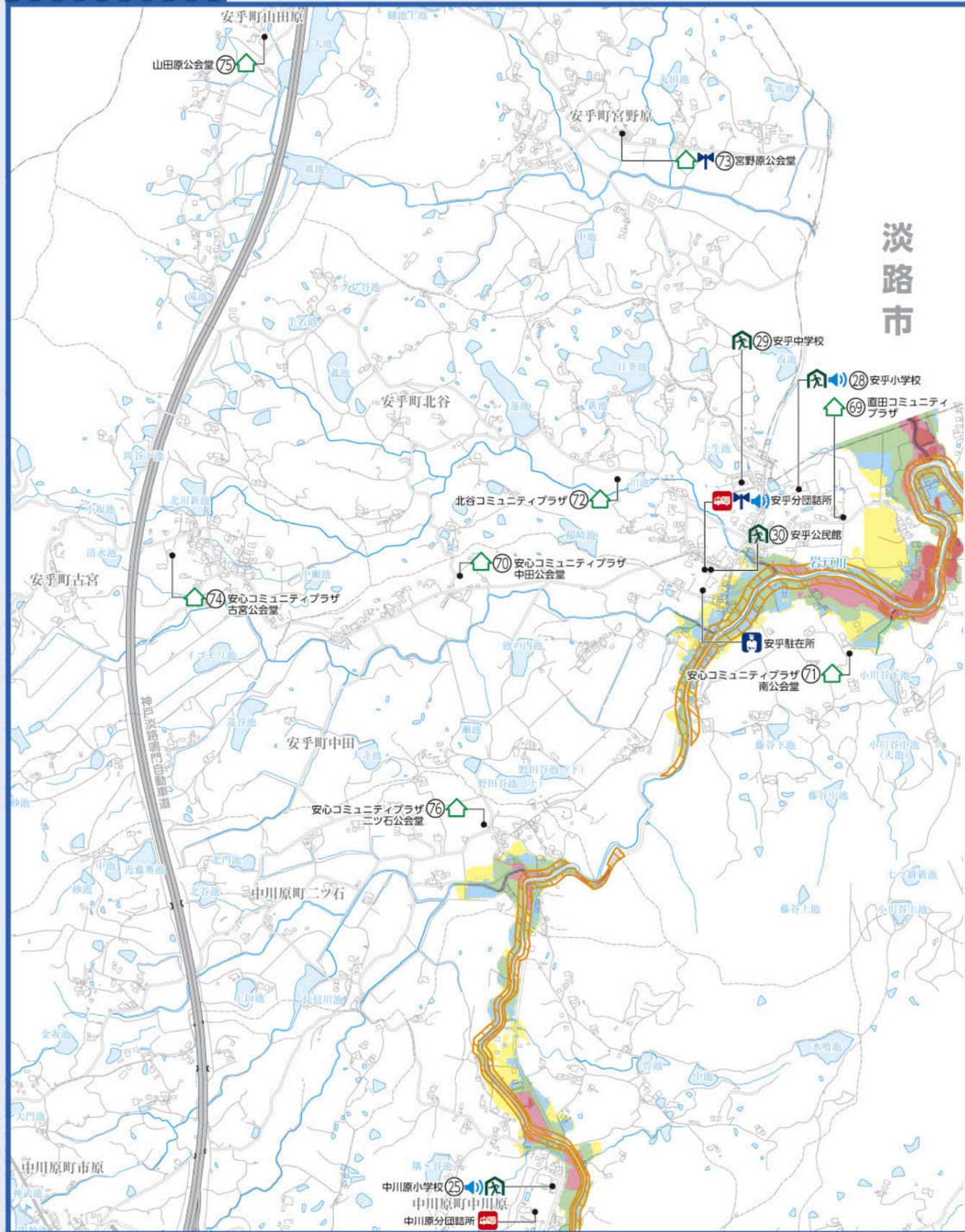
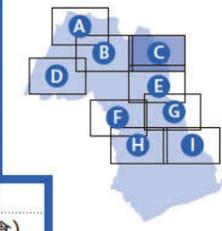


◀ 詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください

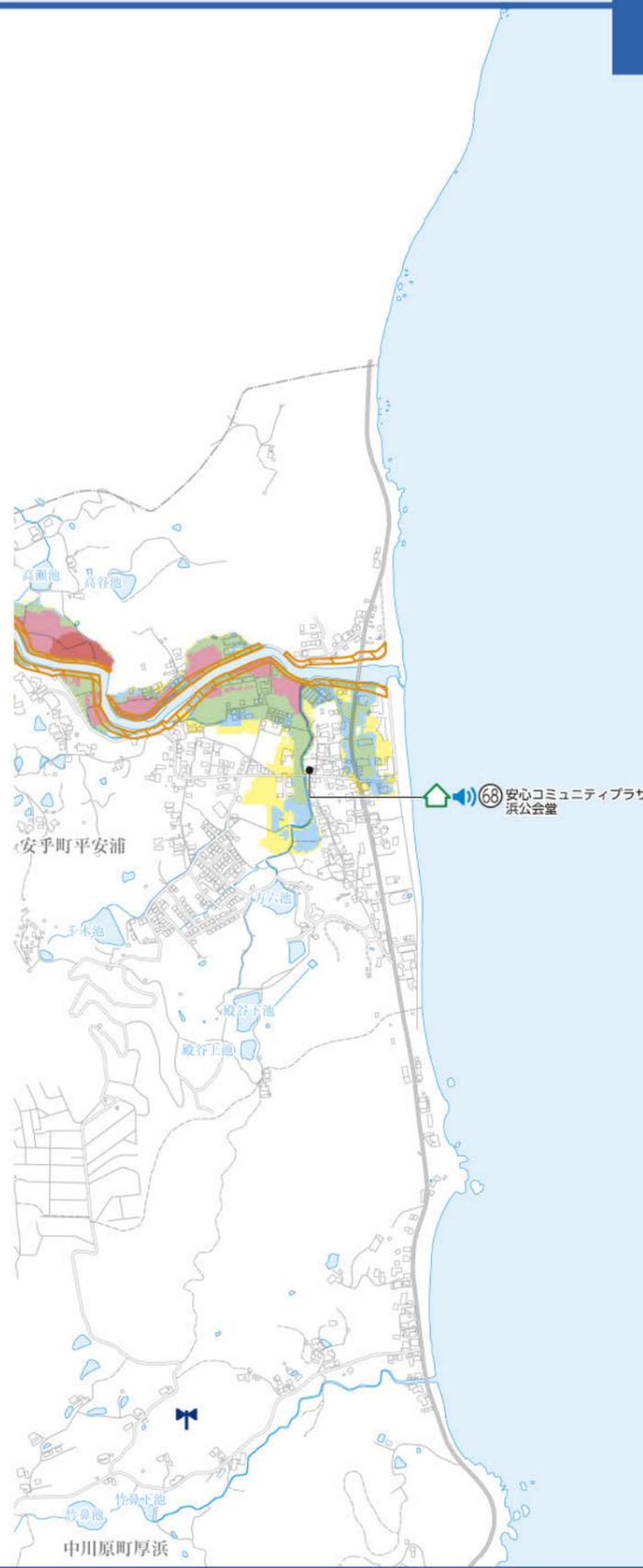


災害情報

浸水深	5.0m以上の区域
	3.0m以上5.0m未満の区域
	2.0m以上3.0m未満の区域
	1.0m以上2.0m未満の区域
	0.5m以上1.0m未満の区域
	0.5m未満の区域
	家屋倒壊等氾濫危険区域(氾濫流)
	家屋倒壊等氾濫危険区域(河岸侵食)



淡路市



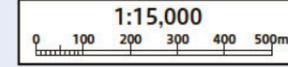
大阪湾

岩戸川水系については、想定降雨551mm/12時間、概ね1,000年に1回程度起こる大雨が降ったことにより氾濫した場合を想定しています。

洪水ハザードマップ



詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



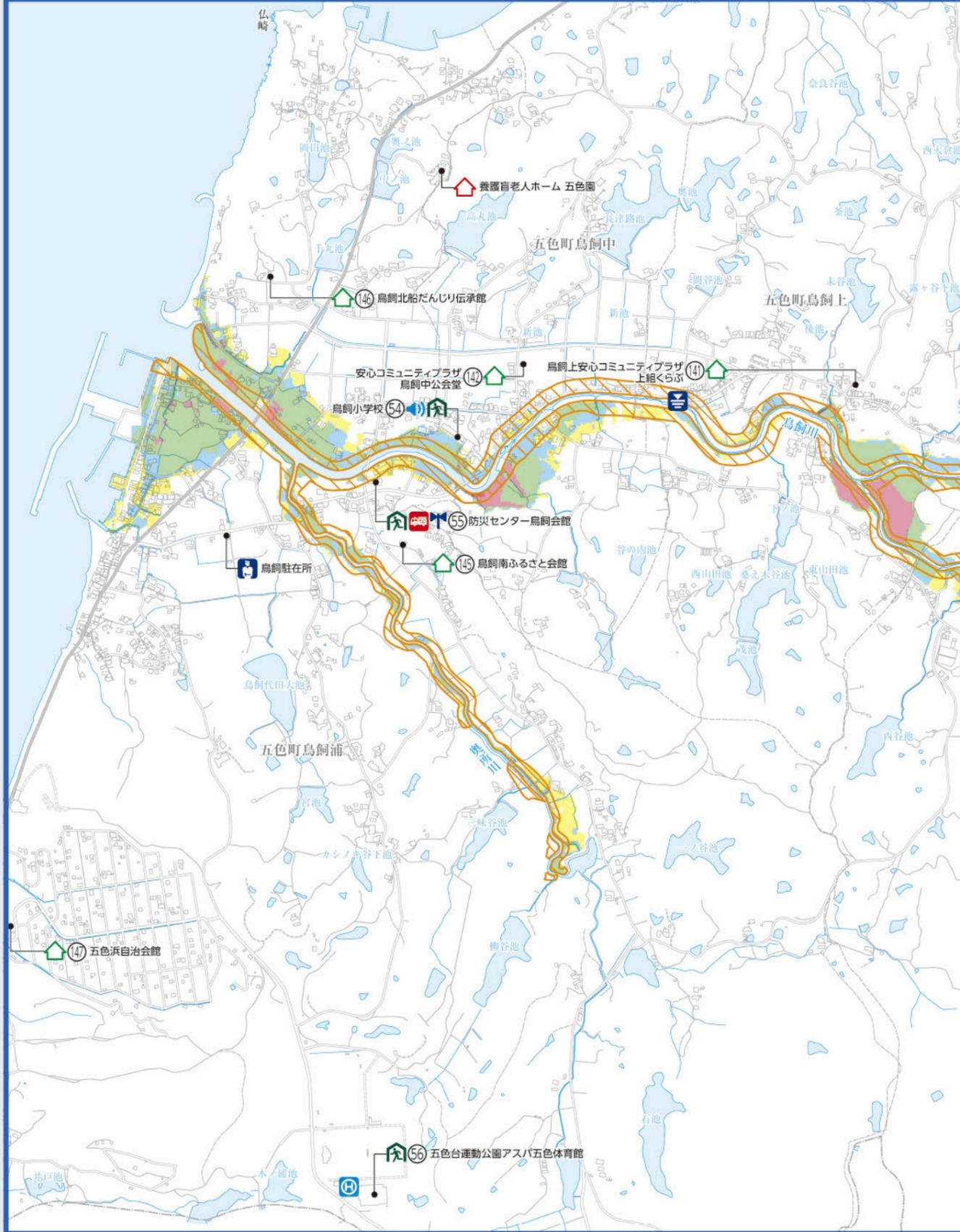
災害情報

浸水深

- 5.0m以上の区域
- 3.0m以上5.0m未満の区域
- 2.0m以上3.0m未満の区域
- 1.0m以上2.0m未満の区域
- 0.5m以上1.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

家屋倒壊等氾濫危険区域(氾濫流)

家屋倒壊等氾濫危険区域(河岸侵食)

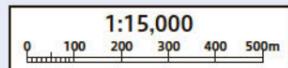


鳥飼川水系については、想定降雨551mm/12時間、概ね1,000年に1回程度起こる大雨が降ったことにより氾濫した場合を想定しています。

洪水ハザードマップ



◀ 詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



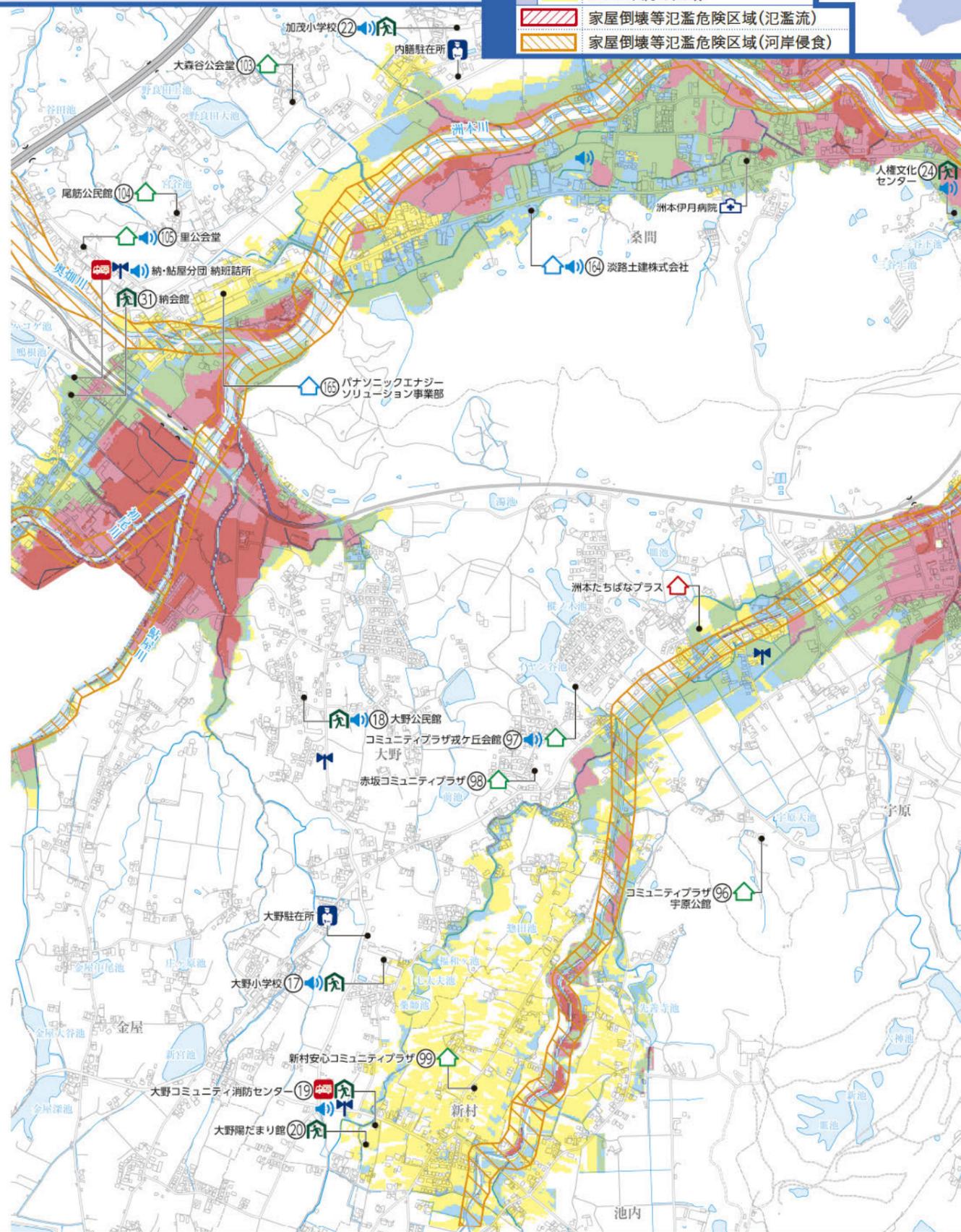
災害情報

浸水深

- 5.0m以上の区域
- 3.0m以上5.0m未満の区域
- 2.0m以上3.0m未満の区域
- 1.0m以上2.0m未満の区域
- 0.5m以上1.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

家屋倒壊等氾濫危険区域(氾濫流)

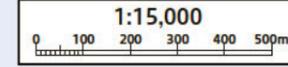
家屋倒壊等氾濫危険区域(河岸侵食)



洪水ハザードマップ

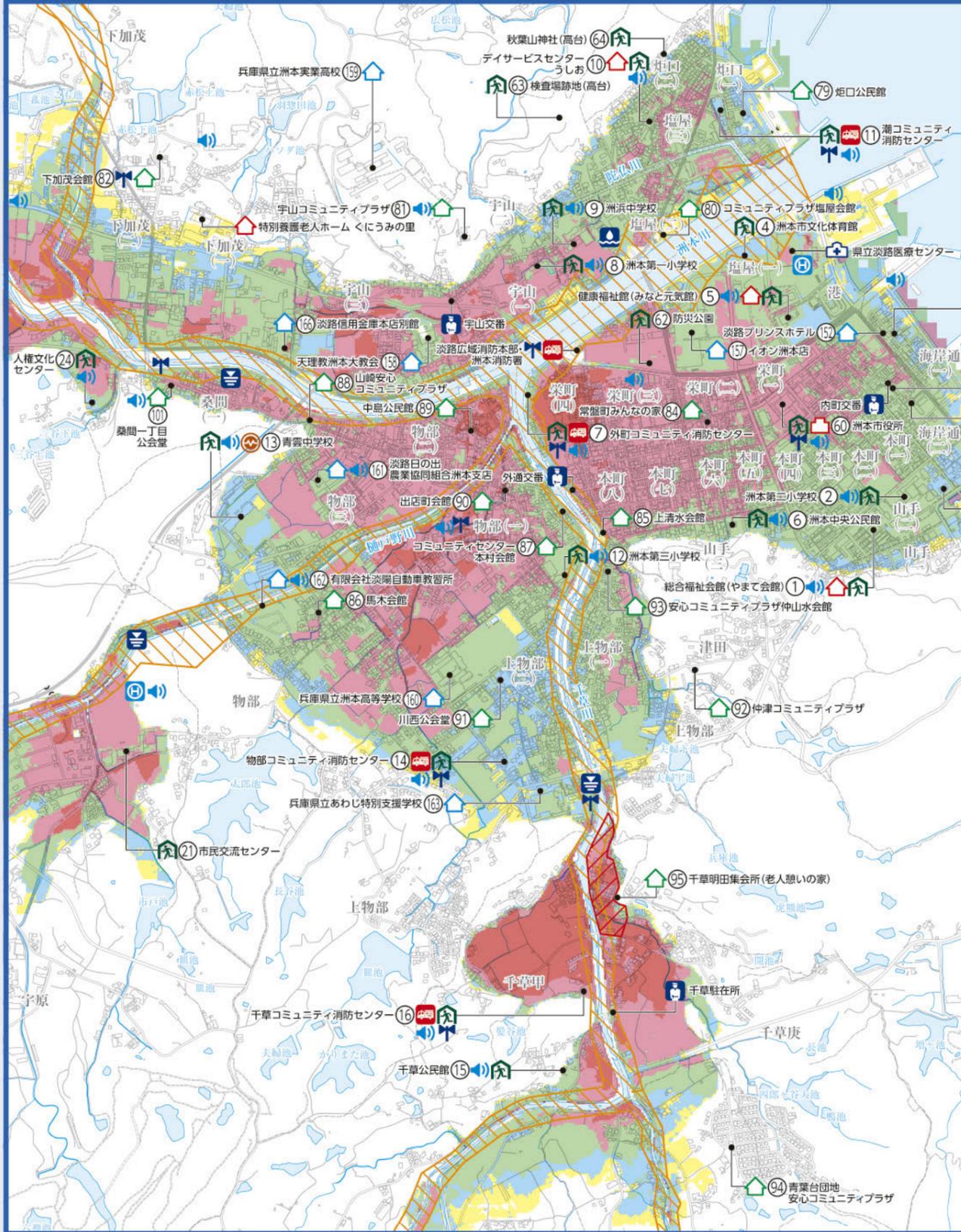
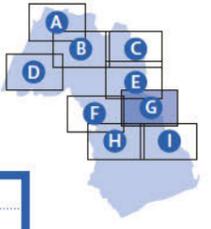


詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



災害情報

5.0m以上の区域
3.0m以上5.0m未満の区域
2.0m以上3.0m未満の区域
1.0m以上2.0m未満の区域
0.5m以上1.0m未満の区域
0.5m未満の区域
家屋倒壊等氾濫危険区域(氾濫流)
家屋倒壊等氾濫危険区域(河岸侵食)



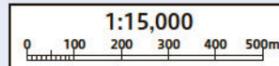
洲本川水系については、想定降雨705mm/24時間、概ね1,000年に1回程度起こる大雨が降ったことにより氾濫した場合を想定しています。

大阪湾

洪水ハザードマップ

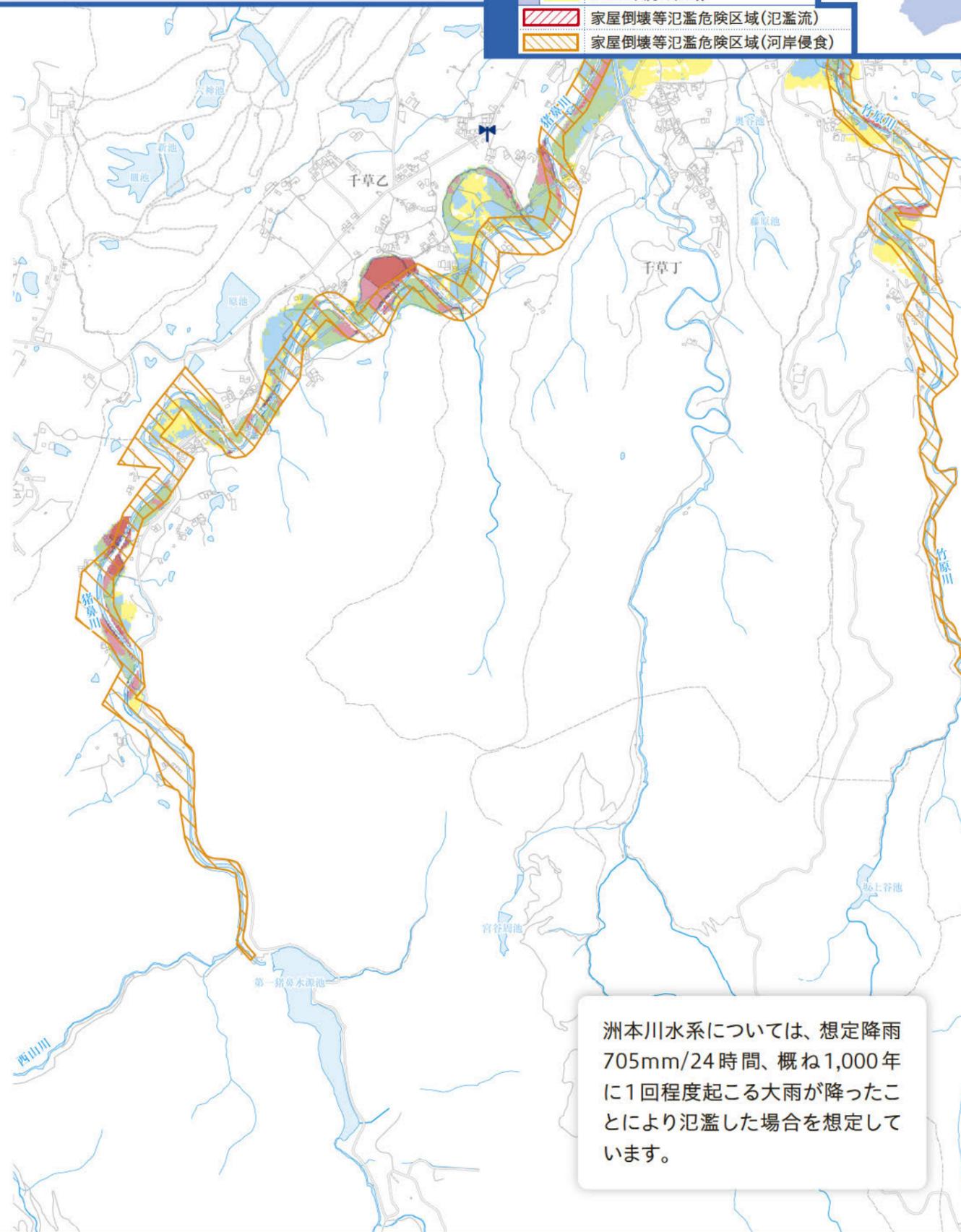
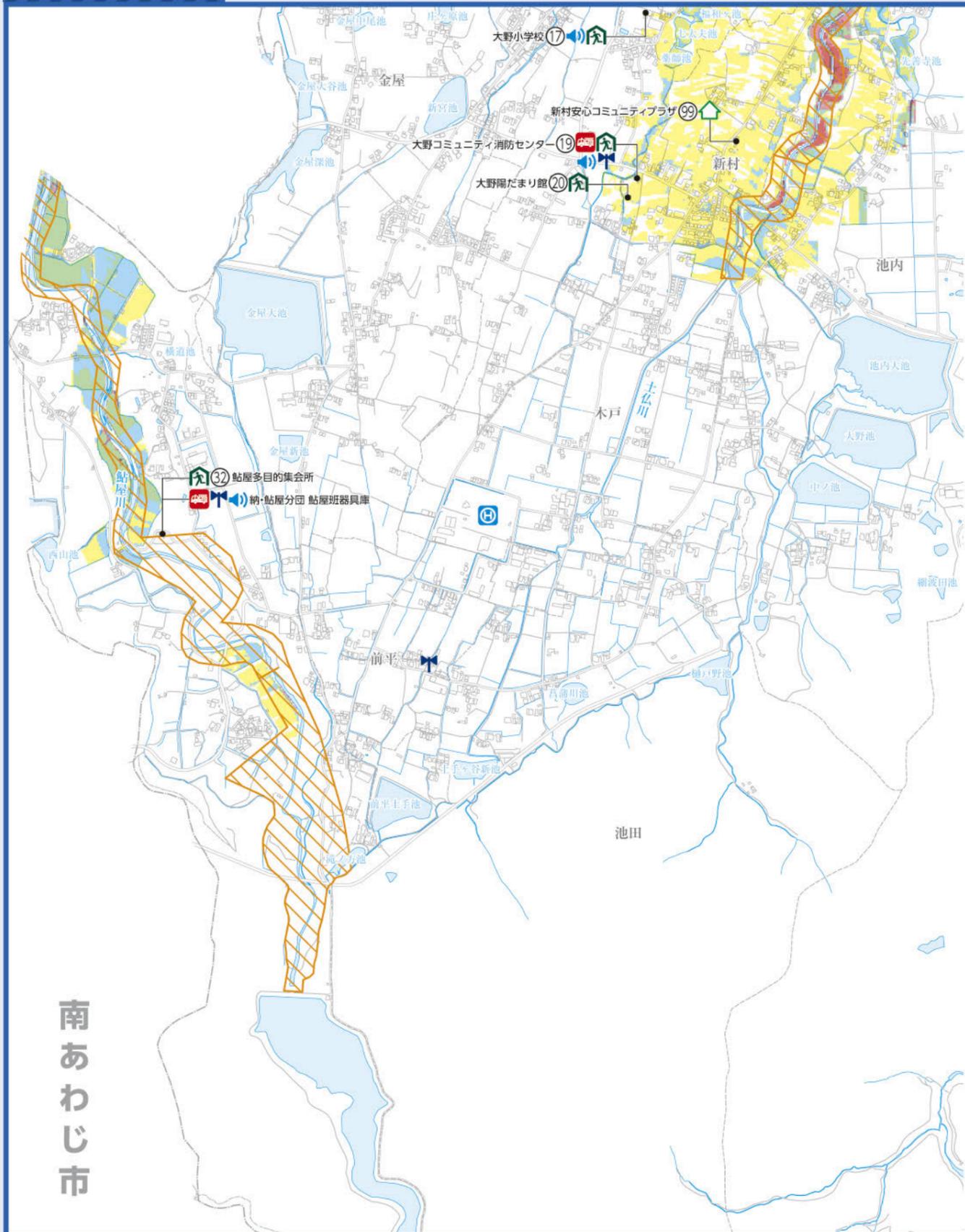


詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



災害情報

5.0m以上の区域
3.0m以上5.0m未満の区域
2.0m以上3.0m未満の区域
1.0m以上2.0m未満の区域
0.5m以上1.0m未満の区域
0.5m未満の区域
家屋倒壊等氾濫危険区域(氾濫流)
家屋倒壊等氾濫危険区域(河岸侵食)



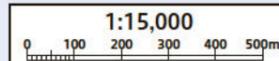
洲本川水系については、想定降雨705mm/24時間、概ね1,000年に1回程度起こる大雨が降ったことにより氾濫した場合を想定しています。

南あわじ市

洪水ハザードマップ



詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



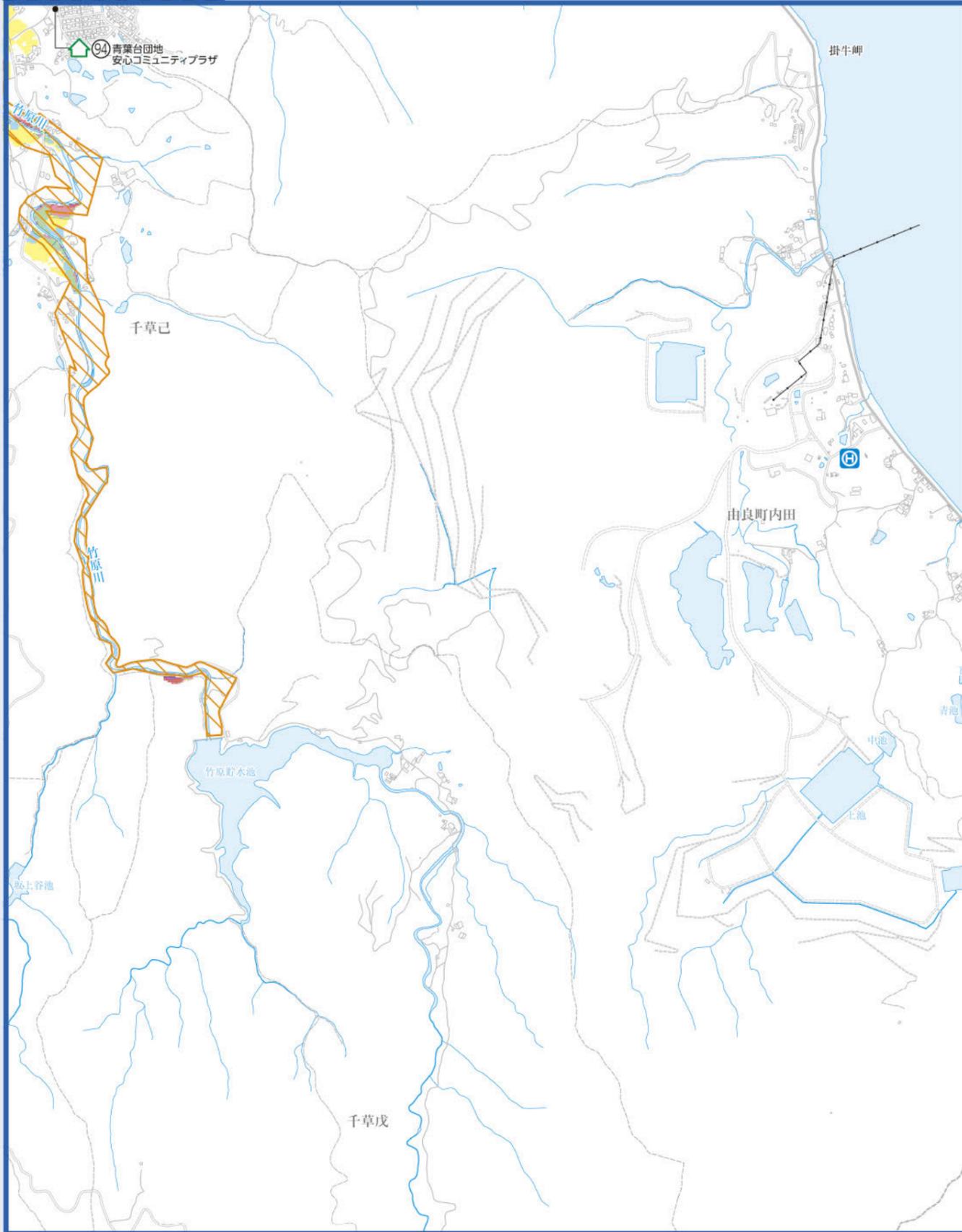
災害情報

浸水深

- 5.0m以上の区域
- 3.0m以上5.0m未満の区域
- 2.0m以上3.0m未満の区域
- 1.0m以上2.0m未満の区域
- 0.5m以上1.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

家屋倒壊等氾濫危険区域

- 家屋倒壊等氾濫危険区域(氾濫流)
- 家屋倒壊等氾濫危険区域(河岸侵食)



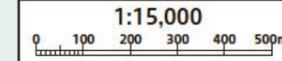
天川水系については、想定降雨551mm/12時間、概ね1,000年に1回程度起こる大雨が降ったことにより氾濫した場合を想定しています。

大阪湾

土砂災害・ため池 ハザードマップ



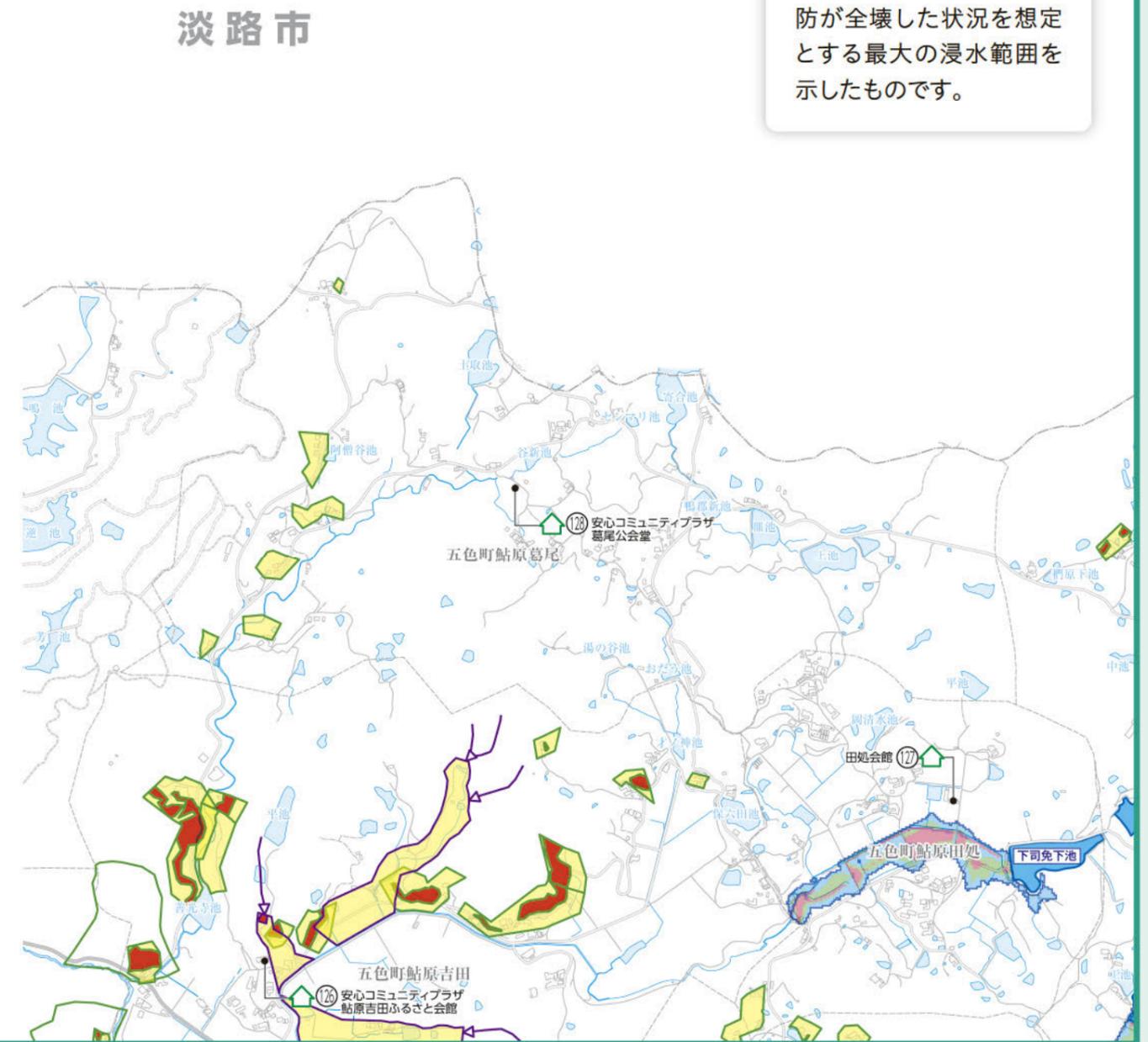
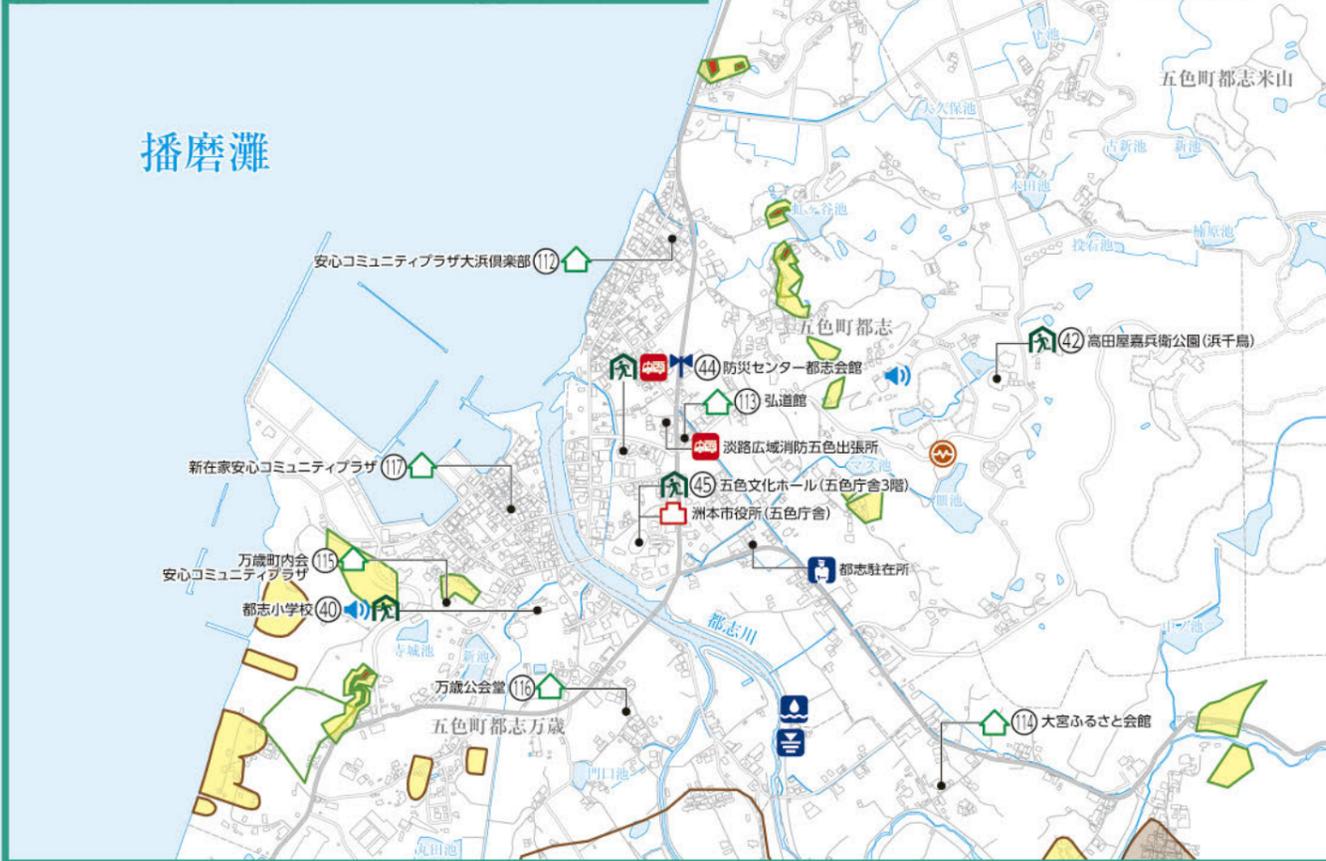
◀ 詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



災害情報		土砂災害特別警戒区域
		土砂災害警戒区域
		土石流危険渓流
		崩壊土砂流出危険区域
		土砂災害特別警戒区域
		土砂災害警戒区域
		山腹崩壊危険区域
		土砂災害警戒区域
		危険箇所
		急傾斜地

	2.0m以上の区域
	1.0m以上2.0m未満の区域
	0.5m以上1.0m未満の区域
	0.5m未満の区域
	ハザードマップ対象ため池

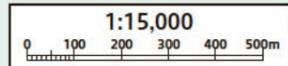
ため池の貯水量が満水の状態、地震等により堤防が全壊した状況を想定とする最大の浸水範囲を示したものです。



土砂災害・ため池 ハザードマップ



詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください

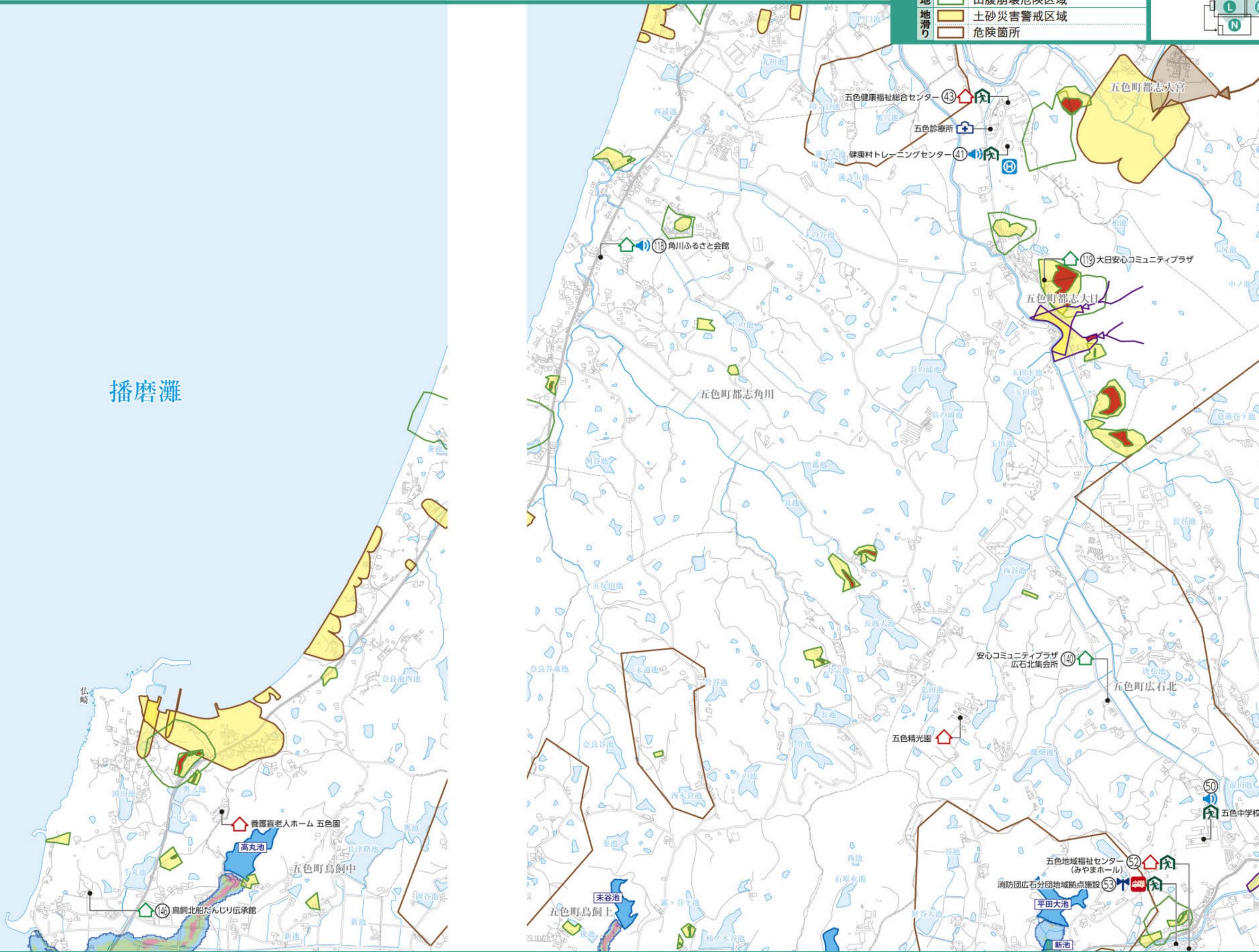


災害情報		土砂災害特別警戒区域
		土砂災害警戒区域
		土石流危険渓流
		崩壊土砂流出危険区域
		土砂災害特別警戒区域
		土砂災害警戒区域
		山腹崩壊危険区域
		土砂災害警戒区域
		危険箇所
		急傾斜地
	地滑り	

	2.0m以上の区域
	1.0m以上2.0m未満の区域
	0.5m以上1.0m未満の区域
	0.5m未満の区域
	ハザードマップ対象ため池

ため池の貯水量が満水の状態で、地震等により堤防が全壊した状況を想定とする最大の浸水範囲を示したものです。

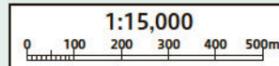
播磨灘



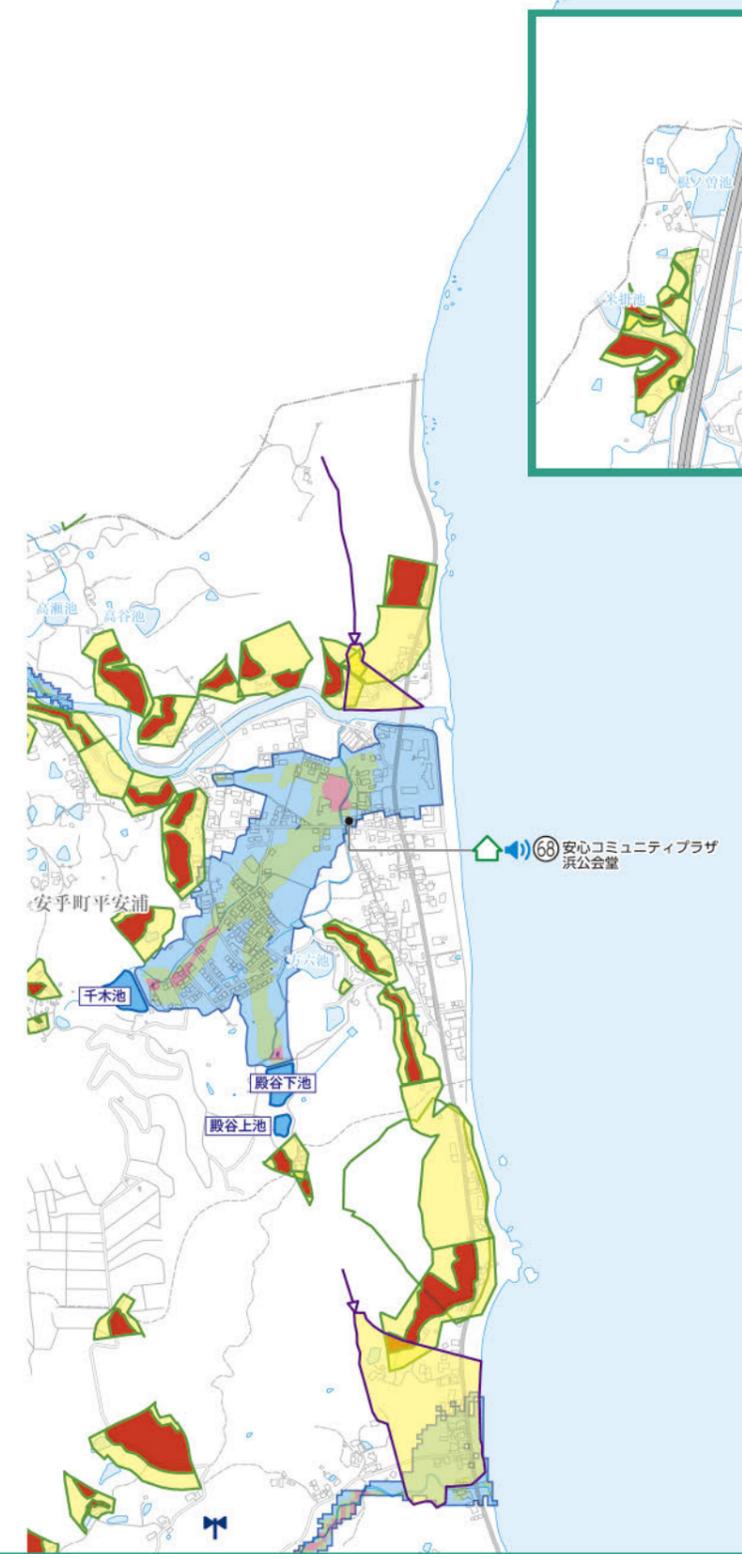
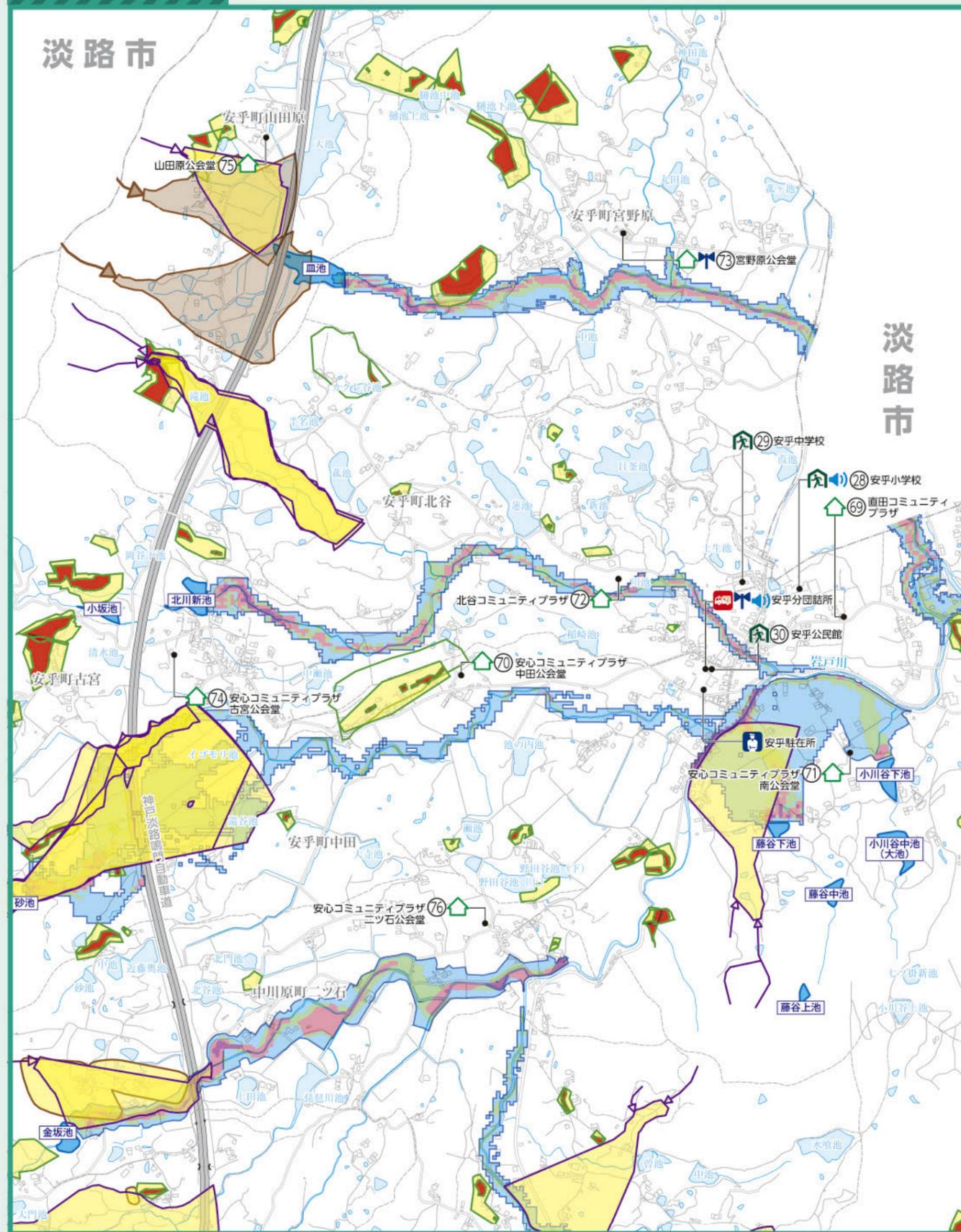
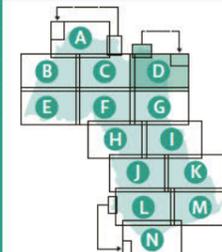
土砂災害・ため池 ハザードマップ



詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



災害情報		土砂災害特別警戒区域
		土砂災害警戒区域
		土石流危険渓流
		崩壊土砂流出危険区域
		土砂災害特別警戒区域
		土砂災害警戒区域
		山腹崩壊危険区域
		土砂災害警戒区域
		危険箇所
		急傾斜地地滑り



大阪湾

ため池の貯水量が満水の状態で、地震等により堤防が全壊した状況を想定とする最大の浸水範囲を示したものです。



土砂災害・ため池 ハザードマップ

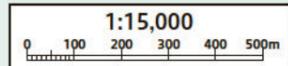
ため池の貯水量が満水の状態で、地震等により堤防が全壊した状況を想定とする最大の浸水範囲を示したものです。

播磨灘

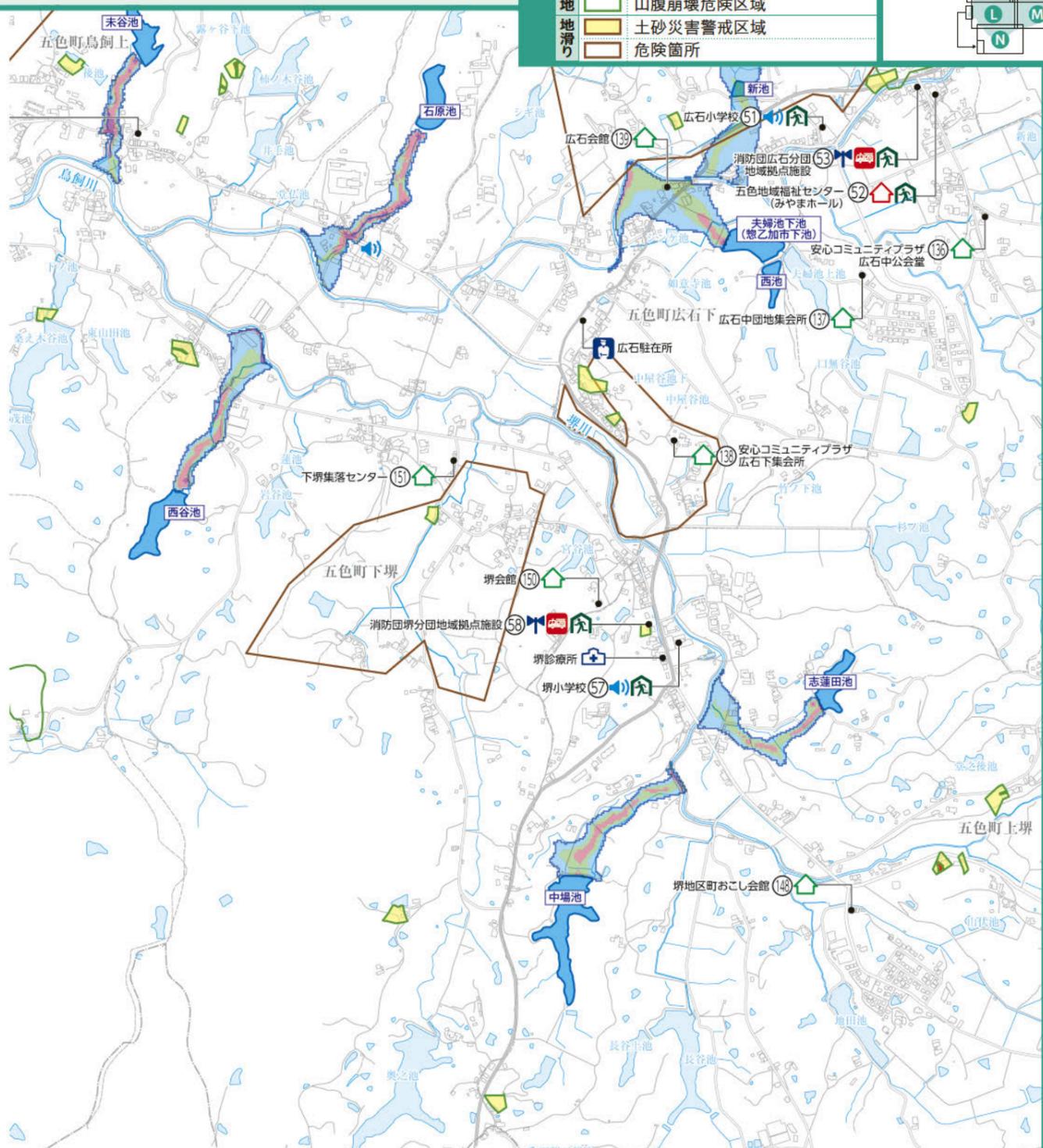
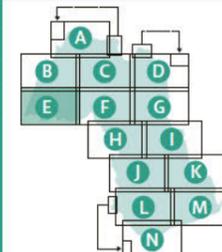
南あわじ市



詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



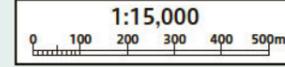
災害情報		土砂災害特別警戒区域
		土砂災害警戒区域
		土石流危険渓流
		崩壊土砂流出危険区域
		土砂災害特別警戒区域
		土砂災害警戒区域
		山腹崩壊危険区域
		土砂災害警戒区域
		危険箇所
		急傾斜地地滑り



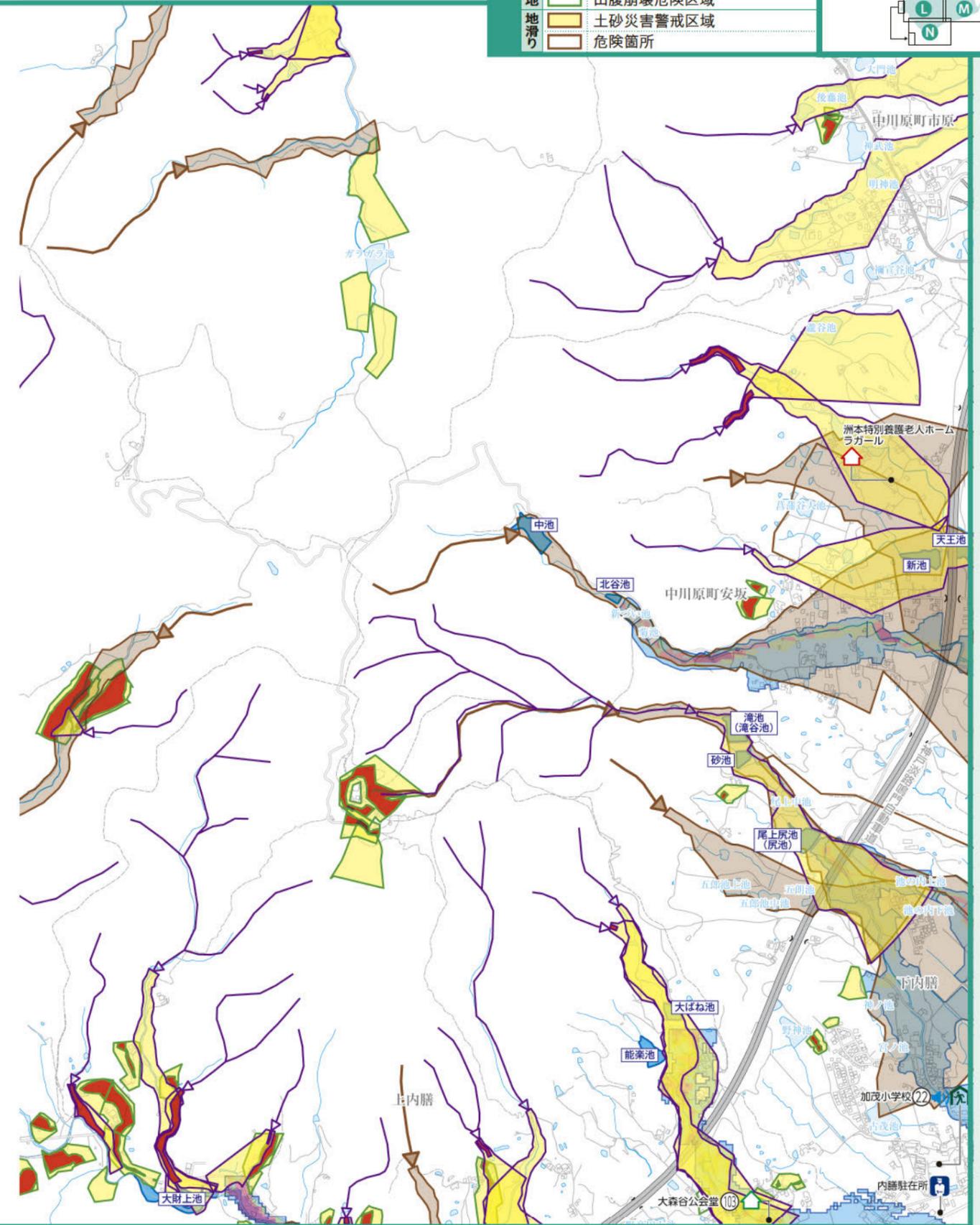
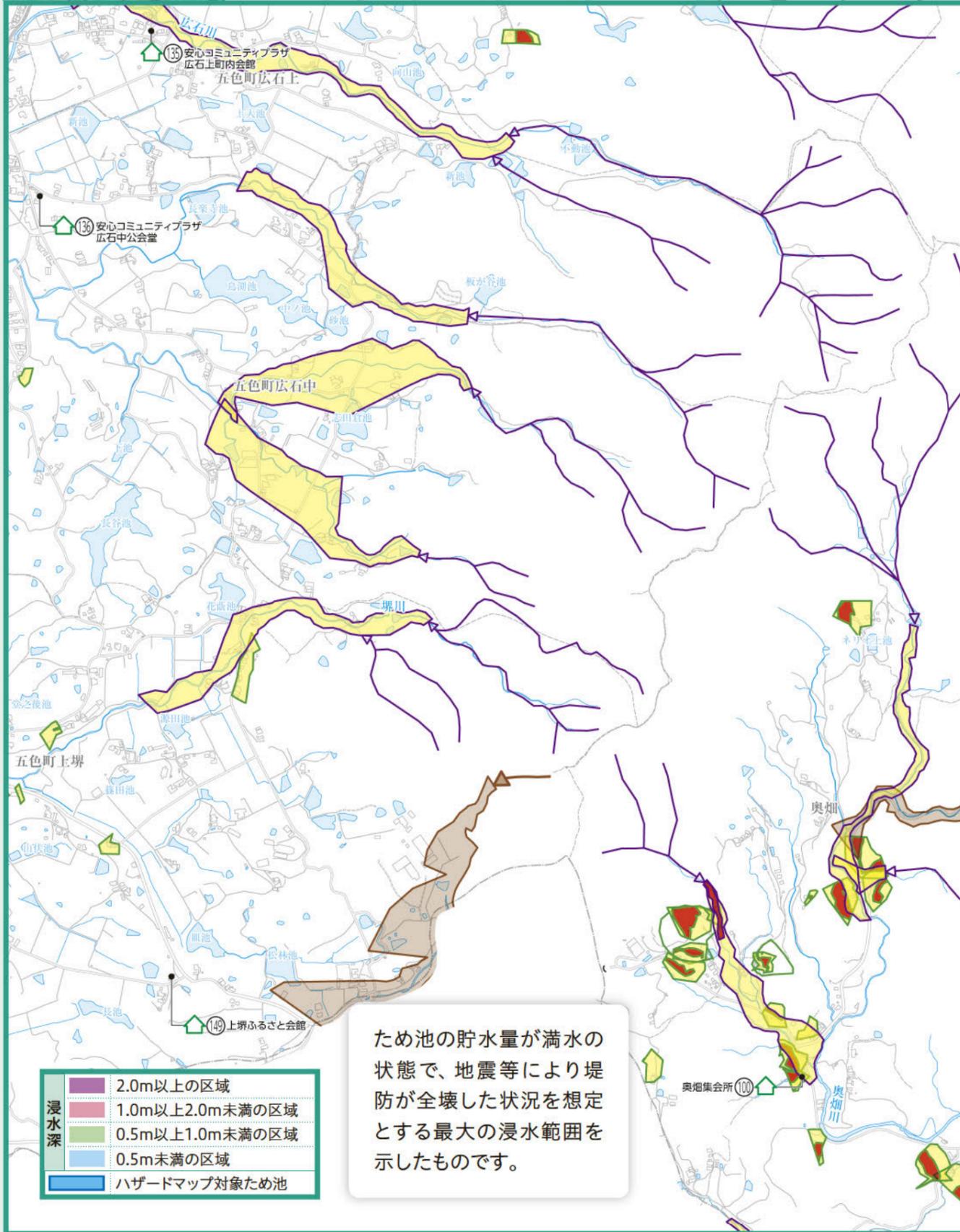
土砂災害・ため池 ハザードマップ



◀ 詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



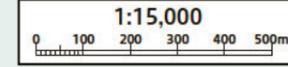
災害情報		土砂災害特別警戒区域	
		土砂災害警戒区域	
		土石流危険渓流	
		崩壊土砂流出危険区域	
		土砂災害特別警戒区域	
		土砂災害警戒区域	
		山腹崩壊危険区域	
		土砂災害警戒区域	
		危険箇所	
		急傾斜地	
	地滑り		



土砂災害・ため池 ハザードマップ

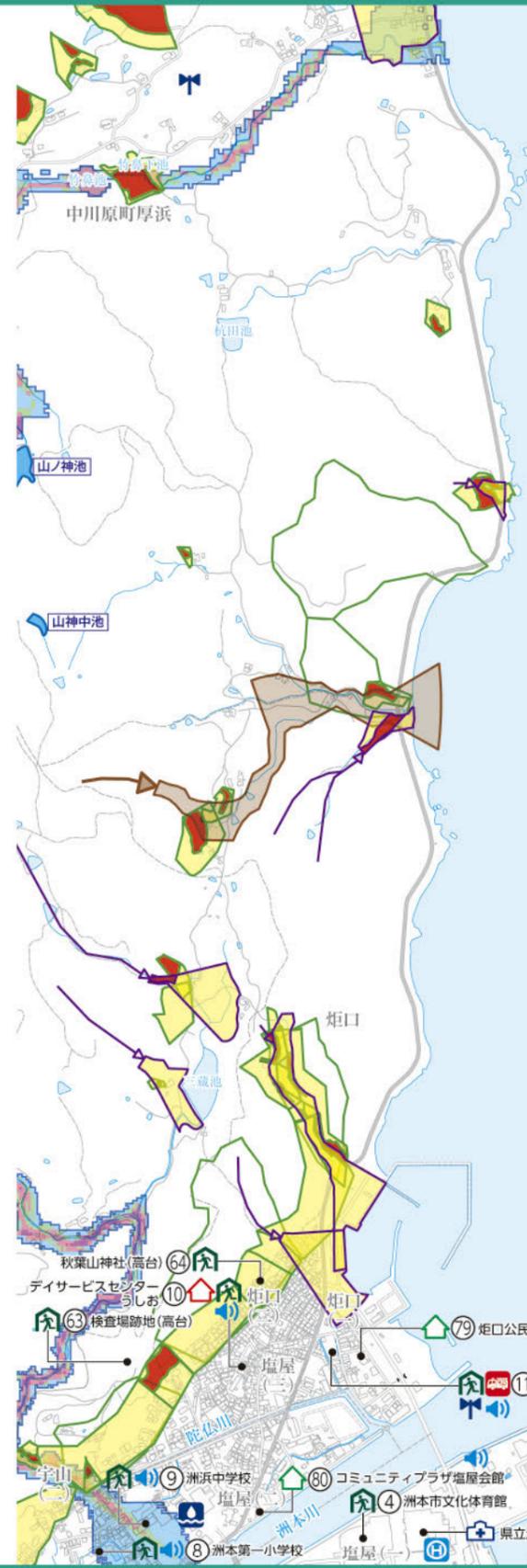
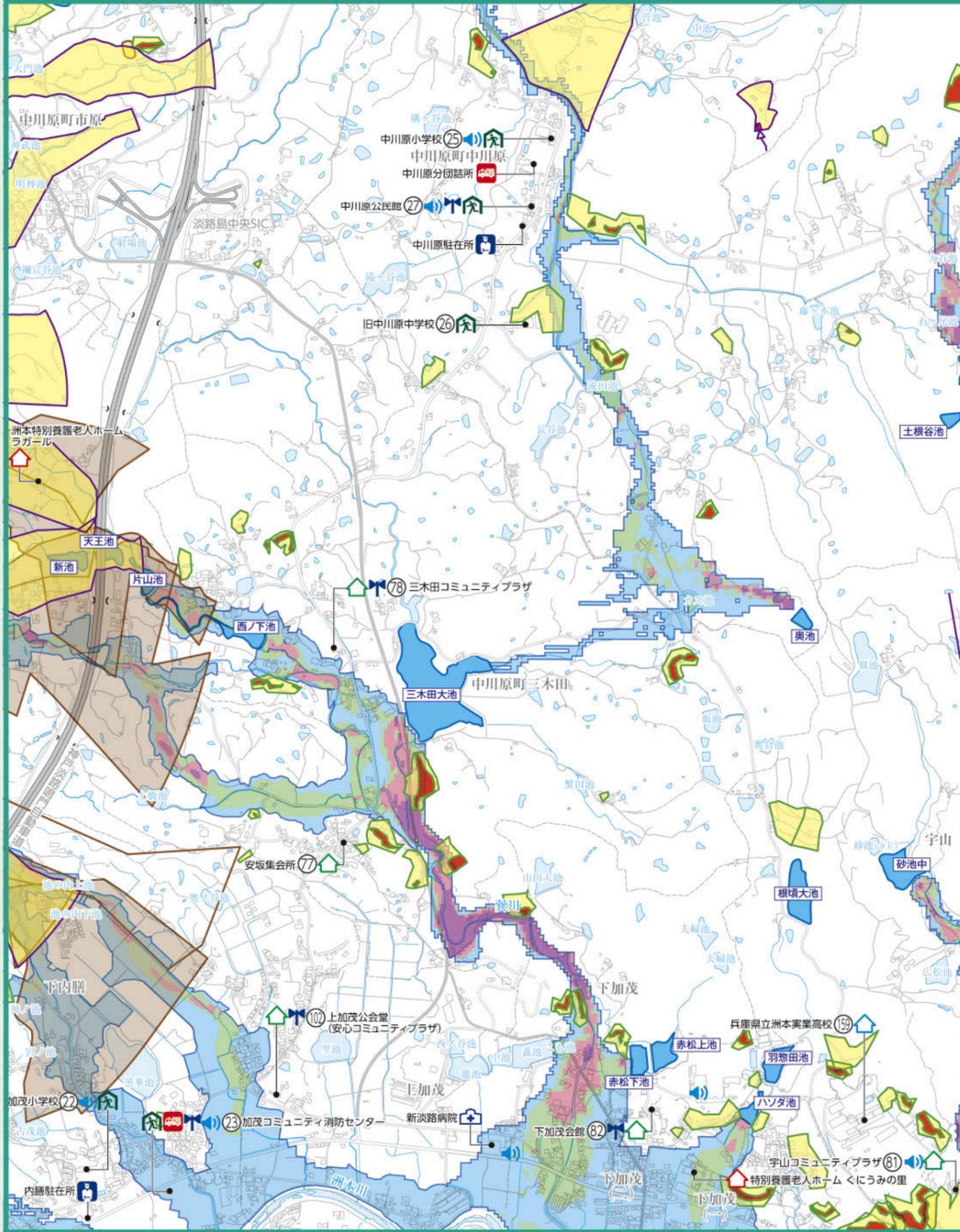


詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



災害情報

土石流	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域	土石流危険渓流	崩壊土砂流出危険区域
急傾斜地 地滑り	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域	山腹崩壊危険区域	土砂災害警戒区域
				危険箇所



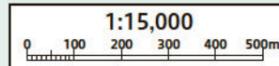
ため池の貯水量が満水の状態で、地震等により堤防が全壊した状況を想定とする最大の浸水範囲を示したものです。

大阪湾

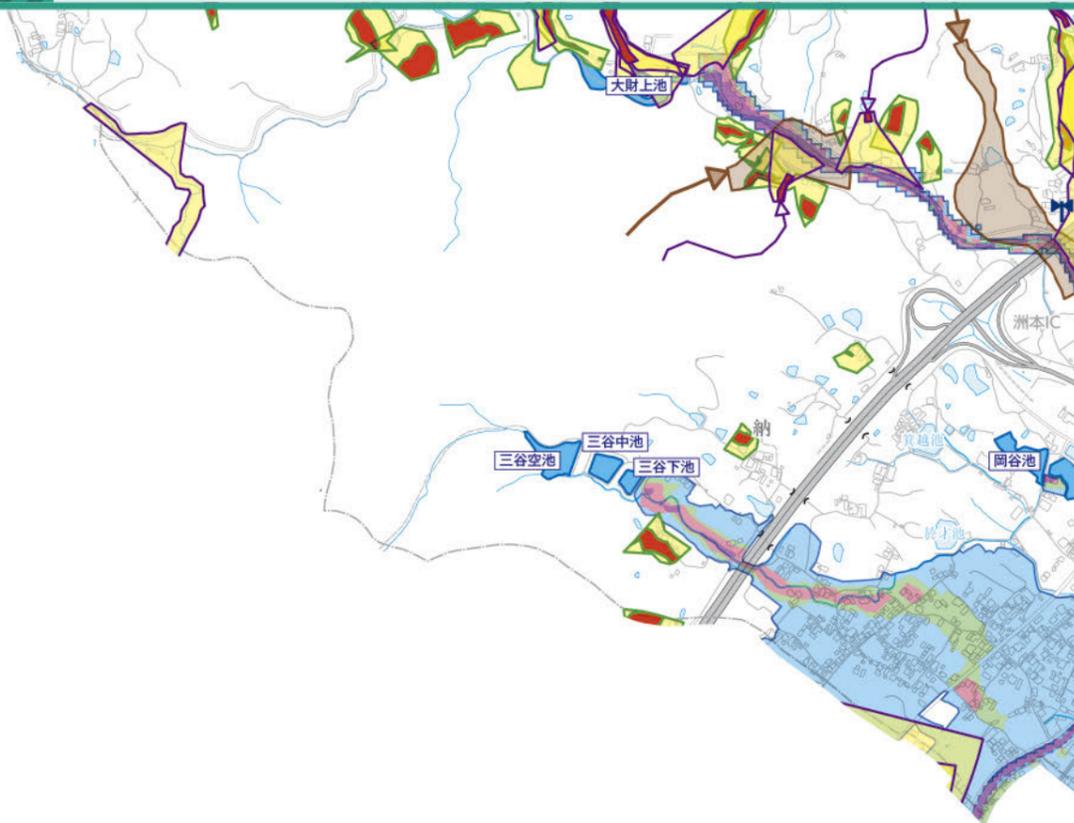
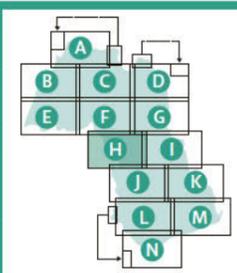
土砂災害・ため池 ハザードマップ



◀ 詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



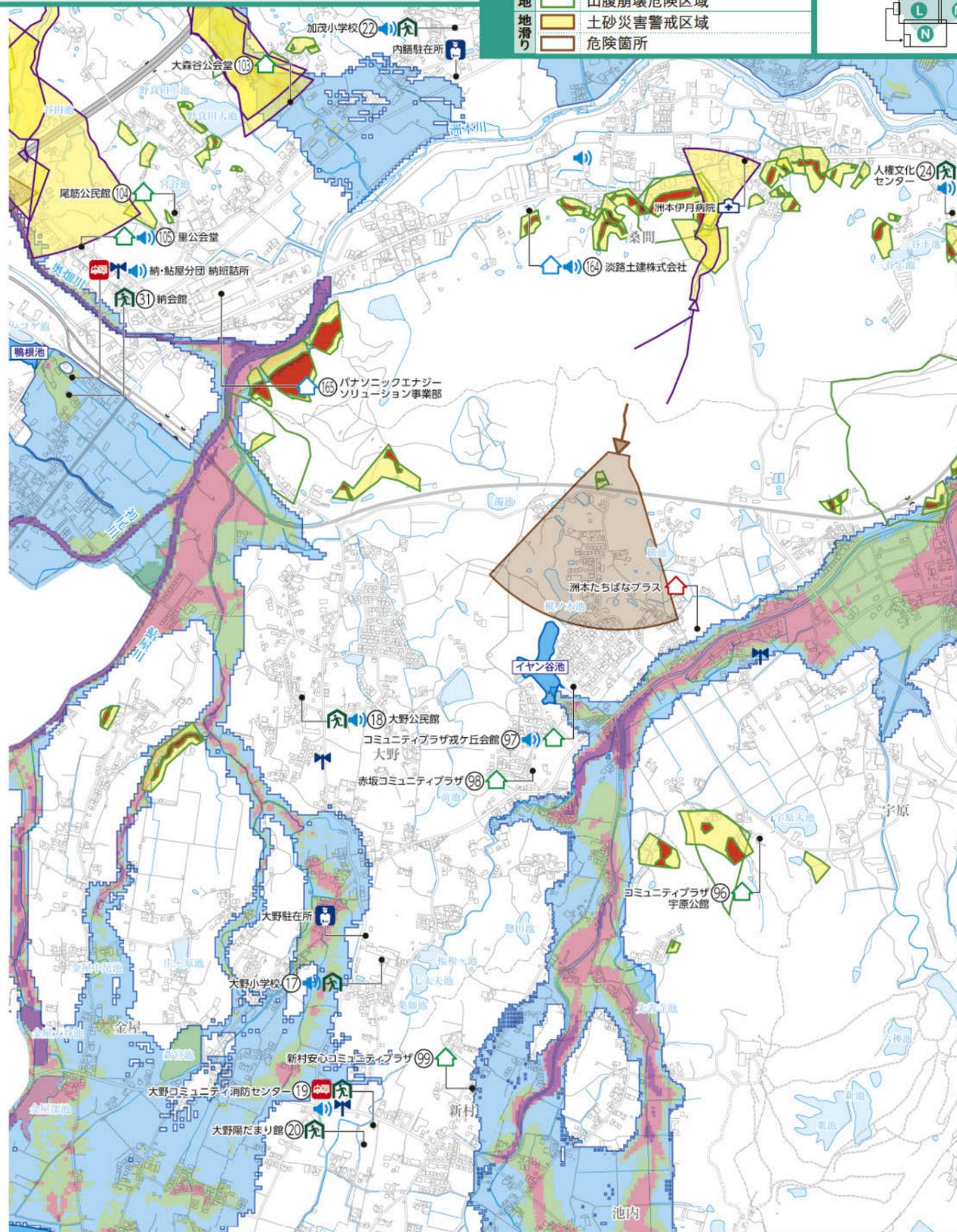
災害情報		土砂災害特別警戒区域
		土砂災害警戒区域
		土石流危険渓流
		崩壊土砂流出危険区域
		土砂災害特別警戒区域
		土砂災害警戒区域
		山腹崩壊危険区域
		土砂災害警戒区域
		危険箇所
		急傾斜地 地滑り



南あわじ市

	2.0m以上の区域
	1.0m以上2.0m未満の区域
	0.5m以上1.0m未満の区域
	0.5m未満の区域
	ハザードマップ対象ため池

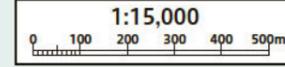
ため池の貯水量が満水の状態で、地震等により堤防が全壊した状況を想定とする最大の浸水範囲を示したものです。



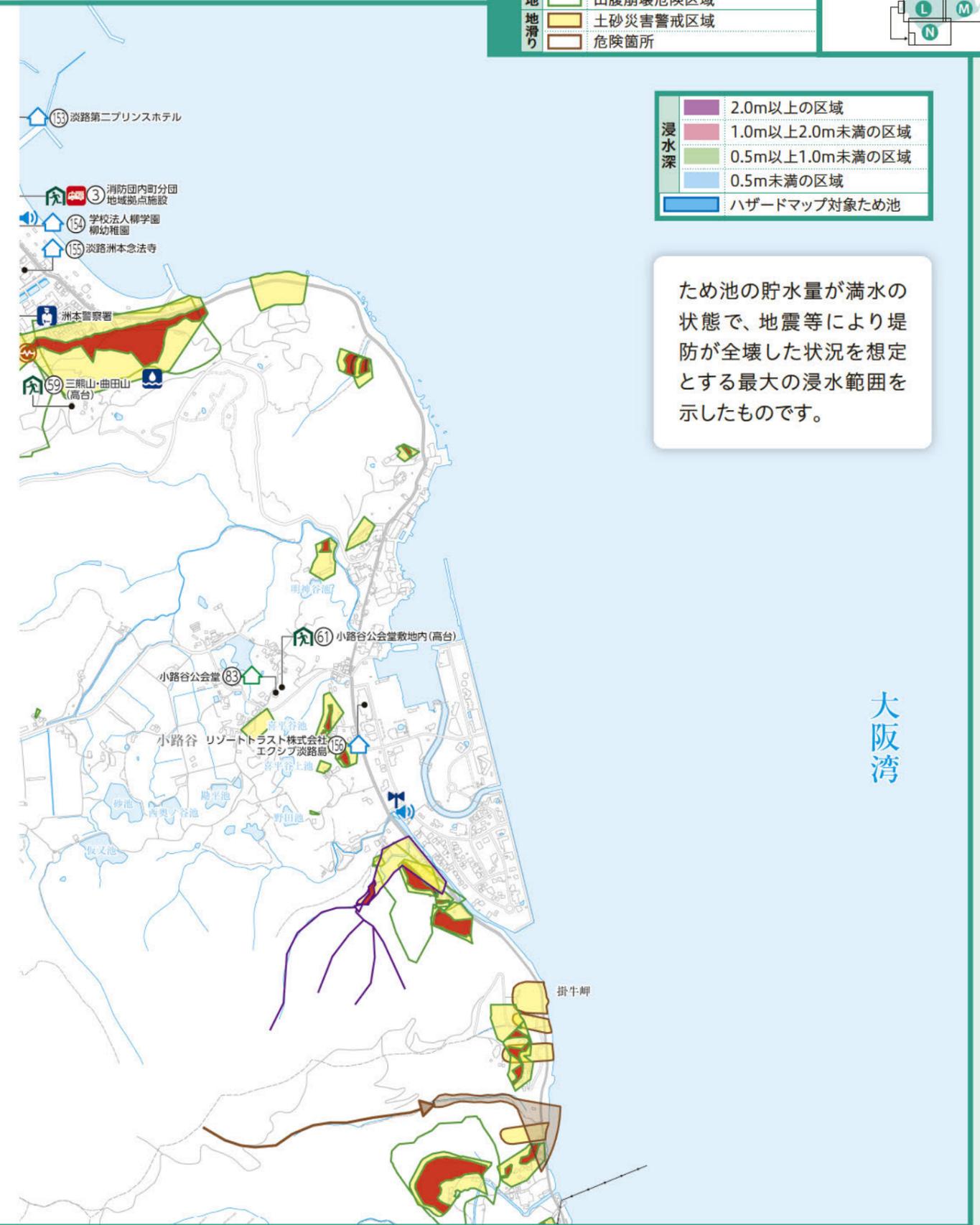
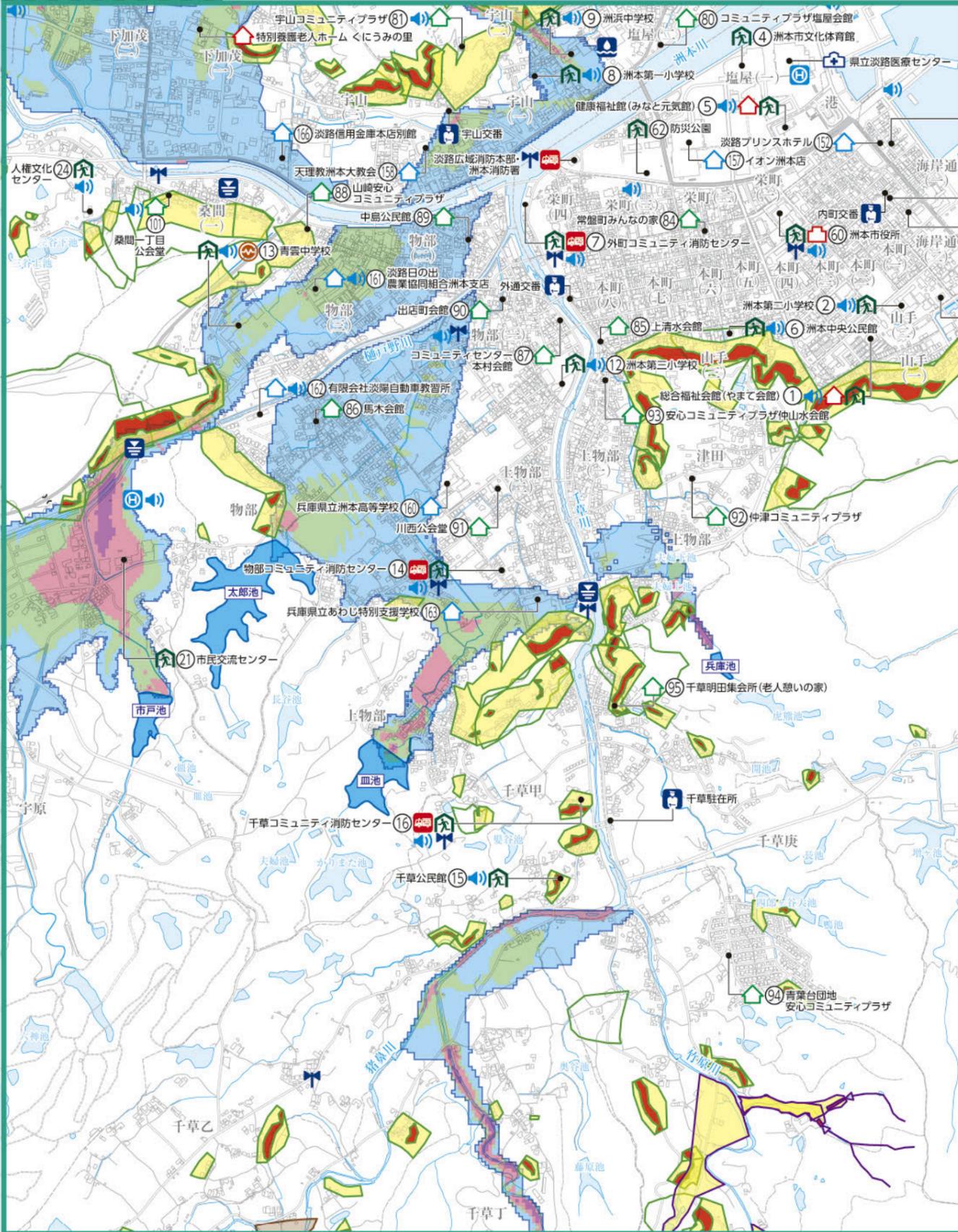
土砂災害・ため池 ハザードマップ



詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



災害情報		土砂災害特別警戒区域
		土砂災害警戒区域
		土石流危険渓流
		崩壊土砂流出危険区域
		土砂災害特別警戒区域
		土砂災害警戒区域
		山腹崩壊危険区域
		土砂災害警戒区域
		危険箇所
		急傾斜地 地滑り

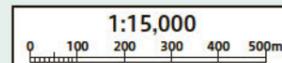


ため池の貯水量が満水の状態で、地震等により堤防が全壊した状況を想定とする最大の浸水範囲を示したものです。

土砂災害・ため池 ハザードマップ

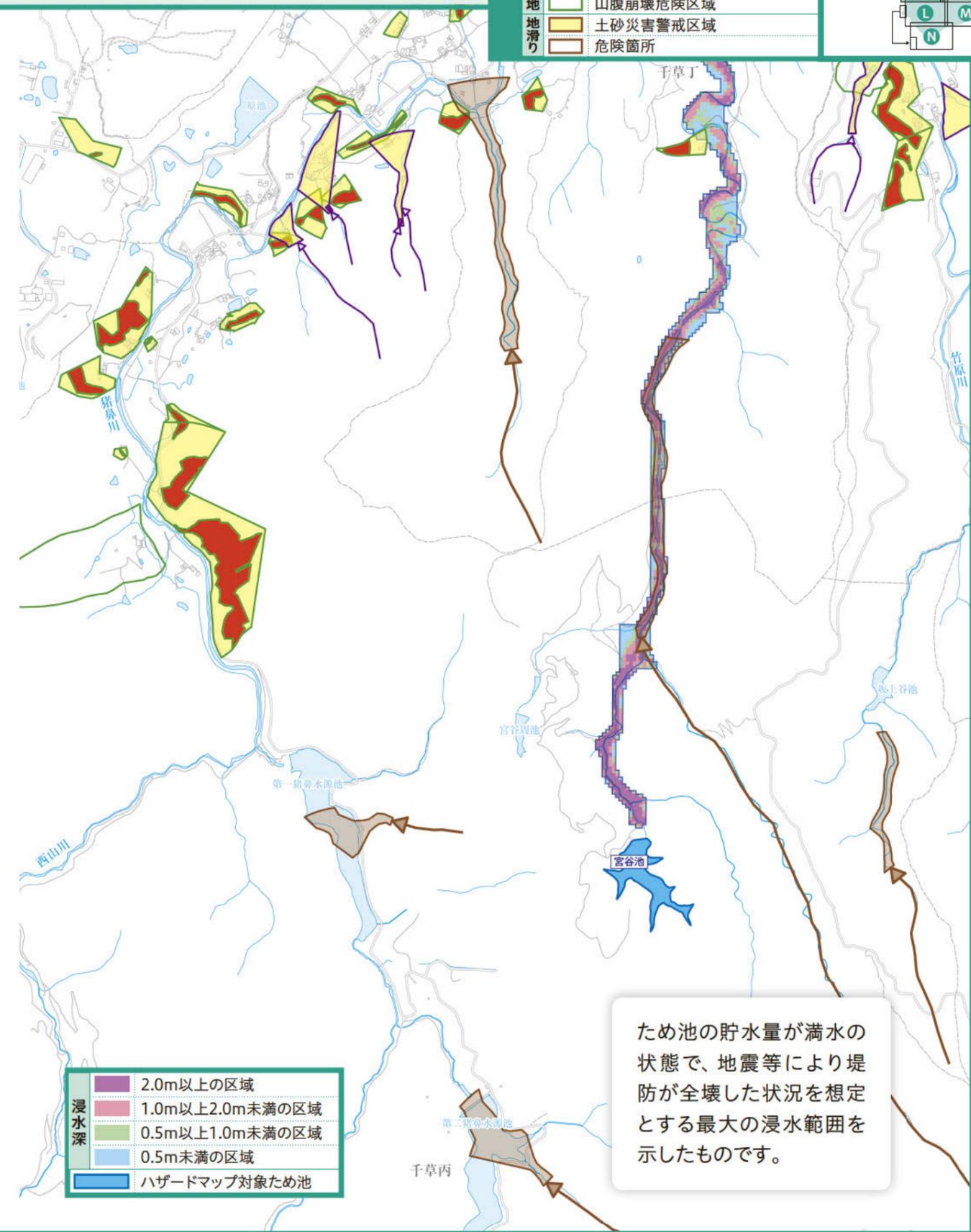
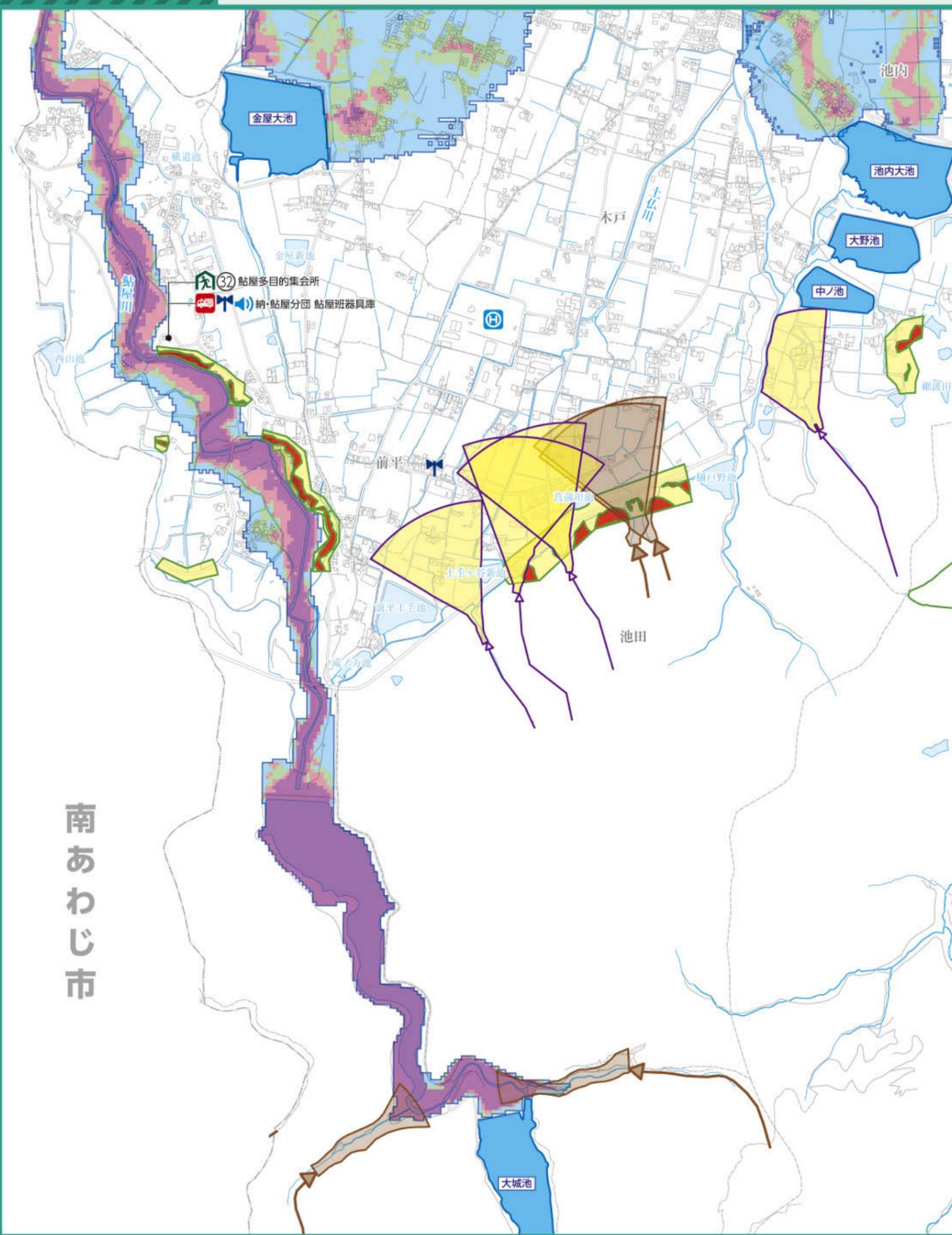


◀ 詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



災害情報

土石流	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域	土砂流危険渓流	崩壊土砂流出危険区域
急傾斜地	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域	山腹崩壊危険区域	土砂災害警戒区域
地滑り	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域	危険箇所



浸水深

2.0m以上の区域
1.0m以上2.0m未満の区域
0.5m以上1.0m未満の区域
0.5m未満の区域
ハザードマップ対象ため池

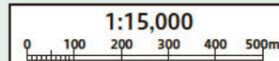
ため池の貯水量が満水の状態、地震等により堤防が全壊した状況を想定とする最大の浸水範囲を示したものです。

南あわじ市

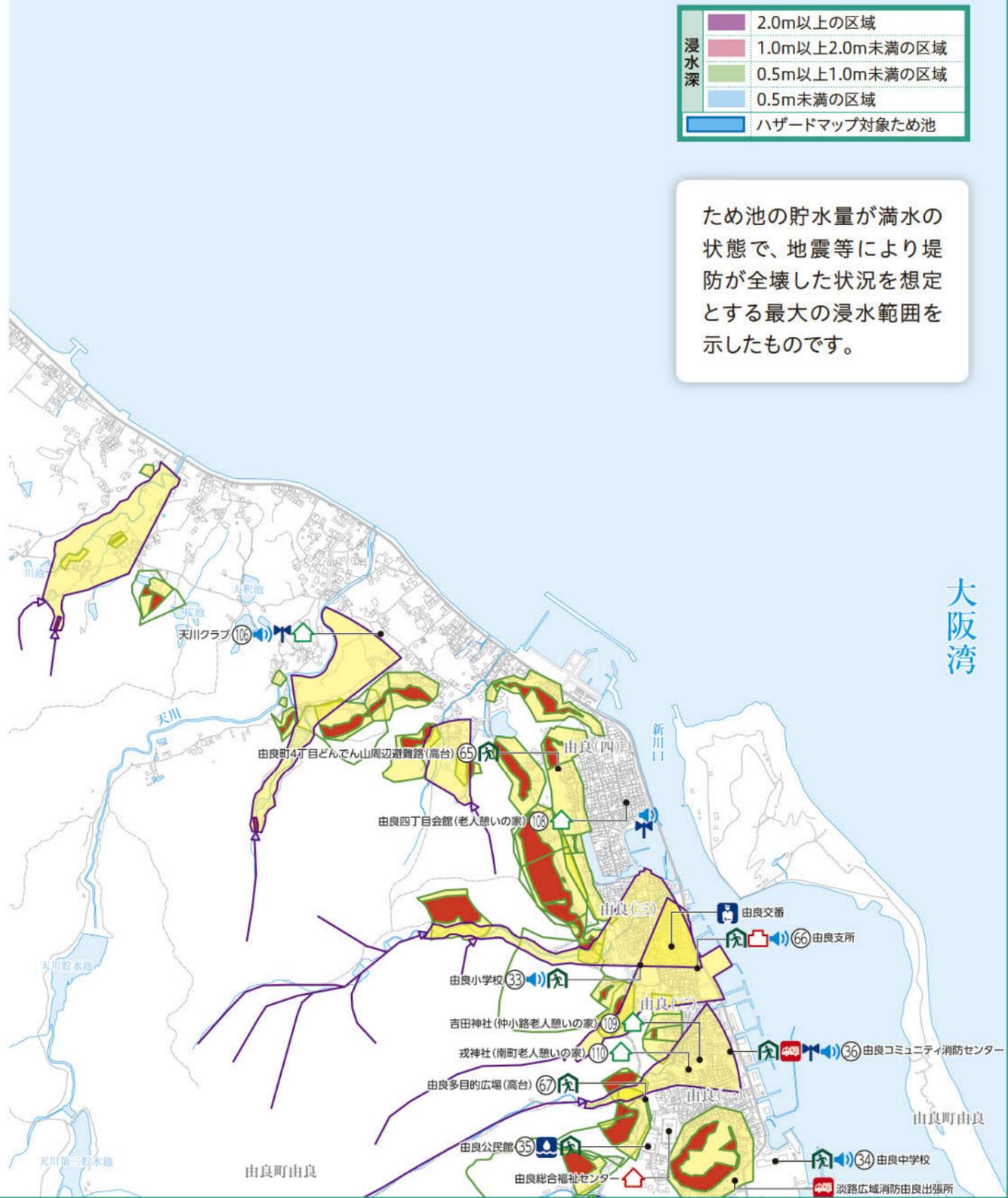
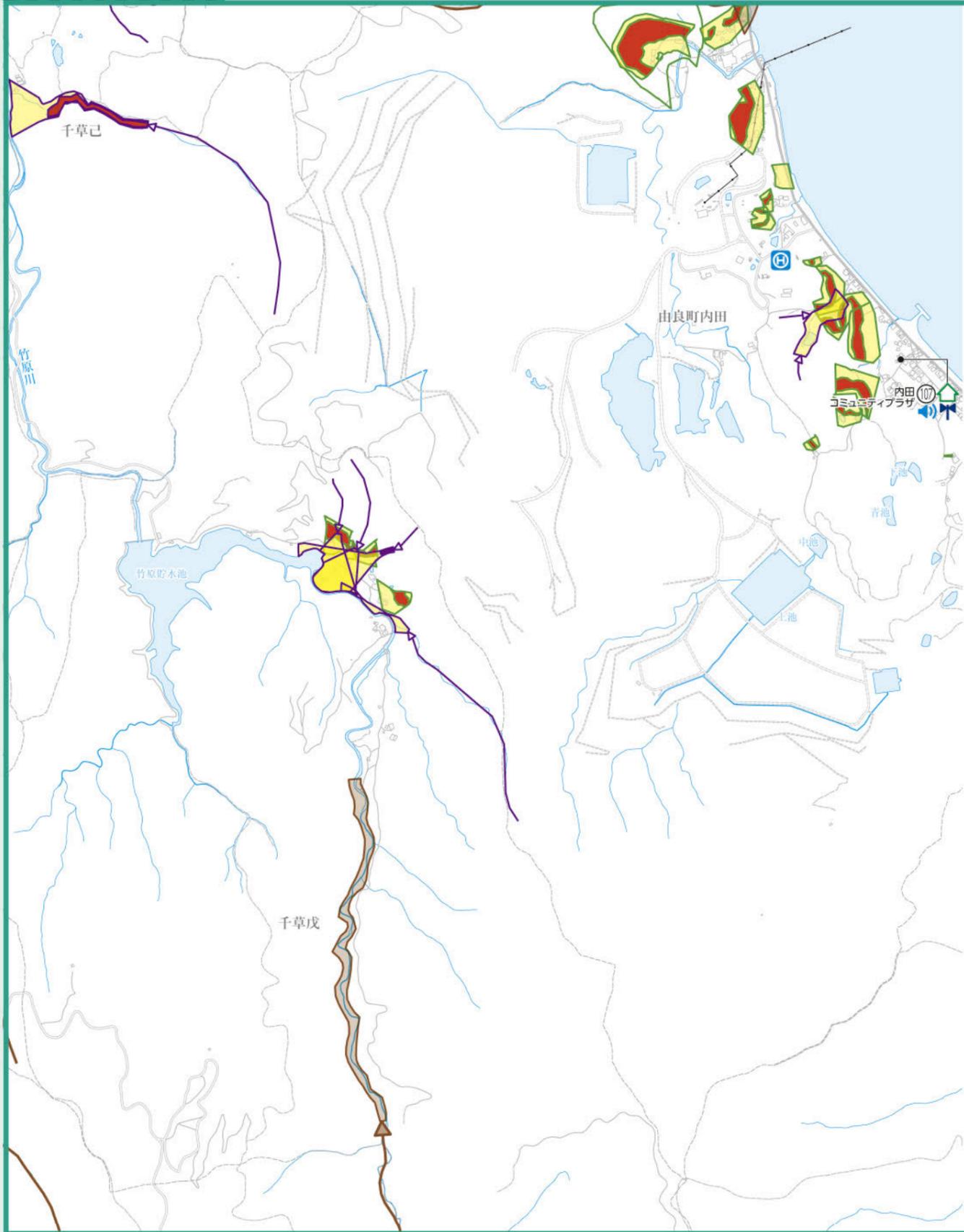
土砂災害・ため池 ハザードマップ



詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



災害情報	土石流	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域	土石流危険渓流	崩壊土砂流出危険区域
	急傾斜地	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域	山腹崩壊危険区域	土砂災害警戒区域
	地滑り	危険箇所			



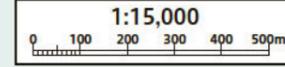
ため池の貯水量が満水の状態で、地震等により堤防が全壊した状況を想定とする最大の浸水範囲を示したものです。

大阪湾

土砂災害・ため池 ハザードマップ

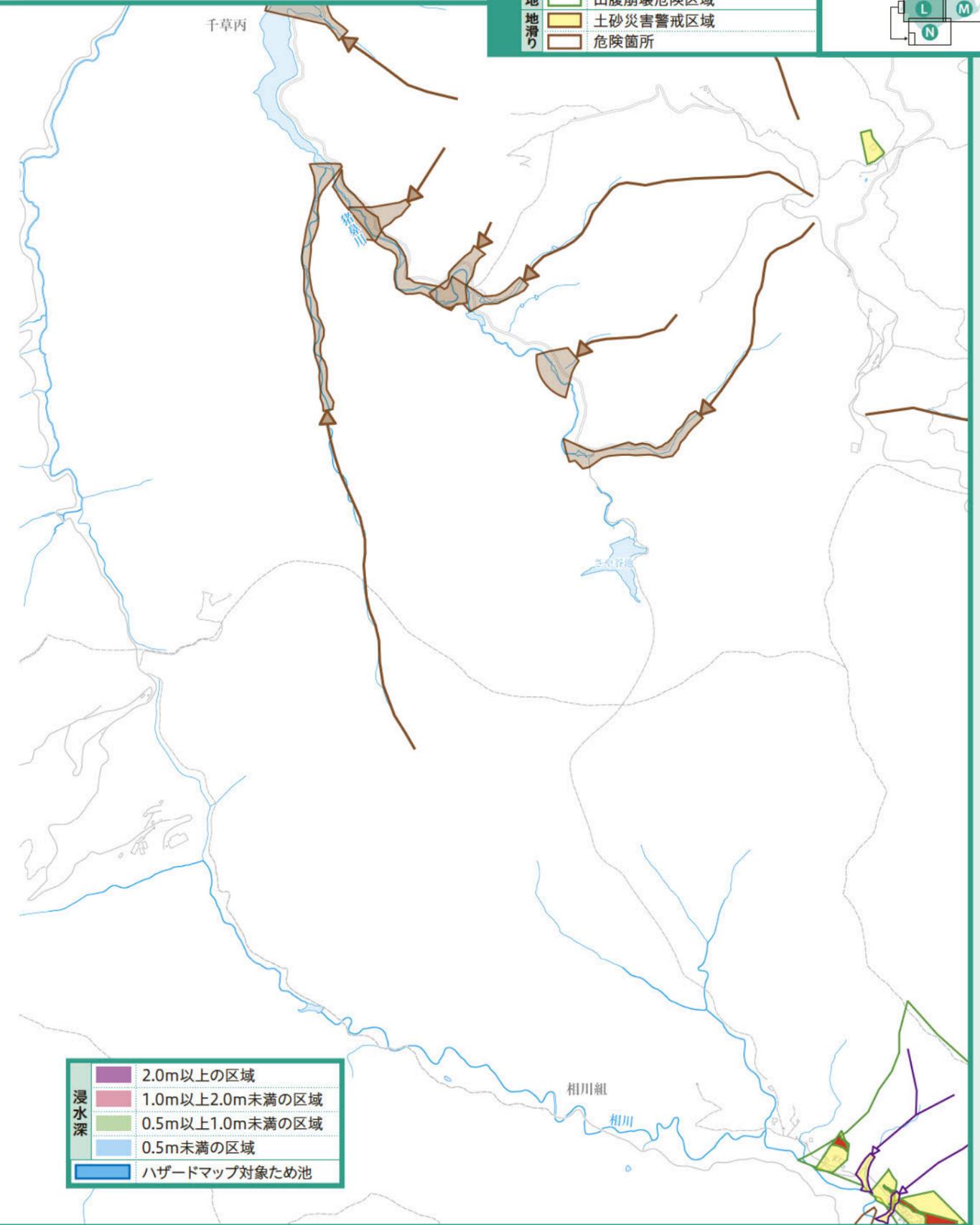


詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



災害情報

土石流	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域	土砂流危険渓流	崩壊土砂流出危険区域
急傾斜地 地滑り	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域	山腹崩壊危険区域	土砂災害警戒区域
				危険箇所



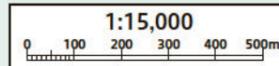
ため池の貯水量が満水の状態で、地震等により堤防が全壊した状況を想定とする最大の浸水範囲を示したものです。



土砂災害・ため池 ハザードマップ

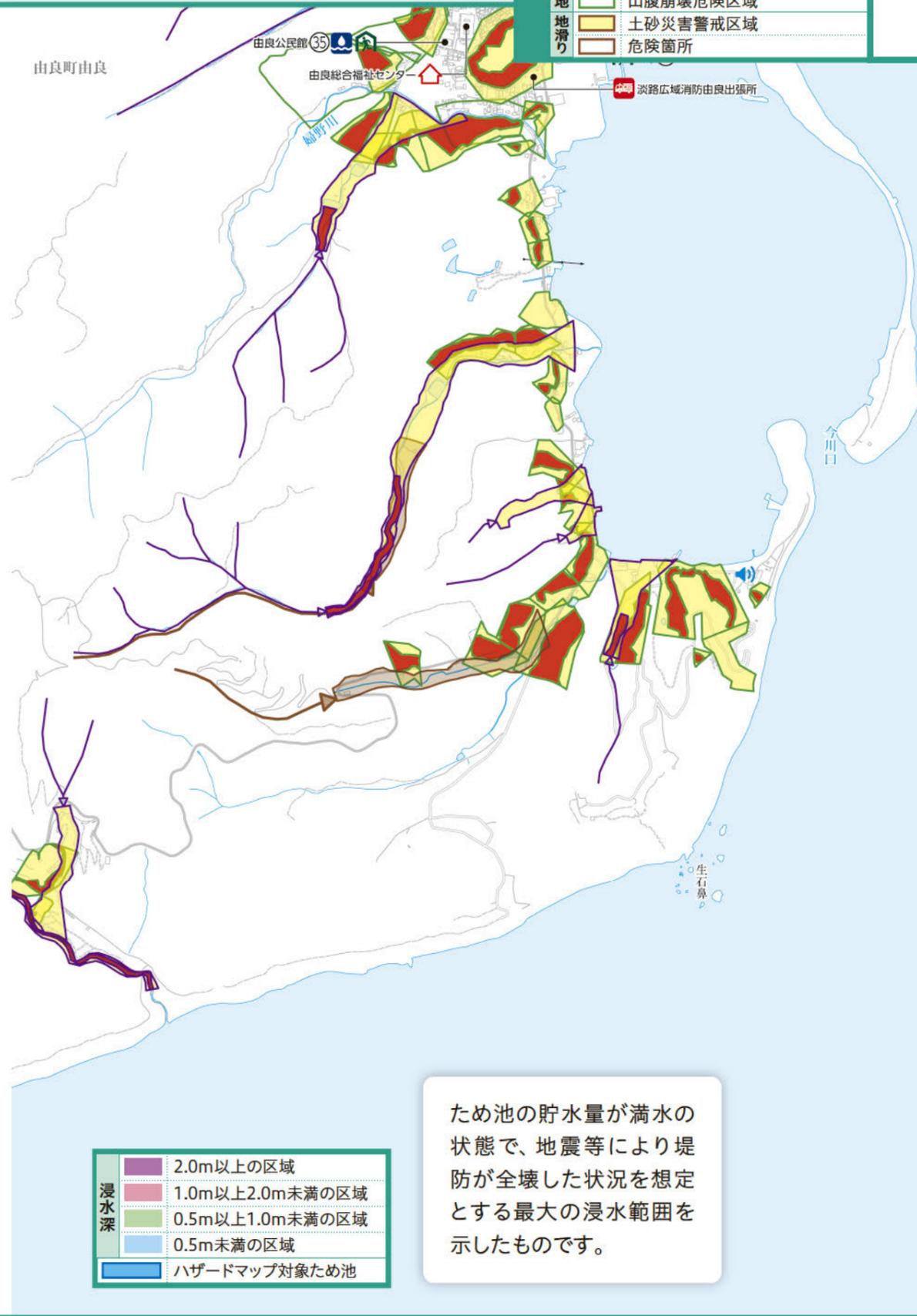
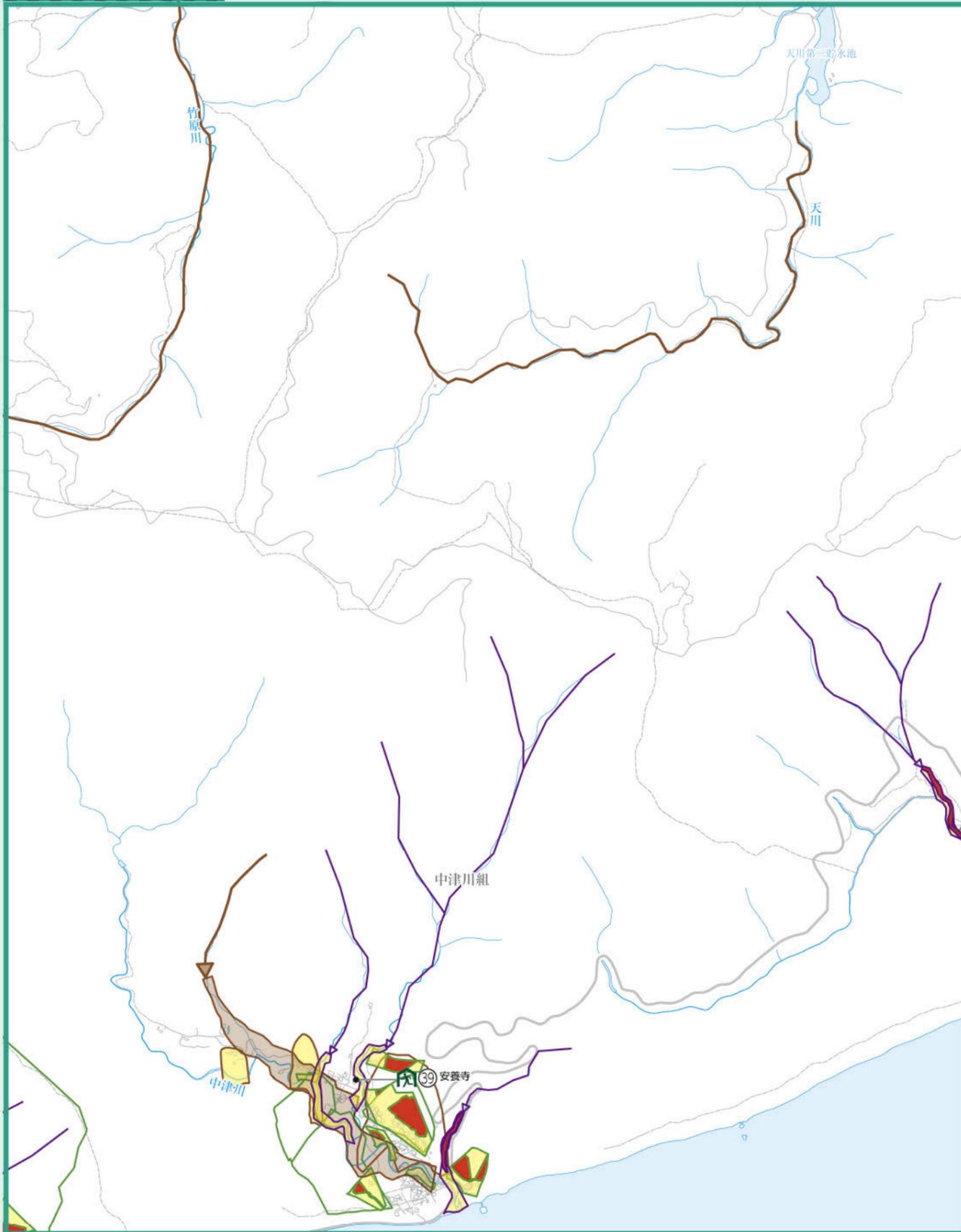


◀ 詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



災害情報

土石流	土砂災害特別警戒区域
	土砂災害警戒区域
	土石流危険渓流
	崩壊土砂流出危険区域
急傾斜地 地滑り	土砂災害特別警戒区域
	土砂災害警戒区域
	山腹崩壊危険区域
	土砂災害警戒区域
	危険箇所

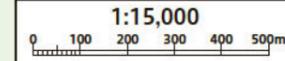


ため池の貯水量が満水の状態、地震等により堤防が全壊した状況を想定とする最大の浸水範囲を示したものです。

高潮ハザードマップ

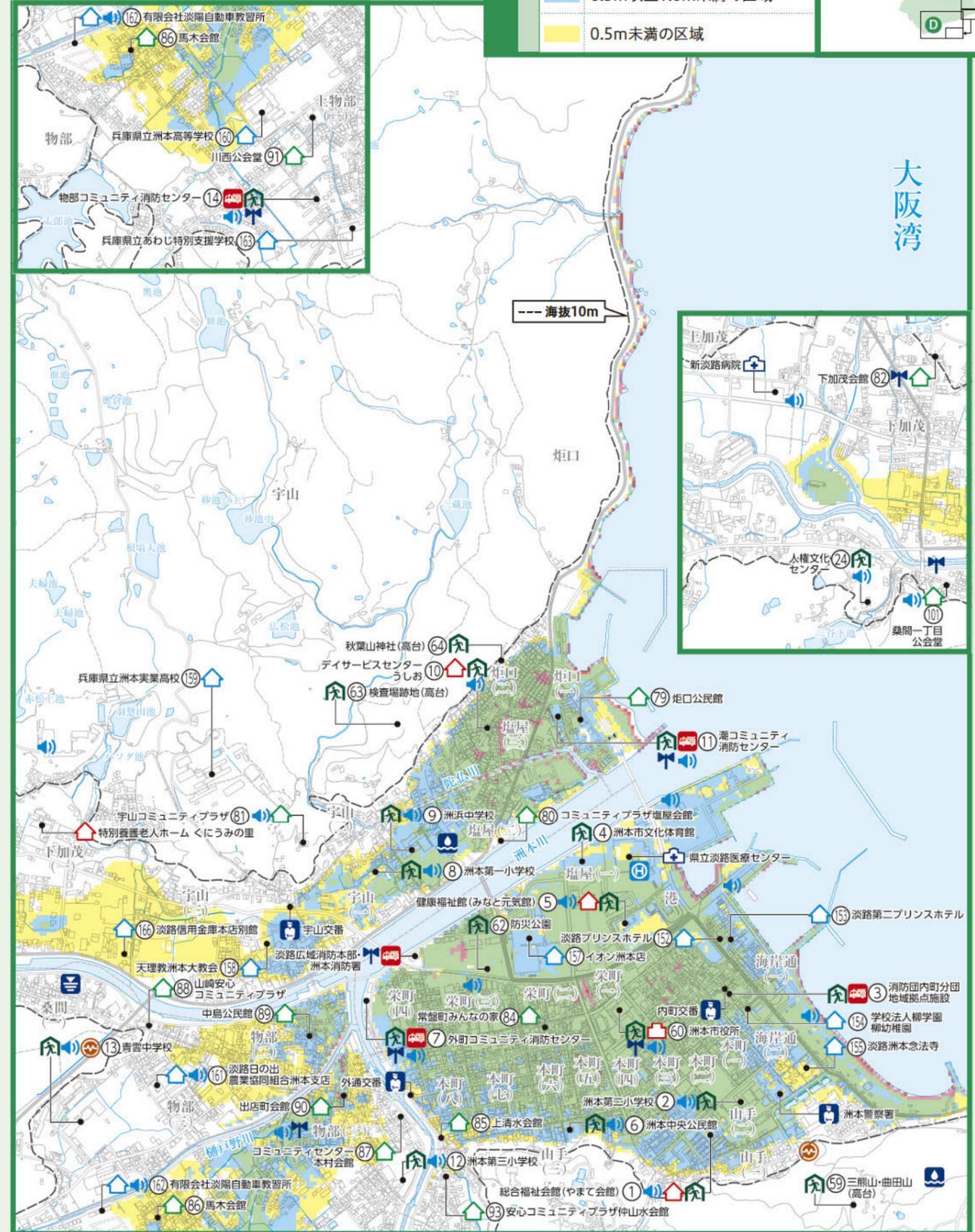
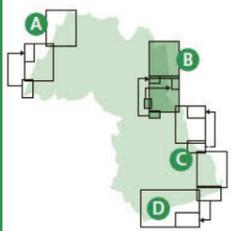


詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



災害情報

- 3.0m以上5.0m未満の区域
- 2.0m以上3.0m未満の区域
- 1.0m以上2.0m未満の区域
- 0.5m以上1.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域



想定し得る最大規模の高潮となる台風(昭和36年第2室戸台風を想定)が接近又は上陸し、河川による洪水及び波浪の影響を見込み、かつ堤防等が破壊された時の浸水状況を示したものです。

高潮ハザードマップ

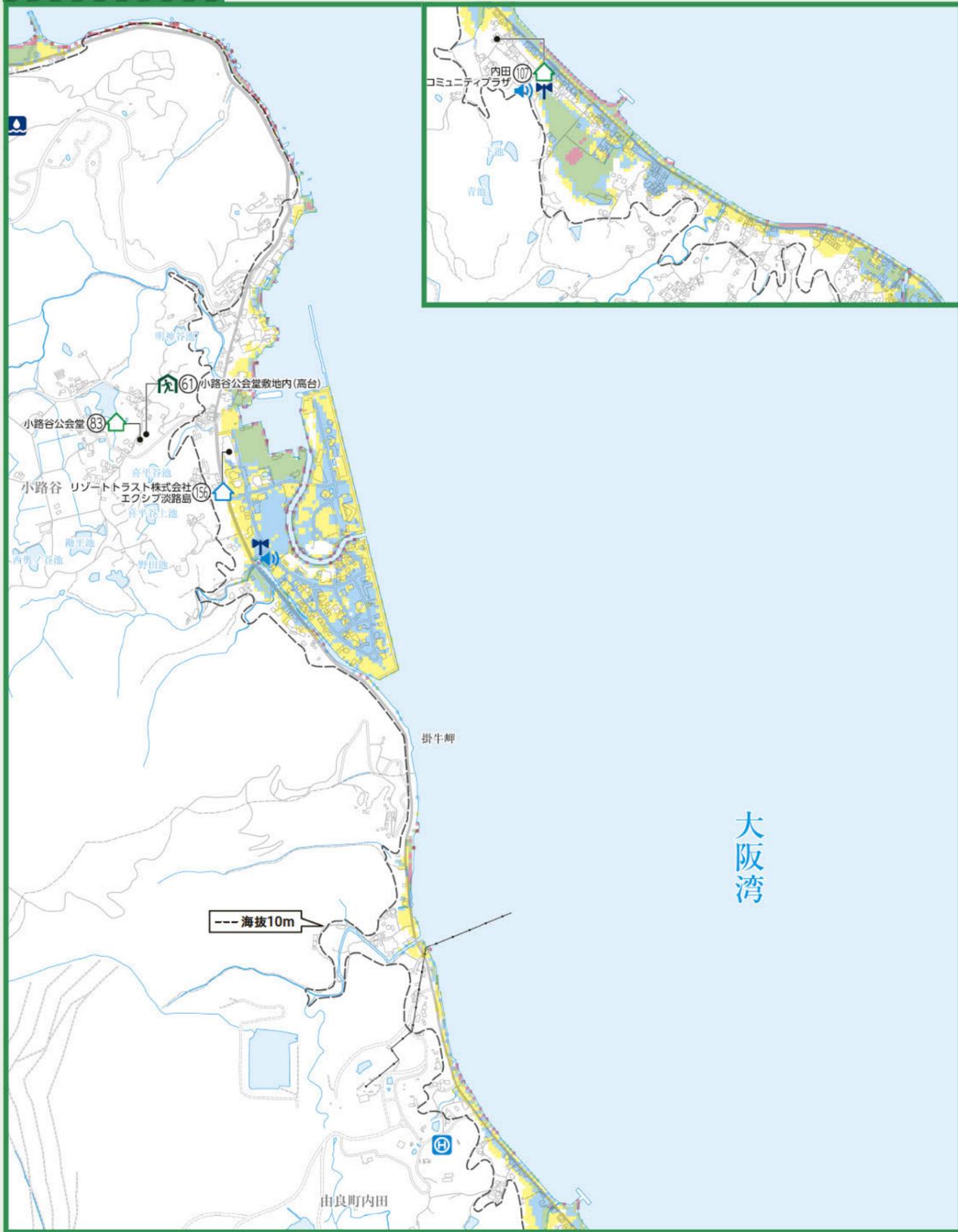
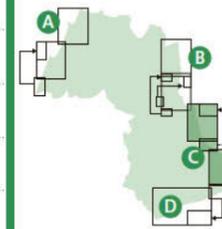


◀ 詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください

1:15,000
0 100 200 300 400 500m

災害情報

- 3.0m以上5.0m未満の区域
- 2.0m以上3.0m未満の区域
- 1.0m以上2.0m未満の区域
- 0.5m以上1.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域



想定し得る最大規模の高潮となる台風(昭和36年第2室戸台風を想定)が接近又は上陸し、河川による洪水及び波浪の影響を見込み、かつ堤防等が破壊された時の浸水状況を示したものです。

高潮ハザードマップ

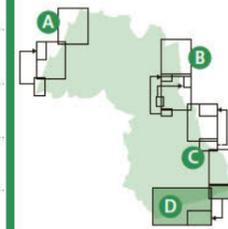


詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください

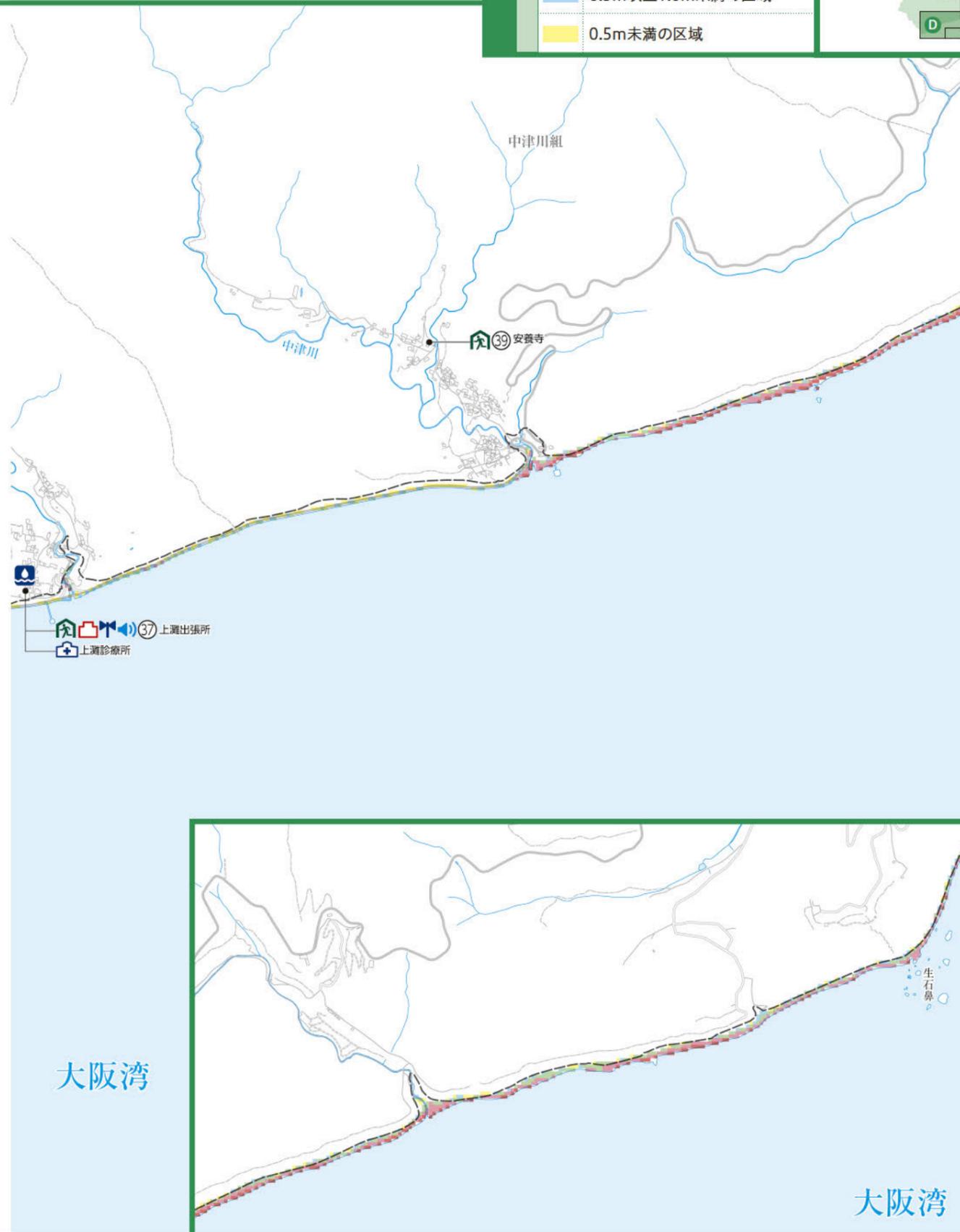


災害情報

- 3.0m以上5.0m未満の区域
- 2.0m以上3.0m未満の区域
- 1.0m以上2.0m未満の区域
- 0.5m以上1.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域



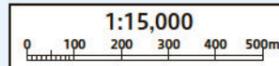
想定し得る最大規模の高潮となる台風(昭和36年第2室戸台風を想定)が接近又は上陸し、河川による洪水及び波浪の影響を見込み、かつ堤防等が破壊された時の浸水状況を示したものです。



津波ハザードマップ



詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



災害情報	
浸水深	5.0m以上の区域
	4.0m以上5.0m未満の区域
	3.0m以上4.0m未満の区域
	2.0m以上3.0m未満の区域
	1.0m以上2.0m未満の区域
	0.3m以上1.0m未満の区域
	0.3m未満の区域

浸水深はマグニチュード9.1規模の南海トラフ地震が起こり、設置している水門等が閉鎖できなかった時の浸水状況を示したものです。

播磨灘



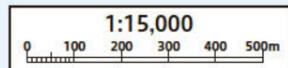
播磨灘



津波ハザードマップ

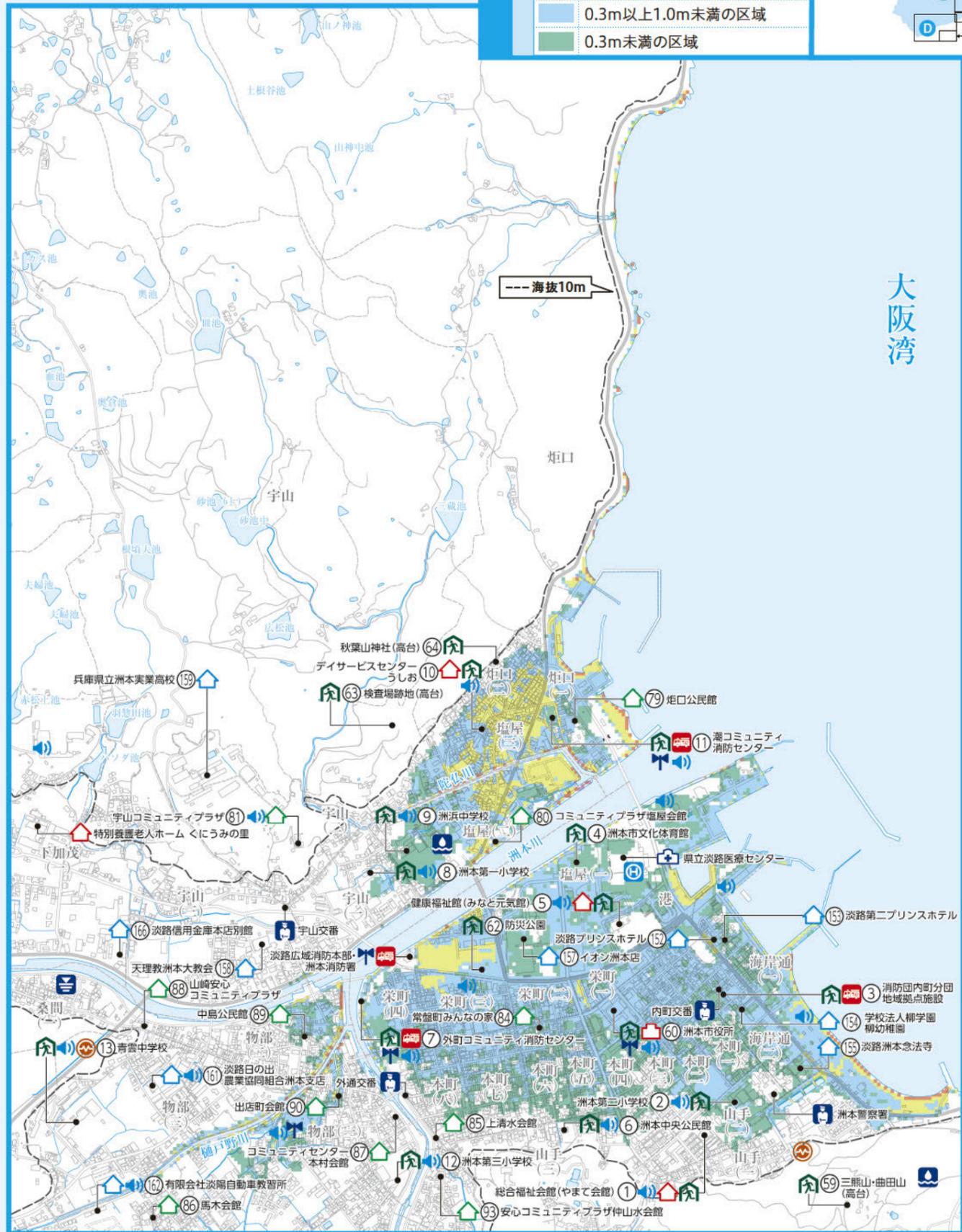
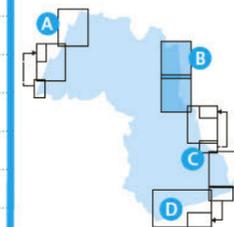


詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください



災害情報

浸水深	5.0m以上の区域
	4.0m以上5.0m未満の区域
	3.0m以上4.0m未満の区域
	2.0m以上3.0m未満の区域
	1.0m以上2.0m未満の区域
	0.3m以上1.0m未満の区域
	0.3m未満の区域



津波ハザードマップ

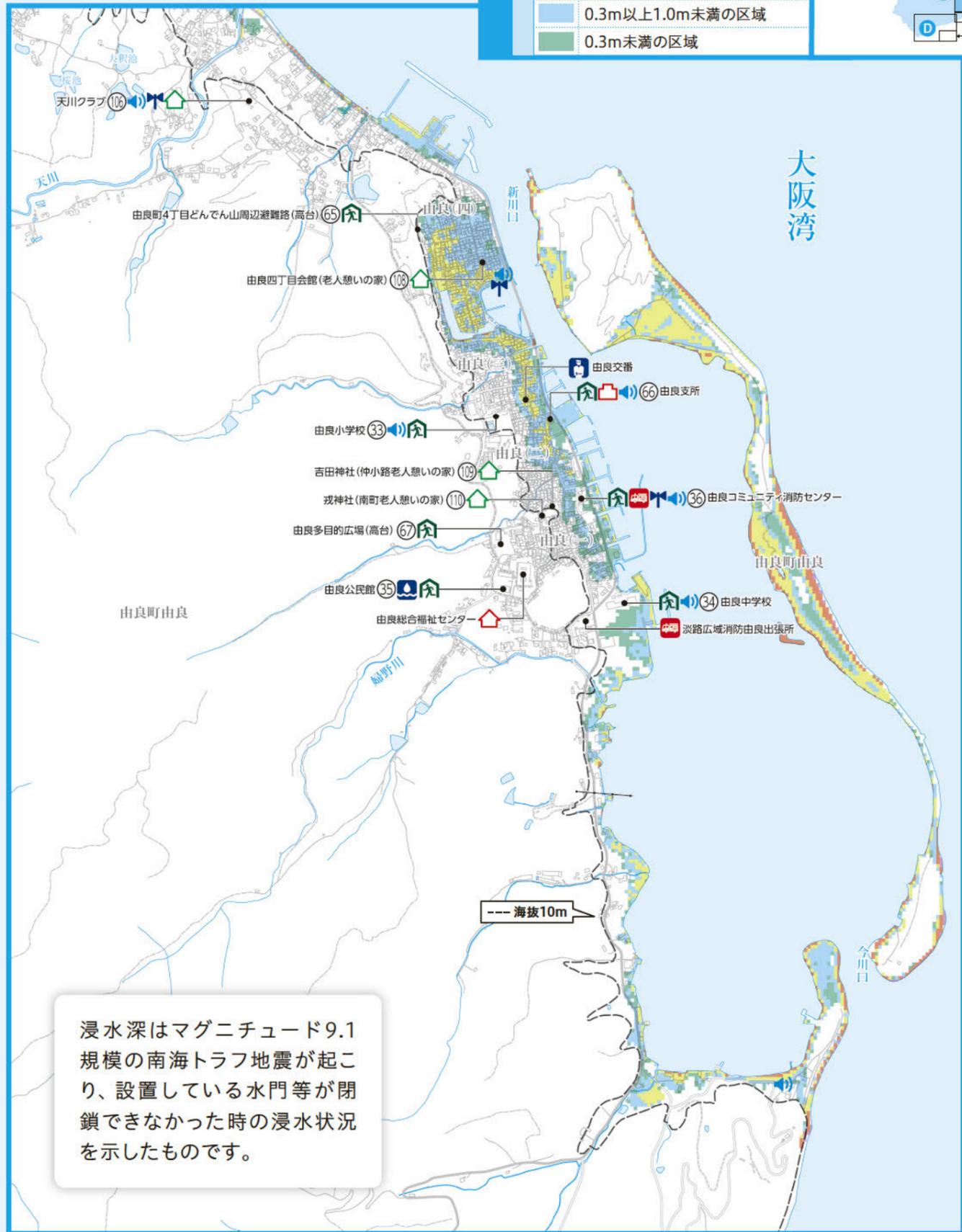
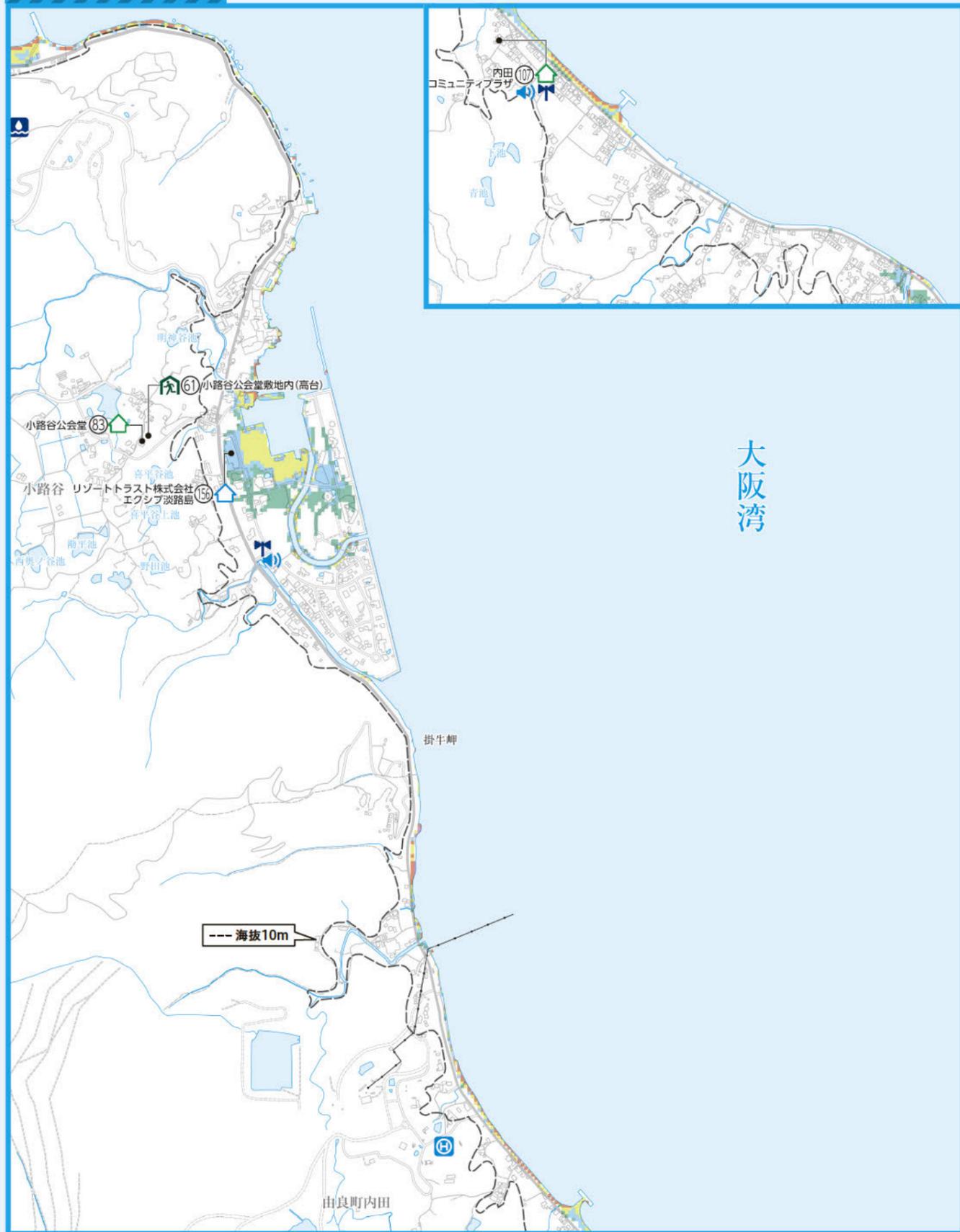
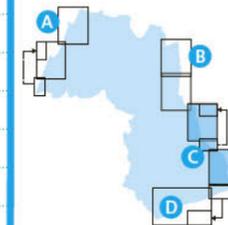


詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください

1:15,000
0 100 200 300 400 500m

災害情報

	5.0m以上の区域
	4.0m以上5.0m未満の区域
	3.0m以上4.0m未満の区域
	2.0m以上3.0m未満の区域
	1.0m以上2.0m未満の区域
	0.3m以上1.0m未満の区域
	0.3m未満の区域

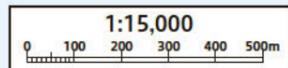


浸水深はマグニチュード9.1規模の南海トラフ地震が起こり、設置している水門等が閉鎖できなかった時の浸水状況を示したものです。

津波ハザードマップ

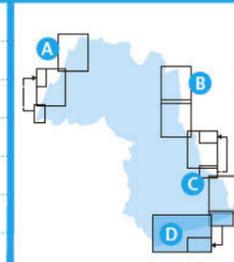


◀ 詳細は洲本市電子ハザードマップを参照ください

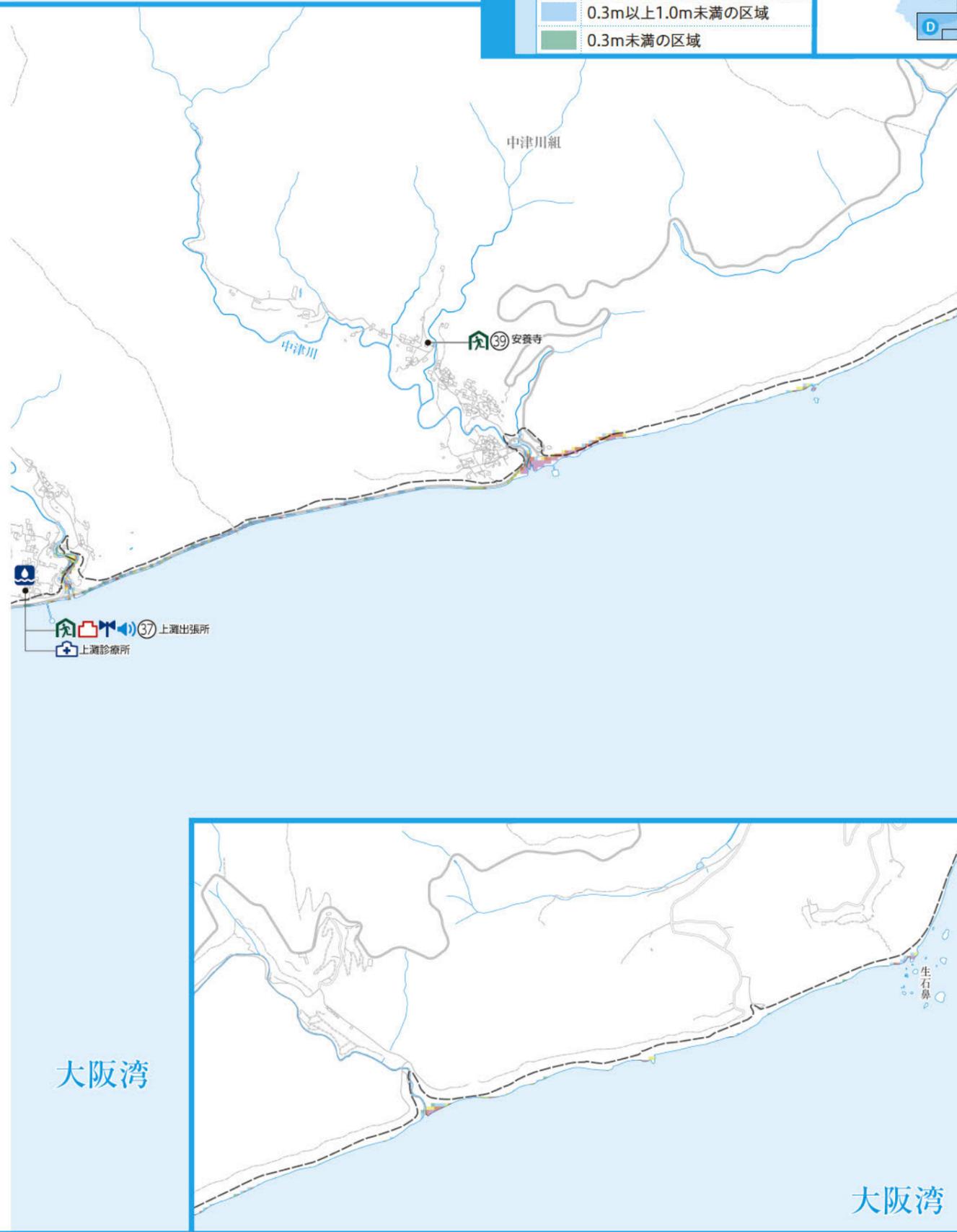


災害情報

5.0m以上の区域
4.0m以上5.0m未満の区域
3.0m以上4.0m未満の区域
2.0m以上3.0m未満の区域
1.0m以上2.0m未満の区域
0.3m以上1.0m未満の区域
0.3m未満の区域



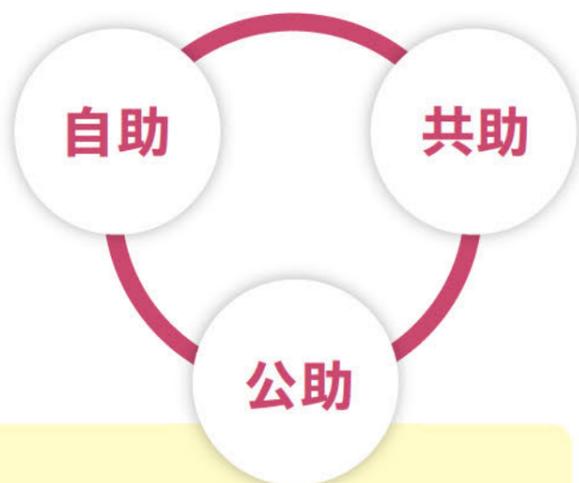
浸水深はマグニチュード9.1規模の南海トラフ地震が起こり、設置している水門等が閉鎖できなかった時の浸水状況を示したものです。



災害時の配慮

自助・共助・公助

災害の規模が大きいほど、行政等による支援（公助）は小さくなり、自助・共助の重要性が増します。災害による被害を最小限に抑えるためには、防災グッズの用意などによる自分の力（自助）と隣近所で助け合う地域の力（共助）を高め、連携することが重要です。



自主防災組織

災害の規模が大きいほど、自治体などの公的機関による対応は困難となります。そのため、町内会や小学校区単位で自主防災組織を結成し、近隣住民で協力し合うことが必要です。



平時の活動

- 防災学習会
- 避難誘導訓練
- 情報収集・伝達訓練
- 避難場所などの確認 など

災害発生時の活動

- 出火防止・初期消火
- 負傷者の救助
- 地域住民の安否確認
- 避難誘導 など

「防災士」資格取得を補助

防災士とは、防災に関する専門知識をもち、地域社会の防災力向上のための活動が期待される人たちです。資格取得に際し、研修受講料などに対して助成金を支給しています。

要配慮者へのおもいやり

妊産婦、子ども、高齢者などが要配慮者に当たります。また、さまざまな生活習慣や価値観などをもつ人もいます。このような方々へのおもいやりと支援を心がけ、みんなが気持ちよく生活できるように配慮しましょう。



- ▶女性・妊産婦
- ▶乳幼児・子ども
- ▶高齢者
- ▶要介護者
- ▶障害者
- ▶外国人

災害時には配慮を必要とする人たちへの支援が必要不可欠です。自分と家族、そして地域を守るためお互いに助け合いましょう。



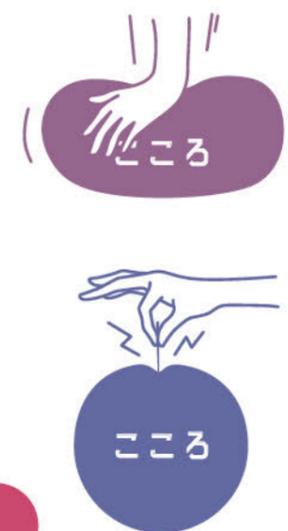
プライバシーの保護

避難所では、個人のプライバシーを確保することが重要です。特に、女性への配慮が不足すると、犯罪が増加することもあります。日頃から女性の意見を取り入れた避難所運営を考えておく必要があります。



心の健康（メンタルヘルス）

災害時には大きな心理的不安を抱えるため、うつ状態・PTSDなどの精神症状や、飲酒・喫煙の増加など健康問題が発生することもあります。多くの場合は生活の再建とともに心の健康も回復していきますが、中には精神的な影響が長く続くケースもあります。心のケアには、適度な食事、運動、睡眠が欠かせません。また、周囲の人の支えも重要な役割を果たします。



ストレス反応

災害そのものと生活環境の変化によって被災者のストレスが増え、倦怠感や頭痛、不安、無力感などさまざまなストレス反応が発生することがあります。

トラウマ反応

災害体験が過ぎ去った後も衝撃が記憶に残り、精神的な影響（トラウマ）を受け続けることがあります。トラウマによる精神的な変調をトラウマ反応と呼びます。

気分転換の工夫



不安で眠れないなどの心身の反応が出ている場合は、休憩や気分転換を心がけましょう。深呼吸や、少しの間目を閉じるだけでもリフレッシュできます。

【気分転換の例】

- ラジオ体操や散歩などで体を動かす
- アメやチョコなどのお菓子を食べる など



